

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)122地域振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目		
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-01-06-122-51	
	施策	4207	JR草津線及び近鉄大阪線の利便性向上、リニア中央新幹線建設促進			
事務事業名	鉄道網整備促進経費(繰越明許費分)		担当部署	部・課名等 企画振興部交通政策課	評価責任者・連絡先	課長 森 健至 0595-22-9663

事務事業の概要	対象	JR柘植駅及び伊賀上野駅利用者、草津線利用者等		
	目的	JR柘植駅及び伊賀上野駅利用者の利便性向上と利用促進を図る。		
	内容	<p>・地方創生加速化交付金事業を活用し、当市も加盟する滋賀県草津線複線化促進期成同盟会が実施する沿線の魅力を活かした公共交通利用促進・地域活性化事業に分担金を支出しました。市内においては、草津線と関西本線の乗換や観光施設への移動をスムーズにし、外国人を含めた旅行者の安心安全に寄与するため、JR柘植駅及びJR伊賀上野駅構内に忍者をモチーフにした多言語案内表示看板等を製作設置しました。(委託先: 有限会社アート工房)</p> <p>【関係団体(加盟自治体として)を通じた各種取り組み】</p> <p>・滋賀県草津線複線化促進期成同盟会(複線化に向けた利用促進活動、JR西日本への要望活動、JR柘植駅及びJR伊賀上野駅構内多言語案内表示看板等の設置等)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助金及び交付金	3,005,400円	滋賀県草津線複線化促進期成同盟会事業分担金 3,005,400円	
	計	3,005,400円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		3,006	3,006	
		地方債		0	0		
		その他		0	0		
		一般財源		0	0		
		合計(A)	0	3,006	3,006	0	
	人件費	正規職員	業務量	0.24 人	0.24 人		
			人件費	0	1,870	1,870	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量				
			人件費				
		小計(B)	0	1,870	1,870	0	
		合計(A+B)	0	4,876	4,876	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	52	52	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	JR伊賀上野駅年間乗車人員	JR伊賀上野駅年間乗車人員	千人	目標		244	244	244
				実績	239	243	241	
指標化できない成果			達成		99.6%	98.8%		

方向	完了	課題及び改善案 鉄道路線の乗換や観光集客施設への移動をスムーズにするための受入環境整備として多言語案内表示看板等の設置を行い、利用者の利便性向上を図ることが出来たが、利用促進を図るため、誘客に向けた各種施策や、JR沿線各駅におけるインバウンドへの対応など具体的な取り組みを進める必要がある。
----	----	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)122地域振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	999 政策なし	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-01-06-122-71
	施策	9999 施策なし		
	事務事業名	移住・交流推進事業(繰越明許費分)	担当部署	部・課名等 企画振興部地域づくり推進課 評価責任者・連絡先 課長 前澤 和也 0595-22-9639

事務事業の概要	対象	移住希望者、移住者、市民		
	目的	「伊賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、交流人口や移住者を増やすための取組みを行う。		
	内容	<p>* 移住に関する情報集約を行い、伊賀市HPや国、県の移住・交流ポータルサイトで発信しました。 また平成29年2月より、伊賀市移住交流ポータルサイト「figa-style」を開設しました。</p> <p>* 移住コンシェルジュ(嘱託職員)を設置し、様々な移住相談に総合的に対応する体制を整えました。 相談実績:延べ364件 移住実績:13世帯32人</p> <p>* 三重県や国と連携し、東京、大阪などでの「移住相談会」を5回開催しました。 また「伊賀市体験セミナー」を1回開催しました。</p> <p>* 他課と連携し、忍者フェスタin上野恩賜公園や浅草感謝祭にてPR・相談を行いました。</p> <p>* 伊賀市への移住と空き家活用を目的とした、「伊賀市移住促進空き家取得費補助金制度」を創設しました。 利用実績:3件111万円</p> <p>* 住民自治協議会とともに、地域課題の解決や地域振興に取り組む「地域おこし協力隊」の募集を行い、10月より阿波地区、11月より丸柱地区に、各1名の隊員が着任しました。 (支所振興課付け嘱託職員)</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	謝金	12,000円	体験セミナー講師謝金	
	旅費	480,000円	移住相談会(東京、大阪等)	
	消耗品	118,000円	相談会ノベルティ(クリアファイル、かたやき等)	
	印刷製本費	270,000円	移住ガイドブック印刷(5,000部)、車用啓発マグネット(30枚)	
	会場使用料	33,080円	移住相談会 会場費用等	
	その他	32,026円	通信運搬費、有料道路通行料など	
	計	945,106円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		1,041	946	
	地方債		0	0			
	その他		0	0			
	一般財源		226	0			
	合計(A)		0	1,267	946	0	
人件費	正規職員	業務量	人	2.00 人	2.00 人	人	
		人件費	0	15,582	15,582	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	15,582	15,582	0	
	合計(A+B)		0	16,849	16,528	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	179	176	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	移住相談の延べ件数	移住コンシェルジュなどが、相談を受けた延べ件数	件	目標			30	375
				実績		20(現状値)	364	
指標化できない成果			達成			1213.3%		

方向	完了	課題及び改善案	<p>・平成28年度から本格的に取り組みを始めた事業であるが、速やかに取り組みをステップアップさせる必要がある。</p> <p>・地域おこし協力隊の採用について、全国的に人材確保(質・量とも)が難しい状況である。 ⇒まちづくり活動に関心が高い若者に求人情報が届くよう、雑誌や求人サイト等の活用を検討する。 また、魅力的な職務内容を提示するなどの工夫を行なう。</p>
----	----	---------	---

整理番号
44 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)123ふれあいの里維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 17 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-123-01
	施策	3102	市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり		
事務事業名	ふれあいの里維持管理経費		担当部署	部・課名等	
			島ヶ原支所振興課	評価責任者・連絡先	
				課長 風早 孝昭 0595-59-2053	

事務事業の概要	対象	施設利用者		
	目的	利用者が利用しやすい施設管理と市民の健康づくり		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から3年間、一般財団法人しまがはら郷づくり公社(平成27年11月2日設立)が指定管理者として選定されました。 健康づくり施設「まめの館」の機能を存続しながら、利用料金、開設日数、開設時間等を変更し、郷づくり公社の自主事業として取り組まれましたが、採算が取れないため、平成29年度から閉鎖することとなりました。 年間を通じ郷づくり公社と運営状況の確認と情報の交換を行いました。 入浴者数は共通入浴券を発行した平成27年度に比べ約13,000人減少し、132,360人となりました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	修繕料	6,755,400円	街灯交換	540,000円
			源泉ポンプ交換	2,484,000円
			キャンプ場浄化槽スパロータ交換	707,400円
			浴槽循環濾過装置機器更新	3,024,000円
	計	6,755,400円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
		国県支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	2,300	5,200	0	
		その他		0	0	0	0	
		一般財源		25,230	1,494	1,556	1,290	
		合計(A)		25,230	3,794	6,756	1,290	
		正規職員	業務量	0.20 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
			人件費	1,498	1,169	1,169	1,177	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)		1,498	1,169	1,169	1,177	
		合計(A+B)		26,728	4,963	7,925	2,467	
		市民1人当たりのコスト(円)		282	53	85	27	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設利用人数	入浴客数	人	目標		140,000	150,000	137,000
				実績	133,728	146,254	132,360	
	指標化できない成果		達成		103.8%	88.2%		

方向	縮小	課題及び改善案	<p>指定管理料0円の中で収益を確保することが求められます。指定管理者による健康づくり棟の有効活用を含め、更なる創意工夫が必要です。</p> <p>指定管理期間終了後、民間等への譲渡、貸付についての検討が必要です。</p>
----	----	---------	---

整理番号
45 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)124交流拠点施設維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-124-51
	施策	3102	市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	交流拠点施設維持管理経費		大山田支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 池本 洋人 0595-47-1150

事務事業の概要	対象	県内外の利用者											
	目的	市民の健康増進と地域間交流及び世代間交流を図る。											
	内容	<p>平成28年度から平成30年度まで一般社団法人大山田温泉福祉公社に指定管理を委託しています。伊賀の国大山田温泉の入浴客数および売上高については、平成27年度と比較して減少しています。平成27年度は共通入浴券を配布したことにより入込み客が一時的に増加しましたが、この分が減少したものと考えられます。</p> <p>一方で、客単価は改善されてきているが入浴客数と売り上げ高が連動することから、経営改善のためにはリピーターの確保とともに新規利用者を増やす工夫が課題となっている。</p>											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>16,580,217円</td> <td>指定管理料(上半期) 8,290,109円 指定管理料(下半期) 8,290,108円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>1,581,069円</td> <td>浴槽お湯漏れ修繕・スチームサウナ本体取替修繕・公用車修繕・給湯配管漏水修繕</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>18,161,286円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	16,580,217円	指定管理料(上半期) 8,290,109円 指定管理料(下半期) 8,290,108円	修繕料	1,581,069円	浴槽お湯漏れ修繕・スチームサウナ本体取替修繕・公用車修繕・給湯配管漏水修繕	計	18,161,286円
経費	金額	摘要											
委託料	16,580,217円	指定管理料(上半期) 8,290,109円 指定管理料(下半期) 8,290,108円											
修繕料	1,581,069円	浴槽お湯漏れ修繕・スチームサウナ本体取替修繕・公用車修繕・給湯配管漏水修繕											
計	18,161,286円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	4,900	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	24,733	18,163	18,162	10,366	
		合計(A)	24,733	18,163	18,162	15,266	
	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.30 人	0.20 人	
			人件費 3,744	3,896	2,338	1,569	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	3,744	3,896	2,338	1,569	
		合計(A+B)	28,477	22,059	20,500	16,835	
		市民1人当たりのコスト(円)	300	234	218	180	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入浴客数		人	目標		180,000	150,000	150,000
				実績	135,532	148,279	138,820	
	指標化できない成果		達成		82.4%	92.5%		

方向	縮小	課題及び改善案	イベント開催への創意工夫、従業員の意識改革、施設環境の改善、人材育成等、顧客サービスの更なる改善に取り組むとともに、集客活動、SNSを利用した周知などが必要である。
----	----	---------	--

整理番号
46 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)124交流拠点施設維持管理事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	31	地域資源とおもてなしの心を活かした観光のまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-01-06-124-51
	施策	3102	市内全域の魅力アップと「おもてなし」のしくみづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	交流拠点施設維持管理経費(繰越明許費分)		大山田支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 池本 洋人 0595-47-1150

事務事業の概要	対象	県内外の利用者		
	目的	市民の健康増進と地域間交流及び世代間交流を図る。		
	内容	さるびの温泉脱衣室床について、老朽化によりめくれ上がり利用者からたくさんのご指摘がありましたので、メンテナンスがしやすく見栄えもよく好印象をあたえられるものに張替えを行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	修繕料	1,598,400円	さるびの温泉脱衣室床修繕工事	

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金		0	0		
		地方債		0	0			
		その他		0	0			
		一般財源		2,381	1,599			
		合計(A)	0	2,381	1,599	0		
	人件費	正規職員	業務量	人	0.01	人	0.01	人
人件費			0	78	78	0		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	0	78	78	0		
		合計(A+B)	0	2,459	1,677	0		
		市民1人当たりのコスト(円)	0	27	18	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入浴客数			人	目標	180,000	150,000	150,000
					実績	135,532	148,279	138,820
	指標化できない成果			達成	82.4%	92.5%		

方向	完了	課題及び改善案	施設管理について日ごろからメンテナンスを施し、利用者が不便・不快と感じないように務めるべきである。
----	----	---------	---

整理番号
47 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)125バス等対策事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-125-51
	施策	4204	安定的で持続可能な交通サービスの提供	担当部署	部・課名等
	事務事業名	行政バス運行経費	企画振興部交通政策課	評価責任者・連絡先	課長 森 健至 0595-22-9663

事務事業の概要	対象	中心市街地へ集まる市民や観光客、及び各支所管内における地域住民の移動手段の確保											
	目的	中心市街地へ集まる市民や観光客、及び各支所管内における地域住民の移動手段を確保するため、上野コミュニティバス「しらさぎ」及び各支所管内の行政サービス巡回車(行政バス)を運行する。											
	内容	・中心市街地へ集まる市民や観光客及び各支所管内における地域住民の移動手段であり、鉄道や路線バス等の基幹交通を補完する支線的な機能を担う生活路線として、運行事業者(三重交通株)への委託により、上野コミュニティバス「しらさぎ」及び各支所管内の行政サービス巡回車(行政バス)を運行しました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>103,233,908円</td> <td>上野コミュニティバス運行業務委託料 27,976,700円 いがまち行政サービス巡回車運行管理業務委託料 12,895,200円 島ヶ原行政サービス巡回車運行管理業務委託料 5,196,960円 阿山行政サービス巡回車運行管理業務委託料 16,005,600円 大山田行政サービス巡回車運行管理業務委託料 6,049,728円 青山行政バス運行業務委託料 35,109,720円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>644,701円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>103,878,609円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	103,233,908円	上野コミュニティバス運行業務委託料 27,976,700円 いがまち行政サービス巡回車運行管理業務委託料 12,895,200円 島ヶ原行政サービス巡回車運行管理業務委託料 5,196,960円 阿山行政サービス巡回車運行管理業務委託料 16,005,600円 大山田行政サービス巡回車運行管理業務委託料 6,049,728円 青山行政バス運行業務委託料 35,109,720円	その他	644,701円		計	103,878,609円
経費	金額	摘要											
委託料	103,233,908円	上野コミュニティバス運行業務委託料 27,976,700円 いがまち行政サービス巡回車運行管理業務委託料 12,895,200円 島ヶ原行政サービス巡回車運行管理業務委託料 5,196,960円 阿山行政サービス巡回車運行管理業務委託料 16,005,600円 大山田行政サービス巡回車運行管理業務委託料 6,049,728円 青山行政バス運行業務委託料 35,109,720円											
その他	644,701円												
計	103,878,609円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	3,470	3,543	3,802	3,751		
	一般財源	95,494	103,370	100,077	101,107		
	合計(A)	98,964	106,913	103,879	104,858		
人件費	正規職員	業務量	0.14 人	0.14 人	0.14 人	0.14 人	
		人件費	1,049	1,091	1,091	1,098	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,049	1,091	1,091	1,098		
	合計(A+B)	100,013	108,004	104,970	105,956		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,053	1,146	1,114	1,128		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	年間利用者数	上野コミュニティバス及び各支所行政バスの利用者	人	目標		110,000	110,000	110,000
				実績	104,961	83,260	71,453	
指標化できない成果			達成		75.7%	64.9%		

方向	改善	事業者の営業バス路線や廃止代替バス路線を補完し、自ら交通手段を持たない高齢者等の重要な移動手段として、利用者のニーズに応じた運行改善を図りつつ維持存続する必要がある。一方で、効率的な移動手段の確保策のひとつとして、伊賀市地域公共交通網形成計画に基づき、地域の意向を踏まえた地域運行バスの導入を進めていくこととしており、導入区域に係る既存の行政バス路線については、縮小、廃止も見据えた再編を行っていく。
----	----	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)125バス等対策事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	42 市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-125-52
	施策	4204 安定的で持続可能な交通サービスの提供	担当部署	部・課名等 企画振興部交通政策課
事務事業名	地方バス路線維持経費	評価責任者・連絡先	課長 森 健至 0595-22-9663	

事務事業の概要	対象	交通事業者が廃止したバス路線の沿線地域住民等の移動手段の確保		
	目的	交通事業者が廃止したバス路線の沿線地域住民等の日常生活交通及び通院、通学等の交通手段を確保する。		
	内容	廃止代替バス路線である予野線、諏訪線、西山線、友生線、島ヶ原線、月瀬線、柘植線の7路線を沿線地域住民等の通院、通学をはじめとする日常生活交通として、運行事業者(三重交通株式会社)への委託により運行しました。		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		委託料	79,814,160円	自主運行バス運行業務委託料 79,814,160円 (友生線、予野線、島ヶ原線、諏訪線、西山線、柘植線)
			6,932,520円	自主運行バス運行業務委託料(月瀬線) 6,932,520円
		計	86,746,680円	

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	バスの運行に係る経常費用から経常収入を差し引いた額が運行委託料となる。	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	82,650	80,524	86,747		86,291
		合計(A)	82,650	80,524	86,747		86,291
人件費	正規職員	業務量	0.24 人	0.24 人	0.24 人	0.24 人	
		人件費	1,797	1,870	1,870	1,882	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	1,797	1,870	1,870	1,882		
合計(A+B)	84,447	82,394	88,617	88,173			
市民1人当たりのコスト(円)		889	874	940	939		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間利用者数	廃止代替バスの利用者数	人	目標	200,000	200,000	200,000
			実績	176,886	156,502	146,167
指標化できない成果		達成		78.3%	73.1%	

方向	改善	課題及び改善案	中心市街地と市内各地を結ぶ準基幹バスとして、学生や高齢者等自ら交通手段を持たない人たちの重要な移動手段であるが、利用者の減少傾向が続いていることから、利用者のニーズや利用動向に応じた路線の見直しや運行改善を図り、利用者の増加及び収支の改善に努める必要がある。
----	----	---------	---

整理番号
49 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)125バス等対策事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	42	市内外の交通インフラ整備により、人・モノ・情報の流れが活発なまちづくり	平成 21 年度～平成 32 年度	01-02-01-06-125-53
	施策	4204	安定的で持続可能な交通サービスの提供		
事務事業名	地域交通対策事業	担当部署	部・課名等 企画振興部交通政策課	評価責任者・連絡先 課長 森 健至 0595-22-9663	

事務事業の概要	対象	公共交通利用不便地区における移動手段の確保		
	目的	伊賀市地域公共交通網形成計画に基づき、住民と行政が支えあう形で公共交通利用不便地区の解消を図る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通利用不便地区である比自岐地区における地域住民の移動手段を確保するため、住民自治協議会単位で構成する比自岐コスモス号運行連絡協議会への委託により、比自岐コスモス号を運行しました。 経年により老朽化した比自岐コスモス号を新車両に更新する経費に対し補助金を支出しました。 きじが台地区住民(特に高齢者)の移動手段の確保のため、名張市美旗地域コミュニティバス運営審議会が自主運行するコミュニティバス「はたっこ号」のきじが台地区への乗り入れに対して、きじが台地区住民自治協議会が負担する運行経費について補助金を支出しました。 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,878,400円	地域運行型行政バス運行业務委託料	1,878,400円
	負担金、補助及び補助金	2,750,000円	バス等交通対策支援事業費補助金	2,600,000円
			コミュニティバス運行補助金	150,000円
	計	4,628,400円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
		国県支出金		0	0	0	0	平成28年度 【地方債】 バス等対策事業 【その他】 地域運行型行政バス運賃収入 ※比自岐コスモス号運賃収入 (比自岐コスモス号の運賃収入は市の収入となり、その収入に相当する額を乗車実績委託料として比自岐コスモス号運行連絡協議会へ支払う。)
		地方債		0	4,200	2,000	0	
		その他		340	426	279	340	
		一般財源		1,750	1,802	2,350	1,750	
		合計(A)		2,090	6,428	4,629	2,090	
		正規職員	業務量	0.31 人	0.31 人	0.31 人	0.31 人	
			人件費	2,321	2,416	2,416	2,431	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)		2,321	2,416	2,416	2,431	
		合計(A+B)		4,411	8,844	7,045	4,521	
		市民1人当たりのコスト(円)		47	94	75	49	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	比自岐コスモス号の年間乗車人数		比自岐コスモス号の年間乗車人数	人	目標	1,800	1,800	1,800
					実績	2,146	1,709	1,392
指標化できない成果			達成	94.9%	77.3%			

方向	継続	課題及び改善案	高齢者など自ら交通手段を持たない人たちの重要な移動手段であり、引き続き安定した運行、運営が必要である。また、伊賀市地域公共交通網形成計画の重点施策として位置づける地域運行バスの導入を進めていくに当たり、地元地域が自主的に取り組む運行形態のひとつとして本市における先行事例であることから、これまでの取り組みを十分検証した上で、地域運行バスの制度化を図る。
----	----	---------	--

整理番号
50 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)6企画費(細目)127行財政改革推進費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 18 年度～平成 32 年度 01-02-01-06-127-01
	施策	7231	自立的な市行政の運営	
	事務事業名	行財政改革推進費		担当部署 総務部行財政改革推進課 評価責任者・連絡先 課長 東 浩一 0595-22-9622

事務事業の概要	対象	市が行う事務事業、市職員																											
	目的	職員一人ひとりが改革改善を意識し業務を行い、効果的・効率的な行財政運営に取り組むことができる																											
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業評価、施策評価について各評価者により実施し、「各種決算に係る主要施策の成果報告書」、「行政経営報告書」として公表しました。 ・春の行政経営協議…年度末の施策評価を基に、平成28年度の取組方針や課題等の確認及び情報共有しました。 ・秋の行政経営協議…中間評価を基に、事業の進捗状況や社会情勢の変化を踏まえ、事務事業の重点化や施策の優先度を決定し、平成29年度予算編成に反映しました。 ・行政総合マネジメントシステム推進会議…1回開催(2月9日)し、マネジメントシステムの運用方法を検討しました。 ・住民課と協働して、市民サービス水準を向上させるため、窓口業務の一部委託(平成29年10月開始)を決定しました。 ・伊賀市総合計画審議会による外部評価を実施しました(7月)。 ・施設所管課及び管財課と協働して公共施設最適化計画第Ⅰ期実行計画を推進しました。 ・補助金等の適正化に関する指針、審議会等の見直し方針に基づき、進捗状況から所管課との調整等を実施しました。 																											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>32,500円</td> <td>旅費</td> <td>32,500円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>270,355円</td> <td>消耗品費</td> <td>261,940円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>燃料費</td> <td>6,165円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>食糧費</td> <td>2,250円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>5,000円</td> <td>有料道路通行料</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>307,855円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		旅費	32,500円	旅費	32,500円	需用費	270,355円	消耗品費	261,940円			燃料費	6,165円			食糧費	2,250円	使用料及び賃借料	5,000円	有料道路通行料	5,000円	計	307,855円	
経費	金額	摘要																											
旅費	32,500円	旅費	32,500円																										
需用費	270,355円	消耗品費	261,940円																										
		燃料費	6,165円																										
		食糧費	2,250円																										
使用料及び賃借料	5,000円	有料道路通行料	5,000円																										
計	307,855円																												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	290	370	308	671	
		合計(A)	290	370	308	671	
	人件費	正規職員	業務量 4.00 人	3.75 人	3.75 人	4.00 人	
			人件費 29,948	29,217	29,217	31,364	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	29,948	29,217	29,217	31,364	
		合計(A+B)	30,238	29,587	29,525	32,035	
		市民1人当たりのコスト(円)	319	314	314	341	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	行政評価を実施した所属数の割合	行政評価を実施した所属数 / 全所属数	%	目標		100	100	100
				実績	69.3	84.1	94.2	
指標化できない成果			達成		84.1%	94.2%		

方向	課題及び改善案	<p>導入初年度は6施策に止まってしまった外部評価の対象施策数を増やし、「評価の透明性の確保」「アカウントビリティの向上」「職員の意識改革」の機会をさらに増やす必要があります。</p> <p>平成29年10月から開始する住民課窓口業務の民間委託を成功させ、職員数減少の時代においても市民サービスを維持・継続させる取組みとして、庁内の他業務へ民間活用手法を波及させます。</p>
----	---------	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)128文化振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-01
	施策	6201	豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	担当部署	部・課名等
	事務事業名	文化振興一般経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	①「岸宏子文学振興基金」積立て②伊賀コミュニティオーケストラ ③上野文化美術保存会及び市民																								
	目的	①地域の文学振興に資するため「岸宏子文学振興基金」を設置し、運用益等を積立てる②市民管弦楽団の育成により、市民の音楽を実践する場や鑑賞する場を増やし、音楽文化の振興を図る③上野天神祭のダンジリ行事の文化継承を図る																								
	内容	<p>①平成27年度に設置した「岸宏子文学振興基金」及び建物等について、故人及びご遺族の文学の振興のために活用してほしいとのご意向に添うよう利活用について検討をはじめました。 基金額年度当初116,330,752円＋利息29,219円＋著作権使用料542,160円＝116,902,131円</p> <p>②市の音楽文化振興と市民管弦楽団の育成を目的とした寄附金を元として、伊賀コミュニティオーケストラに運営助成を行いました。伊賀コミュニティオーケストラは年間活動計画を立て、月2回の合奏練習(演奏会前は月4回)の実施や、新規に楽譜を購入し、演奏会を計3回実施しました。 5月22日(日)第11回さんさん名曲コンサート 入場者数231名 / 10月16日(日)第14回定期演奏会 入場者数397名 / 1月15日(日)第8回室内楽演奏会 入場者数27名</p> <p>③上野天神祭のダンジリ行事がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを受け12月1日に記念式典を開催しました。文化の保存継承について情報発信を行いさらに意識を深めました。</p>																								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務補助員保険料</td> <td>120,314円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事務補助員賃金</td> <td>807,355円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>300,000円</td> <td>市民管弦楽団運営補助金(伊賀コミュニティオーケストラ)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,600,000円</td> <td>コミュニティ助成金(伊賀市文化都市協会)</td> </tr> <tr> <td>積立金</td> <td>598,417円</td> <td>岸宏子文学振興基金積立金 571,379円 文化振興基金積立金 27,038円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>280,470円</td> <td>消耗品、燃料費、物品借上料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,706,556円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	事務補助員保険料	120,314円		事務補助員賃金	807,355円		負担金、補助及び交付金	300,000円	市民管弦楽団運営補助金(伊賀コミュニティオーケストラ)		2,600,000円	コミュニティ助成金(伊賀市文化都市協会)	積立金	598,417円	岸宏子文学振興基金積立金 571,379円 文化振興基金積立金 27,038円	その他事務経費	280,470円	消耗品、燃料費、物品借上料	計	4,706,556円	
経費	金額	摘要																								
事務補助員保険料	120,314円																									
事務補助員賃金	807,355円																									
負担金、補助及び交付金	300,000円	市民管弦楽団運営補助金(伊賀コミュニティオーケストラ)																								
	2,600,000円	コミュニティ助成金(伊賀市文化都市協会)																								
積立金	598,417円	岸宏子文学振興基金積立金 571,379円 文化振興基金積立金 27,038円																								
その他事務経費	280,470円	消耗品、燃料費、物品借上料																								
計	4,706,556円																									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	116,744	496	3,498	9,025		
	一般財源	2,149	1,351	1,209	0		
	合計(A)	118,893	1,847	4,707	9,025		
人件費	正規職員	業務量	1.15 人	1.15 人	0.75 人	0.85 人	
		人件費	8,611	8,960	5,844	6,665	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	8,611	8,960	5,844	6,665		
	合計(A+B)	127,504	10,807	10,551	15,690		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,342	115	112	167		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	演奏会等来場者数	より多くの人に関心を持つことにより音楽文化が向上する	人	目標		650	650	660
				実績	684	677	655	
指標化できない成果			達成		104.2%	100.8%		

方向	改善	<p>課題及び改善案</p> <p>【岸宏子文学振興基金】文学振興のための活用について、現金に併せて寄贈された自宅土地建物や書籍なども含めて、具体的な検討を進めます。</p> <p>【市民管弦楽団運営補助金】財源としている篤志寄附金の残金を効果的に活用できるよう補助対象者と協議を続けます。</p>
----	----	---

整理番号
52 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)128文化振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-51
	施策	6201	豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	担当部署	部・課名等
	事務事業名	美術展覧会運営経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	一般市民、造形芸術活動に取り組む市民(15歳以上の市在勤者、在学者及び市出身者を含む。)																											
	目的	造形芸術への創作意欲の向上、芸術文化の振興に資する																											
	内容	<p>造形芸術作品を発表する場と、優れた作品を鑑賞する機会を提供するため、有識者8人による運営委員会を組織し、事業計画等を協議、第12回伊賀市民美術展覧会を開催しました。 「絵画」「彫塑工芸」「写真」「書」の4部門において作品を公募し、審査員による公開審査を実施しました。審査の結果、各部門ごとに市展「いが」賞、議長賞、教育委員会賞など計10の賞を決定し、それら入賞作品及び入選作品、無鑑査対象作品を合わせ、総点数168点を、ハイトピア伊賀5階を会場として5日間に渡り展示し、一般の観覧に供しました。 運営委員会で、より魅力のある市展となるよう開催日程や開催場所の見直しについて検討を行いました。 また今年度は広域連携による～いが・こうか・かめやま連携プロジェクト～の取り組みとして市展において市民の交流や文化の交流を図るため各会場にそれぞれの市の最高賞を受賞した作品の相互展示を行い更なる文化芸術意識の向上を図りました。</p> <p>一般応募作品数 127点(H27実績 145) 入場者数1,788人(H27実績 2,843)</p>																											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>243,900円</td> <td>伊賀市民美術展覧会運営委員報酬</td> <td>144,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>伊賀市民美術展覧会審査員報酬</td> <td>99,900円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>476,000円</td> <td>賞金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>20,940円</td> <td>審査員旅費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>63,396円</td> <td>消耗品費、食糧費等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>804,236円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		報酬	243,900円	伊賀市民美術展覧会運営委員報酬	144,000円			伊賀市民美術展覧会審査員報酬	99,900円	報償費	476,000円	賞金		旅費	20,940円	審査員旅費		その他事務経費	63,396円	消耗品費、食糧費等		計	804,236円	
経費	金額	摘要																											
報酬	243,900円	伊賀市民美術展覧会運営委員報酬	144,000円																										
		伊賀市民美術展覧会審査員報酬	99,900円																										
報償費	476,000円	賞金																											
旅費	20,940円	審査員旅費																											
その他事務経費	63,396円	消耗品費、食糧費等																											
計	804,236円																												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	200	200	200	200		
	一般財源	1,143	588	605	572		
	合計(A)	1,343	788	805	772		
人件費	正規職員	業務量	0.34 人	0.26 人	0.34 人	0.25 人	
		人件費	2,546	2,026	2,649	1,961	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,546	2,026	2,649	1,961		
	合計(A+B)	3,889	2,814	3,454	2,733		
	市民1人当たりのコスト(円)	41	30	37	30		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	一般応募数	造形芸術活動に取り組む人を増やす	人	目標		160	160	160
				実績	135	145	127	
指標化できない成果			達成		90.6%	79.4%		

方向	改善	課題及び改善案 出品者の固定化、地域的な偏りがあります。若年層の出品を奨励し、造形芸術活動に取り組む人及び地域の裾野を広げる必要があります。 開催日時や開催場所を含め、民間の力も活用し、より魅力的なる市展となるよう検討します。
----	----	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)128文化振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-52
	施策	6201	豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	担当 部署	部・課名等 企画振興部文化交流課
	事務事業名	文化祭開催経費		評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621	

事務事業の概要	対象	芸術文化活動に携わる者及び一般市民											
	目的	芸術文化活動を発表する場を提供し、参加者(団体)相互の意識を高め、それぞれの活動内容の充実、また、それらを見たり触れることにより新たな人材の発掘や育成に役立てる											
	内容	<p>芸術文化活動に取り組む諸団体及び個人が、日頃の活動の成果を発表する場として、また、これを通じてお互いの文化意識を高め活動内容のより一層の向上を図るため、「伊賀市民文化祭」を市内の文化団体、各地区文化サークルの代表者などで構成する「伊賀市民文化祭実行委員会」に委託し、舞台部門、展示部門ともに開催しました。</p> <p>参加者数 66団体、個人2人(H27:60団体、個人11人) 入場者数 3,743人(H27:3,740人) 内訳 展示部門1,097人(内出品者227人)、舞台部門2,646人(内出演者956人)</p>											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,200,000円</td> <td>市民文化祭委託料 (2016伊賀市民文化祭実行委員会)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>290,490円</td> <td>会場借上料等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,490,490円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,200,000円	市民文化祭委託料 (2016伊賀市民文化祭実行委員会)	使用料及び賃借料	290,490円	会場借上料等	計	1,490,490円
経費	金額	摘要											
委託料	1,200,000円	市民文化祭委託料 (2016伊賀市民文化祭実行委員会)											
使用料及び賃借料	290,490円	会場借上料等											
計	1,490,490円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,500	1,500	1,491	1,750		
	合計(A)	1,500	1,500	1,491	1,750		
人件費	正規職員	業務量	0.06 人	0.04 人	0.07 人	0.04 人	
		人件費	450	312	546	314	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	450	312	546	314		
	合計(A+B)	1,950	1,812	2,037	2,064		
	市民1人当たりのコスト(円)	21	20	22	22		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	入場者数		多くの市民が参加したくなる、または観たくなる文化祭にする	人	目標	3,500	3,700	3,700
					実績	2,911	3,740	3,743
	指標化できない成果		達成	106.9%	101.2%			

方向	改善	課題及び改善案 部門により参加者数の増加は見られるが参加者及び観覧者の固定化しており、市全域へ広がりにくいなど課題が多くあります。実施効果を高めるため、実行委員会を中心に運営方法等の見直しを検討します。
----	----	--

整理番号
54 - 0

決算書頁
171

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)128文化振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-128-54
	施策	6201	豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	担当部署	部・課名等
	事務事業名	先賢顕彰費	伊賀支所振興課	評価責任者・連絡先	課長 中原 康雅 0595-45-9111

事務事業の概要	対象	横光利一顕彰「雪解」のつどい実行委員会・県内外市民、文豪横光利一野村区顕彰会											
	目的	郷土の偉人の顕彰を行うこと、その生き方を学ぶことで、郷土を愛し郷土に誇りを持つことを次世代に繋げる。											
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年3月18日にふるさと会館いがにおいて開催された第19回「雪解」のつどいに対し、補助金を支出しました。 ・文豪横光利一野村区顕彰会に横光公園の維持管理を委託しました。 											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>150,000円</td> <td>横光公園管理委託 150,000円 (委託先:文豪横光利一野村区顕彰会)</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>69,000円</td> <td>雪解のつどい実行委員会補助金 69,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>219,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	150,000円	横光公園管理委託 150,000円 (委託先:文豪横光利一野村区顕彰会)	負担金、補助及び交付金	69,000円	雪解のつどい実行委員会補助金 69,000円	計	219,000円
経費	金額	摘要											
委託料	150,000円	横光公園管理委託 150,000円 (委託先:文豪横光利一野村区顕彰会)											
負担金、補助及び交付金	69,000円	雪解のつどい実行委員会補助金 69,000円											
計	219,000円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	489	219	219	399		
	合計(A)	489	219	219	399		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
合計(A+B)	489	219	219	399			
市民1人当たりのコスト(円)			6	3	3	5	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	「雪解」のつどい参加者数	「雪解」のつどいへの一般参加者数	人	目標		100	100	100
				実績	120	90	100	
指標化できない成果			達成		90.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	伊賀市の偉人については、市全体で考えていく必要があります。また、伊賀市には多くの偉人が輩出されているので、いがまち以外の部分も発掘すべきと考えられます。
----	----	---------	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)129多文化共生推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	61	文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-129-51
	施策	6101	多文化共生施策の充実と推進体制の整備		
事務事業名	多文化共生推進事業		担当部署	部・課名等 人権生活環境部市民生活課	
				評価責任者・連絡先 課長 月井 敦子 0595-22-9638	

事務事業の概要	対象	市民																																					
	目的	外国人と日本人との間にある言葉、制度、心の壁を下げる。																																					
	内容	<p>外国人と交流、共生できる地域社会をつくるため、言葉や文化の違いから生じる様々な問題の解決に取り組み、国際交流及び多文化共生の推進を図りました。</p> <p>(1)多文化共生推進事業</p> <p>①外国人住民の生活相談等を多言語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)で実施しました。(窓口・電話相談件数5,629件)また、毎月第1木曜日に外国人のための行政書士相談を実施しました。(相談件数25件)</p> <p>②新規に転入してきた外国人を対象に生活オリエンテーションを実施しました。(87件)</p> <p>③外国人集住都市会議に参加し、調査研究に取り組みました。</p> <p>④伊賀市国際交流協会に次の多文化共生事業を委託しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語情報紙の発行、学習支援教室「ささゆり」の運営、国際交流フェスタの開催 <p>⑤「やさしい日本語と外国人とのコミュニケーション講座」を開催しました。7月17日(日)参加者17名</p> <p>⑥多文化共生サポーター養成講座を開催しました。(計5回、受講生26名)</p> <p>(2)国際交流協会支援事業</p> <p>市民による国際交流や多文化共生の推進を図るため、国際交流協会の運営に対し補助を行いました。</p>																																					
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>7,397,170円</td> <td>多文化共生嘱託員報酬(4人)</td> <td>7,247,170円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>外国人住民協議会委員報酬(延べ25人、2回開催)</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>126,271円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>多文化理解促進事業委託料</td> <td>789,537円</td> <td>多文化共生のまちづくり促進事業739,800円、多文化共生マネージャー講師49,737円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>多文化共生事業委託料</td> <td>2,485,000円</td> <td>国際交流協会への委託(伊賀市国際交流協会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>2,440,000円</td> <td>国際交流協会事業補助金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,421,285円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,659,263円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		報酬	7,397,170円	多文化共生嘱託員報酬(4人)	7,247,170円			外国人住民協議会委員報酬(延べ25人、2回開催)	150,000円	需用費	126,271円			多文化理解促進事業委託料	789,537円	多文化共生のまちづくり促進事業739,800円、多文化共生マネージャー講師49,737円		多文化共生事業委託料	2,485,000円	国際交流協会への委託(伊賀市国際交流協会)		補助金	2,440,000円	国際交流協会事業補助金		その他	1,421,285円			計	14,659,263円				
経費	金額	摘要																																					
報酬	7,397,170円	多文化共生嘱託員報酬(4人)	7,247,170円																																				
		外国人住民協議会委員報酬(延べ25人、2回開催)	150,000円																																				
需用費	126,271円																																						
多文化理解促進事業委託料	789,537円	多文化共生のまちづくり促進事業739,800円、多文化共生マネージャー講師49,737円																																					
多文化共生事業委託料	2,485,000円	国際交流協会への委託(伊賀市国際交流協会)																																					
補助金	2,440,000円	国際交流協会事業補助金																																					
その他	1,421,285円																																						
計	14,659,263円																																						

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	0	0	0	0	国際交流基金利子 2,457円	
		その他	1,417	1,342	901	1,014	事業参加負担金 9,000円	
		一般財源	14,110	14,258	13,759	13,989		
		合計(A)	15,527	15,600	14,660	15,003		
	人件費	正規職員	業務量	1.40 人	1.40 人	0.98 人	0.98 人	
人件費			10,482	10,908	7,636	7,685		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	0.10 人	0.10 人		
		人件費			180	181		
		小計(B)	10,482	10,908	7,636	7,866		
		合計(A+B)	26,009	26,508	22,296	22,869		
		市民1人当たりのコスト(円)	274	282	237	244		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		外国人住民が住んでよかったと感じる割合	外国人住民アンケートの結果。2年に1度の実施。実績H25年度、H27年度。	%	目標	50	50
				実績	33	—	
	指標化できない成果			達成	66.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>外国人住民の相談件数は依然として多く、また、庁内での通訳や翻訳などもあり、多文化共生嘱託員は多忙を極める。多文化理解講座やサポーター養成講座の参加者は多いので、関りを持ちたい日本人も多いと考える。今後も多文化理解講座等の開催を通して、市民に多文化共生の理解を深めるとともに、協力してくれる人材の発掘に努めたい。</p>
----	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)129多文化共生推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	61	文化の違いを尊重し、多文化が共生するまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-01-07-129-52
	施策	6101	多文化共生施策の充実と推進体制の整備	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	多文化共生センター整備事業(繰越明許費分)		人権生活環境部市民生活課	課長 月井 敦子 0595-22-9638	

事務事業の概要	対象	市民																								
	目的	外国人住民と日本人住民の交流の場の創出と多言語での情報発信																								
	内容	<p>外国人住民協議会の提言を受け、市内の空き店舗を改修し、多文化共生センターを開設した。</p> <p>センターでは、多言語での情報提供を行っており、ホームページを開設している。(ポルトガル語、スペイン語、中国語、英語、やさしい日本語) 無料で使えるパソコンを配置しており、インターネットや文書作成が出来る。カラー複合機によるコピーやスキャナ等のサービスは有料で提供。 日替わりで通訳を配置し、相談業務も行っている。英語による観光情報の案内などにも対応する。</p> <p>多文化理解講座の開催、外国の文化紹介などの展示などを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リオデジャネイロオリンピック(ブラジル) ・中国の春節紹介、春聯体験 ・台湾・台東県の紹介 ・台湾のお茶を楽しむ講座 ・英語de茶道(国際交流協会主催) 																								
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>1,192,898円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>150,020円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地建物借上料</td> <td>1,018,354円</td> <td>賃借料85,000円/月 ほか</td> </tr> <tr> <td>施設整備工事費</td> <td>2,890,080円</td> <td>センター 2,866,320円、ネットワーク 23,760円</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>540,555円</td> <td>初度備品 326,829円 管理用備品 ほか 213,726円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>500,647円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,292,554円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	1,192,898円		需用費	150,020円		土地建物借上料	1,018,354円	賃借料85,000円/月 ほか	施設整備工事費	2,890,080円	センター 2,866,320円、ネットワーク 23,760円	備品購入費	540,555円	初度備品 326,829円 管理用備品 ほか 213,726円	その他	500,647円		計	6,292,554円		
経費	金額	摘要																								
報酬	1,192,898円																									
需用費	150,020円																									
土地建物借上料	1,018,354円	賃借料85,000円/月 ほか																								
施設整備工事費	2,890,080円	センター 2,866,320円、ネットワーク 23,760円																								
備品購入費	540,555円	初度備品 326,829円 管理用備品 ほか 213,726円																								
その他	500,647円																									
計	6,292,554円																									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		7,660	5,935	
		地方債		0	0		
		その他		0	0		
		一般財源		0	358		
		合計(A)	0	7,660	6,293	0	
	人件費	正規職員	業務量	0.33 人	0.33 人		
人件費			0	2,572	2,572	0	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	0.10 人	0.10 人			
		人件費		180	180		
		小計(B)	0	2,752	2,572	0	
		合計(A+B)	0	10,412	8,865	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	111	95	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	相談件数		本庁の相談件数のうち1割を多文化共生センターで行う。	件	目標		300	500
					実績		355	
指標化できない成果			達成		118.3%			

方向	完了	課題及び改善案	平成28年8月に多文化共生センターを開所したが利用者数が伸び悩んでいる。このセンターの機能やサービス内容を周知する必要がある。 日本人住民や外国人住民が集える事業を多く開催し、来所者数を増やす。また、センターで行う事業をサポートしてくれるボランティア等の育成を行っていく。
----	----	---------	---

整理番号
57 - 0

決算書頁
175

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)130都市間交流推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-130-51
	施策	6201	豊かな感性を育む文化・芸術意識の高揚	担当 部署	部・課名等 企画振興部文化交流課
	事務事業名	都市間交流推進事業		評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621	

事務事業の概要	対象	俳句にゆかりのある都市や、東大寺造営や再建などで歴史的に関係の深い都市																																			
	目的	交流を深め、情報交換等を通じて、伊賀市の魅力を発信する。																																			
	内容	<p>奥の細道サミットin大垣(10月1日・2日)に参加しました。理事会、総会、記念講演会、交流会、大垣市内視察に出席しました。総会では「俳句」のユネスコ無形文化遺産登録推進事業への賛同について伊賀市から議題として提出し、賛同を得ました。</p> <p>大垣市と双方の芭蕉ゆかりの行事を通じて交流を行いました。 10月12日芭蕉祭(伊賀市) 10月16日蛤塚忌(大垣市)</p> <p>東大寺サミットin鎌倉(10月29日)に参加しました。サミット宣言を行った後、講演会に出席しました。</p>																																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>51,950円</td> <td>大垣市・奥の細道サミット／鎌倉市東大寺サミット</td> <td>51,950円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>185,000円</td> <td>奥の細道サミット負担金</td> <td>30,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>奥の細道サミット参加者負担金</td> <td>5,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(奥の細道サミット大垣大会実行委員会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>東大寺サミット負担金</td> <td>150,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>(東大寺建立運関わった市町村サミット実行委員会)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>35,966円</td> <td>消耗品、複写料金、燃料費、通信運搬費等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>272,916円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		旅費	51,950円	大垣市・奥の細道サミット／鎌倉市東大寺サミット	51,950円	負担金、補助及び交付金	185,000円	奥の細道サミット負担金	30,000円			奥の細道サミット参加者負担金	5,000円			(奥の細道サミット大垣大会実行委員会)				東大寺サミット負担金	150,000円			(東大寺建立運関わった市町村サミット実行委員会)		その他事務経費	35,966円	消耗品、複写料金、燃料費、通信運搬費等		計	272,916円	
経費	金額	摘要																																			
旅費	51,950円	大垣市・奥の細道サミット／鎌倉市東大寺サミット	51,950円																																		
負担金、補助及び交付金	185,000円	奥の細道サミット負担金	30,000円																																		
		奥の細道サミット参加者負担金	5,000円																																		
		(奥の細道サミット大垣大会実行委員会)																																			
		東大寺サミット負担金	150,000円																																		
		(東大寺建立運関わった市町村サミット実行委員会)																																			
その他事務経費	35,966円	消耗品、複写料金、燃料費、通信運搬費等																																			
計	272,916円																																				

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	145	372	273	134	
		合計(A)	145	372	273	134	
	人件費	正規職員	業務量	0.03 人	0.03 人	0.05 人	0.30 人
人件費			225	234	390	2,353	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	225	234	390	2,353	
	合計(A+B)	370	606	663	2,487		
	市民1人当たりのコスト(円)		4	7	8	27	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	交流都市数(団体含む)	交流を行った自治体・団体数(延べ)	団体	目標		39	51	51
				実績	64	23	38	
指標化できない成果			達成		59.0%	74.5%		

方向	改善	課題及び改善案	必要性、効果、若しくは実施後の検証結果等を見極め参加交流事業等の選択を行う必要があります。
----	----	---------	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)131文化施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-07-131-05
	施策	6202	市民の身近で充実した文化施設	担当部署	部・課名等
	事務事業名	文化施設維持管理経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民、市外在住者		
	目的	文化会館ほか3ホールの適切な管理運営及び指定管理者の自主事業の企画、実施等を通じて市民の文化芸術活動を振興する。		
	内容	<p>伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、あやま文化センター及び青山ホールの管理運營業務を(公財)伊賀市文化都市協会へ指定管理者制度に基づき委託しました。今年度は伊賀市文化会館の開館25周年記念に当たるため周年記念事業を開催しました。多くの市民が優れた文化芸術の鑑賞の機会が得られるよう、各種ジャンル、年齢層等を考慮し、市民ニーズに応じた多彩な公演事業の実施等自主事業の展開に努めました。</p> <p>施設の維持管理についてはどのホールも老朽化が進み、修繕箇所が多発しています。伊賀市文化会館事務室空調更新工事、あやま文化センターの空調機冷媒漏れ修繕を行い、施設の改善に努めました。</p> <p>【H28自主事業数】 伊賀市文化会館21事業(うち開館25周年記念事業5)、ふるさと会館いが5事業、青山ホール6事業、あやま文化センター6事業、アウトリーチ・ロビーコンサート等7事業 伝統文化継承・芸術音楽活性化事業11事業</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費	648,000円	施設修繕 あやま文化センター空調修繕	
	委託料	189,648,000円	伊賀市文化会館ほか3館指定管理料	(伊賀市文化都市協会)
	使用料及び賃借料	3,056,362円	AED借上料	80,352円
			伊賀市文化会館駐車場借上料	1,718,500円
			施設使用減免申請に係る会場借上料等	1,257,510円
	工事請負費	1,285,200円	文化会館事務室空調更新工事	1,285,200円
	その他事務経費	2,000円	手数料	
	計	194,639,562円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	30,000	0	0	
		地方債	53,800	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	196,420	194,809	194,640	199,720	
		合計(A)	280,220	194,809	194,640	199,720	
	人件費	正規職員	業務量 0.29 人	0.29 人	0.31 人	0.29 人	
			人件費 2,172	2,260	2,416	2,274	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	2,172	2,260	2,416	2,274	
		合計(A+B)	282,392	197,069	197,056	201,994	
		市民1人当たりのコスト(円)	2,971	2,091	2,091	2,149	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	文化施設の来館者数	芸術文化普及事業の入場者数	人	目標		18,000	18,000	18,000
				実績	11,511	15,616	19,489	
指標化できない成果			達成		86.8%	108.3%		

方向	改善	課題及び改善案	市民の文化芸術に対する多様なニーズに的確に応えられる満足度の高い事業を行う等、施設の有効活用と利用者増に努めます。公共施設最適化計画の取り組みについて老朽化、更新時期との兼ね合いから関係部署との連携を図ります。
----	----	---------	---

整理番号
59 - 0

決算書頁
175

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)7文化振興費(細目)131文化施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-01-07-131-05
	施策	6202	市民の身近で充実した文化施設	担当部署	部・課名等
	事務事業名	文化施設維持管理経費(繰越明許費分)		企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民、市外在住者		
	目的	文化会館ほか3ホールの適切な管理運営及び指定管理者の自主事業の企画、実施等を通じて市民の文化芸術活動を振興する。		
	内容	伊賀市文化会館の舞台吊物改修工事(伊賀市文化会館ボーダーライト用吊りパイプ金具及び付属パイプ設置工事を行い、施設の改善に努めました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	工事請負費	1,220,400円	文化会館ボーダーライト用吊りパイプ金具及び付属パイプ設置工事 ((有)ステージコラブレーションアイジイエイ)	
	計	1,220,400円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		0	0	
		地方債		1,200	1,100		
		その他		0	0		
		一般財源		100	121		
		合計(A)	0	1,300	1,221	0	
	人件費	正規職員	業務量	人	人	人	人
			人件費	0	0	0	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	0	0	0	0	
		合計(A+B)	0	1,300	1,221	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	14	13	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	文化施設の来館者数	芸術文化普及事業の入場者数	人	目標		18,000	18,000	18,000
				実績	11,511	15,616	19,489	
指標化できない成果			達成		86.8%	108.3%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号
60 - 0

決算書頁
175

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)8芭蕉顕彰費(細目)133芭蕉翁顕彰経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-133-51
	施策	6203	芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	担当部署	部・課名等
	事務事業名	芭蕉祭執行等経費	企画振興部文化交流課	評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民並びに俳諧及び俳句愛好者、芭蕉翁を慕う市外の人など																	
	目的	俳聖松尾芭蕉の功績を称え遺徳を偲び、俳諧及び俳句の普及啓発、更には芭蕉翁生誕地伊賀市をPRする。																	
	内容	<p>(公財)芭蕉翁顕彰会との共催により、芭蕉翁の命日(10月12日)に、市民や全国の俳句愛好家など多数の参加者を迎え、式典や関連行事による第70回「芭蕉祭」を開催しました。芭蕉祭市民合唱団、芭蕉祭フェスティバルバンドによる合唱、演奏が行われました。第70回記念イベントとしてエンディングに児童生徒の部の献詠俳句特入選句をつけバルーンリリースを行い、天国の芭蕉さんに届けました。また、俳文学関係著書の中から優秀研究著書に対し文部科学大臣賞を授与するため、学識経験者から成る文部科学大臣賞選考委員会の運営等授賞のための事務を行いました。当日式典には約500名が出席しました。</p> <p>芭蕉祭式典(献詠俳句特選者授賞、文部科学大臣賞授賞等) 全国俳句大会、野外音楽会、芭蕉祭ポスター原画展、月見の献立懇親会 各種芭蕉祭協賛事業 文部科学大臣賞選考委員会の開催等授賞著書選考事務</p>																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>320,000円</td> <td>文部科学大臣賞選考委員会委員報酬 委員長80,000円、委員240,000円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>20,000円</td> <td>文部科学大臣賞選考対象著書目録等作成謝礼</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>9,036,640円</td> <td>芭蕉祭式典会場設営撤去等業務委託料 1,142,640円 記念イベントバルーンリリース(ハッピーシュガー) 54,000円 芭蕉祭運営業務委託料((公財)芭蕉翁顕彰会) 7,840,000円</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>173,899円</td> <td>備品購入、旅費等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9,550,539円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	320,000円	文部科学大臣賞選考委員会委員報酬 委員長80,000円、委員240,000円	報償費	20,000円	文部科学大臣賞選考対象著書目録等作成謝礼	委託料	9,036,640円	芭蕉祭式典会場設営撤去等業務委託料 1,142,640円 記念イベントバルーンリリース(ハッピーシュガー) 54,000円 芭蕉祭運営業務委託料((公財)芭蕉翁顕彰会) 7,840,000円	その他事務経費	173,899円	備品購入、旅費等	計	9,550,539円
経費	金額	摘要																	
報酬	320,000円	文部科学大臣賞選考委員会委員報酬 委員長80,000円、委員240,000円																	
報償費	20,000円	文部科学大臣賞選考対象著書目録等作成謝礼																	
委託料	9,036,640円	芭蕉祭式典会場設営撤去等業務委託料 1,142,640円 記念イベントバルーンリリース(ハッピーシュガー) 54,000円 芭蕉祭運営業務委託料((公財)芭蕉翁顕彰会) 7,840,000円																	
その他事務経費	173,899円	備品購入、旅費等																	
計	9,550,539円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
	地方債	0	0	0	0			
	その他	3,877	3,673	3,410	3,803			
	一般財源	5,462	5,917	6,141	5,772			
	合計(A)	9,339	9,590	9,551	9,575			
	人件費	正規職員	業務量 0.63 人	0.63 人	0.63 人	0.63 人		
		人件費	4,717	4,909	4,909	4,940		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	0.20 人	0.10 人	人	
		人件費						
	小計(B)	4,717	4,909	4,909	4,940			
	合計(A+B)	14,056	14,499	14,460	14,515			
	市民1人当たりのコスト(円)	148	154	154	155			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	芭蕉祭献詠俳句応募数	一般・児童・生徒の部献詠俳句応募数	句	目標		40,000	40,000	40,000
				実績	40,499	39,291	38,571	
指標化できない成果			達成		98.2%	96.4%		

方向	継続	課題及び改善案	市内外への啓発、次世代への継承を行うために、芭蕉翁の偉大さや俳句の楽しさを伝えられる式典となるよう内容を検討する必要があります。また、同時期に市街地内で開催される各種協賛、関連事業との連携の方法を検討します。
----	----	---------	--

整理番号
61 - 0

決算書頁
175

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)8芭蕉顕彰費(細目)133芭蕉翁顕彰経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-133-52
	施策	6203	芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	担当 部署	部・課名等 企画振興部文化交流課
	事務事業名	しぐれ忌執行等経費		評価責任者・連絡先	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民及び俳諧及び俳句愛好者、芭蕉翁を慕う市外の人など								
	目的	俳聖松尾芭蕉の功績を称え、遺徳を偲び、俳諧・俳句の普及啓発、さらには生誕地伊賀市をPRする。								
	内容	<p>公益財団法人芭蕉翁顕彰会との共催、柘植地域の山出区しぐれ忌協賛事業実行委員会の協賛により、芭蕉翁の旧暦の命日に当たる11月12日に柘植町の萬壽寺で式典、記念講演会などを開催しました。</p> <p>式典(合唱「芭蕉讃歌」、顕彰のことば等) 記念講演会 講師 福田 和幸さん「横光利一の中の芭蕉と俳句」 芭蕉翁献詠俳句特選句の奉納、菊花展示 など</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>300,000円</td> <td>しぐれ忌式典業務委託料 (公益財団法人芭蕉翁顕彰会)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>300,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	300,000円	しぐれ忌式典業務委託料 (公益財団法人芭蕉翁顕彰会)	計	300,000円
経費	金額	摘要								
委託料	300,000円	しぐれ忌式典業務委託料 (公益財団法人芭蕉翁顕彰会)								
計	300,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	300	300	300	300		
	合計(A)	300	300	300	300		
人件費	正規職員	業務量	0.03 人	0.03 人	0.03 人	0.03 人	
		人件費	225	234	234	236	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	225	234	234	236		
合計(A+B)	525	534	534	536			
市民1人当たりのコスト(円)		6	6	6	6		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	参加者数		より多くの人やしぐれ忌に参加することで、芭蕉翁を顕彰することができる。	人	目標	150	150	150
					実績	100	120	120
指標化できない成果			達成	80.0%	80.0%			

方向	改善	課題及び改善案	情報発信力などさまざまな課題があるため、事業内容や実施方法に係る課題の検証を関係者(市、芭蕉翁顕彰会、地域等)間で絶えず協議検討する必要があります。
----	----	---------	--

整理番号	(款)2総務費(項)1総務管理費(目)8芭蕉顕彰費(細目)134芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等管理運営経費	決算書頁
62 - 0		175

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-08-134-51
	施策	6203	芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	
事務事業名	芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等管理運営経費	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			企画振興部文化交流課	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民及び市外からの来訪者		
	目的	芭蕉翁の遺業を顕彰するとともに翁ゆかりの蓑虫庵を保存・管理し遺作及び研究著書等を一般の参観に供することによって学芸の振興を図ることを目的とする。		
	内容	<p>指定管理者制度により、芭蕉翁記念館及び蓑虫庵を(公財)芭蕉翁顕彰会に委託しました。偲翁舎は平成28年度から直営とし本来の設置目的である迎賓、文化的な会合の利用促進に努めました。俳聖殿は社会福祉法人維雅幸育会に委託し、適切な施設の管理運営に努めました。</p> <p>芭蕉翁記念館では、芭蕉翁顕彰の拠点として、年3回の企画展と芭蕉祭特別展を開催、貴重な俳諧関係の史資料を一般の参観に供し、学芸員による展示解説を行うなど芭蕉文学の理解向上に努めました。また、小中学生を対象とした俳句教室や俳句初心者のための入門教室の開催、俳人や研究者などによる芭蕉翁や俳文学に関する連続講座を開催するなど、芭蕉翁顕彰と俳句、俳諧の啓発に努めました。また、蓑虫庵では、庵主であり芭蕉の高弟である服部土芳を顕彰する講和会を開催しました。「ライトアップイベントお城のまわり」では芭蕉翁記念館も夜間開放し、俳聖殿とともに事業に協力しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	29,160円	施設修繕費 (偲翁舎警備業務の変更工事)	29,160円
	委託料	25,569,697円	芭蕉翁記念館及び蓑虫庵指定管理料	24,025,000円
			((公財)芭蕉翁顕彰会)	
			俳聖殿清掃及び開閉業務委託料	952,560円
			偲翁舎防災設備点検業務 ほか	592,137円
	使用料及び賃借料	3,800,000円	芭蕉翁記念館展示用資料借用料	3,800,000円
	その他経費	248,955円	光熱水費、事務用品他	
	計	29,647,812円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	34,881	34,045	29,648	29,778	
	合計(A)	34,881	34,045	29,648	29,778			
	人件費	正規職員	業務量	0.46 人	1.50 人	0.61 人	1.50 人	
			人件費	3,445	11,687	4,753	11,762	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		3,445	11,687	4,753	11,762			
合計(A+B)	38,326	45,732	34,401	41,540				
市民1人当たりのコスト(円)			404	486	365	442		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	利用者数	施設利用者合計	人	目標		20,000	20,000
				実績	19,625	19,693	16,971
指標化できない成果			達成		98.5%	84.9%	

方向	改善	課題及び改善案	芭蕉翁記念館については、諸課題の解決や新館の整備を見据えた新たな管理運営体制として直営化との方針を出しました。移行についてこれまで指定管理者であった芭蕉翁顕彰会と協議調整しながら進めていきます。
----	----	---------	---

整理番号	(款)2総務費(項)1総務管理費(目)8芭蕉頭彰費(細目)134芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等管理運営経費	決算書頁
63 - 0		177

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度 01-02-01-08-134-51
	施策	6203	芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	
事務事業名	芭蕉翁記念館・偲翁舎・蓑虫庵等管理運営経費(繰越明許費分)	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			企画振興部文化交流課	課長 滝川 博美 0595-22-9621

事務事業の概要	対象	市民及び市外からの来訪者		
	目的	芭蕉翁の遺業を顕彰するとともに翁ゆかりの蓑虫庵を保存・管理し遺作及び研究著書等を一般の参観に供することによって学芸の振興を図ることを目的とする。		
	内容	偲翁舎は本来の設置目的である迎賓、文化的な会合に活用するため施設の改修工事を行いました。 偲翁舎内装及び便所改修工事 3,117,960円 偲翁舎空調機器設備工事 635,040円 偲翁舎畳入替工事 299,160円		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	4,052,160円	偲翁舎内装及び便所改修工事 3,117,960円 ((有)大田建設) 偲翁舎空調機器設備工事 635,040円 (山森電機設備(株)) 偲翁舎畳入替工事 299,160円 ((有)大田建設)	
	計	4,052,160円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		0	0	
		地方債		0	0	
		その他		0	0	
		一般財源		4,104	4,053	
		合計(A)	0	4,104	4,053	
事業費	人件費	正規職員	業務量	人	人	人
			人件費	0	0	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人
			人件費			
		小計(B)	0	0	0	0
合計(A+B)	0	4,104	4,053	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	44	43	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	利用者数	施設利用者合計	人	目標		20,000	20,000	20,000
				実績	19,625	19,693	16,971	
指標化できない成果			達成		98.5%	84.9%		

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)8芭蕉顕彰費(細目)135俳句啓発推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-135-51
	施策	6203	芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	担当 部署	部・課名等 企画振興部文化交流課
	事務事業名	俳句啓発推進経費		評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621	

事務事業の概要	対象	市民及び市外からの来訪者																	
	目的	芭蕉翁生誕地の発信や市民が「芭蕉翁」について関心を深め、顕彰の心を醸成するとともに市民の間に俳句づくりに親しみ、楽しさを一層浸透させることに繋げる。																	
	内容	<p>芭蕉翁の生誕地であることをPRするとともに、市民等に芭蕉の句に親しんでもらうことを目的に季節にあった「芭蕉の俳句」の懸垂幕を掲示し啓発に努めました。また、市民の間に俳句を一層浸透させるため、その年度の文部科学大臣賞受賞者による歌枕俳枕講座記念講演会、土芳を偲ぶ俳句会及びしぐれ忌俳句大会を開催しました。</p> <p>歌枕俳枕講座記念講演会参加者数 95人(H27実績103人)、土芳を偲ぶ俳句会参加者数 29人(H27実績28人)、しぐれ忌俳句大会参加者数 100人(H27実績110人) また、いがまち管内の観光施設(芭蕉公園、余野公園、白藤滝等)8箇所に投句箱を設置し、年4回、俳句を回収し選句を行いました。(入選者:延べ28名)</p>																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>250,640円</td> <td>歌枕俳枕講座講師謝礼 108,640円 土芳を偲ぶ俳句会選者謝礼 50,000円 投句箱選句者謝礼 80,000円 投句箱事業入選者記念品 12,000円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>246,766円</td> <td>懸垂幕芭蕉俳句 他 246,766円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>300,000円</td> <td>しぐれ忌俳句大会運営委託料 300,000円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>21,990円</td> <td>印刷、賃借料等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>819,396円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	250,640円	歌枕俳枕講座講師謝礼 108,640円 土芳を偲ぶ俳句会選者謝礼 50,000円 投句箱選句者謝礼 80,000円 投句箱事業入選者記念品 12,000円	需用費	246,766円	懸垂幕芭蕉俳句 他 246,766円	委託料	300,000円	しぐれ忌俳句大会運営委託料 300,000円	その他経費	21,990円	印刷、賃借料等	計	819,396円
経費	金額	摘要																	
報償費	250,640円	歌枕俳枕講座講師謝礼 108,640円 土芳を偲ぶ俳句会選者謝礼 50,000円 投句箱選句者謝礼 80,000円 投句箱事業入選者記念品 12,000円																	
需用費	246,766円	懸垂幕芭蕉俳句 他 246,766円																	
委託料	300,000円	しぐれ忌俳句大会運営委託料 300,000円																	
その他経費	21,990円	印刷、賃借料等																	
計	819,396円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	0	0	0	
国県支出金	0	0	0	0			
地方債	0	0	0	0			
その他	0	0	0	0			
一般財源	916	895	820	859			
合計(A)	916	895	820	859			
人件費	正規職員	業務量	0.67 人	0.17 人	0.21 人	0.25 人	
		人件費	5,017	1,325	1,637	1,961	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	5,017	1,325	1,637	1,961		
合計(A+B)	5,933	2,220	2,457	2,820			
市民1人当たりのコスト(円)			63	24	27	30	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	歌枕俳枕講座講演会、土芳を偲ぶ俳句会、しぐれ忌俳句大会参加者数		気軽に芭蕉翁や俳句等について理解を深め、俳句に親しむ。	人	目標	250	250	250
					実績	245	241	224
指標化できない成果			達成	96.4%	89.6%			

方向	改善	課題及び改善案	俳句大会は参加者が固定化している傾向があります。若年層が参加できるよう、運営の方法を検討していきます。
----	----	---------	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)8芭蕉顕彰費(細目)919無形文化遺産登録推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-08-919-51
	施策	6203	芭蕉翁を核とした地域づくりの継承	担当 部署	部・課名等 企画振興部文化交流課
	事務事業名	無形文化遺産登録推進経費		評価責任者・連絡先 課長 滝川 博美 0595-22-9621	

事務事業の概要	対象	芭蕉翁顕彰・俳句啓発に関わる人及び一般市民																	
	目的	ユネスコ無形文化遺産登録推進を通して、俳句の普及啓発を進め、更には芭蕉翁生誕地伊賀市をPRする。																	
	内容	<p>俳句の普及啓発を図るため俳句関連4団体と発起人会を開催し、俳句のユネスコ無形文化遺産登録推進をめざす活動を進めました。第1回発起人会を伊賀市の偲翁舎において開催しこの取り組みを進めるため推進協議会を設立することを決定しました。事業を進めるにあたり関連する自治体としてまず松山市、大垣市、荒川区などに加入を呼びかけました。第2回発起人会では29年4月に推進協議会を設立することを決定し、伊賀市は全国の自治体に参加を呼びかけました。</p> <p>また、文化庁へ取り組みについて報告を行い、俳句に関わる人の裾野を広げる必要があることのアドバイスを戴きました。</p>																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>300,000円</td> <td>講師謝礼</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>657,060円</td> <td>発起人会等旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>85,636円</td> <td>ポスター印刷、事務用品他</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>41,740円</td> <td>発起人宿泊料、会場借上げ料等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,084,436円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	300,000円	講師謝礼	旅費	657,060円	発起人会等旅費	需用費	85,636円	ポスター印刷、事務用品他	使用料及び賃借料	41,740円	発起人宿泊料、会場借上げ料等	計	1,084,436円
経費	金額	摘要																	
報償費	300,000円	講師謝礼																	
旅費	657,060円	発起人会等旅費																	
需用費	85,636円	ポスター印刷、事務用品他																	
使用料及び賃借料	41,740円	発起人宿泊料、会場借上げ料等																	
計	1,084,436円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	196	1,469	1,085	691		
	合計(A)	196	1,469	1,085	691		
	人件費	正規職員	業務量 0.35 人	0.35 人	0.62 人	0.60 人	
		人件費	2,621	2,727	4,831	4,705	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,621	2,727	4,831	4,705		
	合計(A+B)	2,817	4,196	5,916	5,396		
	市民1人当たりのコスト(円)	30	45	63	58		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	連携団体数(個人を含む)	連携して登録推進事業を進める団体または個人数	団体(人)	目標		3	5	40
				実績		2	36	
指標化できない成果			達成		66.6%	720.0%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案</p> <p>今後の取り組み、進め方について協議会でしっかりと検討していかなければなりません。伊賀市の役割としては、さらに多くの自治体に賛同していただくよう呼びかけを行います。芭蕉翁の生誕地として市民への周知啓発をしっかり行う必要があるため、情報発信の場や方法を検討します。</p>
----	---

整理番号
66 - 0

決算書頁
177

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)137事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-137-51
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	
	事務事業名	電算機維持管理経費		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	情報システム機器の安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市で運用している情報システムを安定稼働させる		
	内容	住民記録に関連する業務システム(基幹系)及び基幹系サブシステムの機器保守、運用管理等を行いました。 システムサーバー機器の定期保守、システム障害発生時の緊急対応を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	30,886,650円	データ分散保管委託料 246,672円 ITコーディネート業務委託料 2,996,028円 空調設備保守点検業務委託料 289,440円 電算機保守点検委託料 5,611,950円 システム保守委託料 21,742,560円	
	使用料及び賃借料	8,606,560円	電算機借上料	
	計	44,374,406円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	41,033	44,310	44,375	41,423	
		合計(A)	41,033	44,310	44,375	41,423	
	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
			人件費 2,995	3,117	3,117	3,137	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	2,995	3,117	3,117	3,137	
		合計(A+B)	44,028	47,427	47,492	44,560	
		市民1人当たりのコスト(円)	464	504	504	475	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
67 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)138地域情報化推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-138-02
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現		
	事務事業名	ホームページ管理経費		担当 部署	部・課名等 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	伊賀市ホームページシステムの安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市のホームページシステムを安定稼働させる		
	内容	ウェブアクセシビリティに対応し、高齢者や障がいのある人であっても、アクセスした誰もが容易に情報を共有できるよう、使いやすいホームページにするために改修を行った。 迅速な情報提供を可能とするための伊賀市公式ホームページの運用管理、行政情報提供システムの常時的確な作動の確保とページ改ざんを防止するため、システム及び機器の保守を委託しました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	15,597,036円	電算機器保守点検委託料	3,127,140円
			システム保守委託料	1,670,976円
			ホームページ改修委託料	10,798,920円
	使用料及び賃貸料	3,601,370円	電算機借上料	3,180,170円
			システム等使用料	421,200円
	その他経費	125,700円		
	計	19,324,106円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	5,822	20,304	19,325	2,765	
		合計(A)	5,822	20,304	19,325	2,765	
	人件費	正規職員	業務量 0.37 人	0.37 人	0.87 人	0.40 人	
			人件費 2,771	2,883	6,779	3,137	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	2,771	2,883	6,779	3,137	
		合計(A+B)	8,593	23,187	26,104	5,902	
		市民1人当たりのコスト(円)	91	246	277	63	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果		達成					

方向	課題及び改善案	平成28年度において伊賀市ホームページをリニューアルし、すべての画面での多言語対応や文字サイズの拡大機能、音声読み上げシステムの継続など誰にでも利用し易いホームページに改修しました。今後もアクセシビリティの向上と情報発信力の強化を図ります。
----	---------	--

整理番号
68 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)138地域情報化推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	712	情報共有と市民参加	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-138-04
	施策	7121	情報化と広報機能の充実	
	事務事業名	情報公開、個人情報保護推進経費		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9636

事務事業の概要	対象	情報公開・個人情報開示請求者		
	目的	市民の知る権利を保障し、市政への市民参加の促進、個人の権利利益を守る。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀市情報公開条例による行政情報の公開と、伊賀市個人情報保護条例による個人情報の開示により、種々の情報提供を行い、市民の知る権利を保障するとともに、市民と市との情報共有によって市政への参加を推進しました。 高度情報化社会にふさわしい個人情報の的確な取り扱いによる、公平で信頼される市政運営のため、適正な運用を図りました。 個人情報のオンライン結合による提供について、審査会を開催し、審査のうえ、答申を受けました。 各部門で情報公開にかかる再認識を図るため、新任管理職研修並びに担当者研修を行いました。(2回、65人出席) 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	144,000円	伊賀市情報公開・個人情報保護審査会委員報酬	
	謝礼	32,220円	情報公開研修会講師謝金	
	その他事務経費	161,286円	旅費・消耗品費ほか	
	計	337,506円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	10	10	9	10		
		一般財源	235	308	329	243		
		合計(A)	245	318	338	253		
	人件費	正規職員	業務量	0.54 人	0.54 人	0.54 人	0.54 人	
人件費			4,043	4,208	4,208	4,235		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	4,043	4,208	4,208	4,235		
		合計(A+B)	4,288	4,526	4,546	4,488		
		市民1人当たりのコスト(円)	46	49	49	48		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	情報公開等請求件数		件	目標		700	700	700
				実績	636	690	498	
指標化できない成果			達成		98.6%	71.1%		

方向	課題及び改善案	これまで以上に審査の迅速化が求められるところであるが、情報公開請求及び個人情報開示請求に対する決定の判断をするにあたり、困難な事案が増えてきています。研修において、具体例を交えた実践的な制度説明を行うとともに、実際の公開請求等の受付時には、担当課等に対し、公開の可否を判断する際の考え方、参考事例等を積極的に提示していきます。
----	---------	---

整理番号
69 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)138地域情報化推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	712	情報共有と市民参加	平成 16 年度～平成 29 年度 01-02-01-09-138-51
	施策	7121	情報化と広報機能の充実	
	事務事業名	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9636

事務事業の概要	対象	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業を行った第三セクター法人								
	目的	地域に密着した映像情報等を市民に提供することができ、情報共有と情報格差の是正を図ることができる。								
	内容	旧青山町における既設ケーブルテレビ伝送路の一部は450MHz仕様であったが、それらを設備改修により広帯域化・光化を行い、周辺地域(770MHz仕様)との設備仕様格差を是正し、ケーブルテレビの高度化対応と併せ高信頼度の設備環境を整備しました。これに係る借入金に対し(株)アドバンスコープに対する補助金を交付しました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>8,380,818円</td> <td>新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業 借入金利子補給補助金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,380,818円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金補助及び交付金	8,380,818円	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業 借入金利子補給補助金	計	8,380,818円
経費	金額	摘要								
負担金補助及び交付金	8,380,818円	新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業 借入金利子補給補助金								
計	8,380,818円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	8,451	8,381	8,381	7,633		
	合計(A)	8,451	8,381	8,381	7,633		
人件費	正規職員	業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	
		人件費	75	78	78	79	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	75	78	78	79		
	合計(A+B)	8,526	8,459	8,459	7,712		
市民1人当たりのコスト(円)		90	90	90	83		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果		達成					

方向	—	課題及び改善案	契約に基づく債務であるため、平成29年度まで継続します。
----	---	---------	------------------------------

整理番号
70 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)139ケーブルテレビ加入促進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	712	情報共有と市民参加	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-139-01
	施策	7121	情報化と広報機能の充実	
	事務事業名	ケーブルテレビ加入促進事業		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9636

事務事業の概要	対象	一定の条件に該当する住民税の所得割が非課税である世帯											
	目的	ケーブルテレビ維持管理費を軽減しケーブルテレビによる行政情報及び防災情報の提供と情報格差を是正する。											
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・該当世帯のケーブルテレビ維持管理費(月額515円)又は月額利用料金の内515円を、ケーブルテレビ会社が加入者から徴収せず、市がケーブルテレビ会社(2社)へ補償しました。 ・広報いが市6月1日号で維持管理費軽減制度と現況届について広報し、ケーブルテレビ加入の促進を図りました。 ・該当世帯の申請を随時受け付けました。 ・軽減対象世帯に対し、年1回の現況届の提出を義務付け、該当・非該当の決定を行いました。 											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補償、補填及び賠償金</td> <td>7,718,305円</td> <td>ケーブルテレビ維持管理費軽減補償金</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>54,060円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,772,365円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	補償、補填及び賠償金	7,718,305円	ケーブルテレビ維持管理費軽減補償金	その他事務経費	54,060円		計	7,772,365円
経費	金額	摘要											
補償、補填及び賠償金	7,718,305円	ケーブルテレビ維持管理費軽減補償金											
その他事務経費	54,060円												
計	7,772,365円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	7,737	7,394	7,773	7,682		
	合計(A)	7,737	7,394	7,773	7,682		
人件費	正規職員	業務量	0.51 人	0.51 人	0.51 人	0.51 人	
		人件費	3,819	3,974	3,974	3,999	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,819	3,974	3,974	3,999		
	合計(A+B)	11,556	11,368	11,747	11,681		
		市民1人当たりのコスト(円)	122	121	125	125	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
					目標			
					実績			
	指標化できない成果			達成				

方向	—	課題及び改善案 対象世帯すべてが減免申請を提出していない可能性があることや、高齢化に伴いこれからも新しく対象となる世帯が増えることが考えられるので、引き続き広報紙・行政チャンネル等での制度の周知を行います。
----	---	--

整理番号
71 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)140情報システム管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-140-51
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	
	事務事業名	ネットワークシステム管理経費		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	情報システムネットワークの安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市で運用している情報システムを安定稼働させる		
	内容	基幹系・情報系システムの常時的確な作動を確保するための、ネットワーク構成機器及びサーバの通信障害の監視・保守及びシステム障害発生時の緊急対応を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	24,299,922円	電算機保守点検委託料	5,341,356円
			システム開発業務委託料	2,959,200円
			システム保守委託料	8,542,962円
			通信線保守委託料	7,456,404円
	使用料及び賃借料	34,612,704円	電算機借上料	7,386,293円
			回線使用料	27,226,411円
	計	58,912,626円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	56,173	60,484	58,913	54,969	
		合計(A)	56,173	60,484	58,913	54,969	
	人件費	正規職員	業務量 0.90 人	0.90 人	0.90 人	0.90 人	
			人件費 6,739	7,012	7,012	7,057	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	6,739	7,012	7,012	7,057	
		合計(A+B)	62,912	67,496	65,925	62,026	
		市民1人当たりのコスト(円)	662	716	700	660	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果		達成					

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
72 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)140情報システム管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-140-52
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現		
	事務事業名	グループウェアシステム管理経費		担当部署	部・課名等 企画振興部広聴情報課

事務事業の概要	対象	グループウェアシステムの安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市のグループウェアシステムを安定稼働させる		
	内容	伊賀市が運用しているグループウェアシステムの常時的確な作動を確保するための、情報系端末及びグループウェアシステム機器等の保守、メンテナンス作業を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費	1,708,020円	修繕料	
	委託料	7,327,368円	電算機保守点検委託料	4,786,128円
	使用料及び賃借料	34,756,168円	システム保守委託料	2,541,240円
		34,756,168円	電算機借上料	
	計	43,791,556円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	52,920	49,611	43,792	38,657	
		合計(A)	52,920	49,611	43,792	38,657	
	人件費	正規職員	業務量 0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
		人件費	1,872	1,948	1,948	1,961	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,872	1,948	1,948	1,961	
		合計(A+B)	54,792	51,559	45,740	40,618	
		市民1人当たりのコスト(円)	577	547	486	433	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
73 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)140情報システム管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-09-140-53
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	担当部署	部・課名等
	事務事業名	総合文書管理システム管理経費	企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先	課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	総合文書管理システムの安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市の総合文書管理システムを安定稼働させる		
	内容	伊賀市が運用している総合文書管理システム、財務会計システム、サービス管理システム及び臨時職員管理システムのサーバ及びソフトウェア等の保守、メンテナンス作業を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	20,603,592円	電算機保守点検委託料	5,183,352円
	使用料及び賃借料	2,881,654円	システム保守委託料	15,420,240円
			電算機借上料	
	計	23,485,246円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	22,221	23,332	23,486	20,615	
		合計(A)	22,221	23,332	23,486	20,615	
	人件費	正規職員	業務量 0.25 人	0.25 人	0.25 人	0.25 人	
		人件費	1,872	1,948	1,948	1,961	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,872	1,948	1,948	1,961	
		合計(A+B)	24,093	25,280	25,434	22,576	
		市民1人当たりのコスト(円)	254	269	270	241	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果			達成				

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
74 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)140情報システム管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-140-54	
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現		
	事務事業名	総合行政ネットワークシステム管理経費			
			担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			企画振興部広聴情報課		課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	LGWANの安定稼働のための保守		
	目的	伊賀市のLGWAN接続機器を安定稼働させる		
	内容	伊賀市に導入している総合行政ネットワークシステム(LGWAN)接続機器の保守及びメンテナンス作業を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	559,224円	電算機保守点検委託料	
	使用料及び賃借料	580,344円	電算機借上料	
	計	1,139,568円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	581	1,141	1,140	1,141	
		合計(A)	581	1,141	1,140	1,141	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	1,498	1,559	1,559	1,569	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	1,498	1,559	1,559	1,569	
合計(A+B)	2,079	2,700	2,699	2,710			
市民1人当たりのコスト(円)		22	29	29	29		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
75 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)140情報システム管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-140-55
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	
	事務事業名	セキュリティ対策管理経費		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	セキュリティポリシーの維持のための運用		
	目的	伊賀市セキュリティポリシーを遵守するための対策を行う。		
	内容	伊賀市が保有する情報資産を管理し、重要情報流出を防止するための、セキュリティ確保のためのシステム及び機器の保守及び紙文書の廃棄処理を行いました。また、総務省から発表された「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」に伴い、セキュリティ強靱化対策(電算機器購入)を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	7,894,343円	文書廃棄業務委託料	417,503円
			電算機保守点検委託料	243,000円
			電算処理等委託料	3,375,000円
			システム保守委託料	3,858,840円
	使用料及び賃借料	351,540円	電算機借上料	351,540円
	備品購入費	43,507,800円	電算機器購入費	43,507,800円
	計	51,753,683円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	4,903	4,935	51,754	11,803		
		合計(A)	4,903	4,935	51,754	11,803		
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
人件費			2,247	2,338	2,338	2,353		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	2,247	2,338	2,338	2,353		
		合計(A+B)	7,150	7,273	54,092	14,156		
		市民1人当たりのコスト(円)	76	78	574	151		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果			達成			

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
76 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)140情報システム管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-140-58
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	
	事務事業名	情報システム更新経費	担当部署	部・課名等 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	サポート保守が終了する情報システム機器の更新		
	目的	伊賀市で運用している情報システムのうち、サポート保守が終了する機器の更新を行う。		
	内容	導入から年数が経過し、機器の老朽化による稼働に支障が出るものや、機器の保守サポートが停止するものを対象として機器の更新を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	12,420,000円	ネットワークシステム改修委託料	
	使用料及び賃借料	651,240円	電算機借上料	
	計	13,071,240円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	12,976	19,013	13,072	79,723	
		合計(A)	12,976	19,013	13,072	79,723	
	人件費	正規職員	業務量 0.95 人	0.95 人	0.95 人	0.95 人	
		人件費	7,113	7,402	7,402	7,449	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	7,113	7,402	7,402	7,449	
		合計(A+B)	20,089	26,415	20,474	87,172	
		市民1人当たりのコスト(円)	212	281	218	928	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
77 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)140情報システム管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 28 年度～平成 28 年度 01-02-01-09-140-55
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	
	事務事業名	セキュリティ対策管理経費(繰越明許費分)		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	セキュリティポリシーの維持のための運用								
	目的	伊賀市セキュリティポリシーを遵守するための対策を行う。								
	内容	総務省から発表された「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」に伴い、セキュリティ強靱化対策(電算処理等委託)を行いました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>23,490,000円</td> <td>電算処理等委託料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>23,490,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	23,490,000円	電算処理等委託料	計	23,490,000円
経費	金額	摘要								
委託料	23,490,000円	電算処理等委託料								
計	23,490,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		12,550	12,550	
		地方債		12,500	10,940		
		その他		0	0		
		一般財源		51	0		
		合計(A)	0	25,101	23,490	0	
	人件費	正規職員	業務量 人	0.30 人	0.30 人	人	
		人件費	0	2,338	2,338	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	0	2,338	2,338	0	
		合計(A+B)	0	27,439	25,828	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	0	292	274	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果		達成					

方向	完了	課題及び改善案	
----	----	---------	--

整理番号
78 - 0

決算書頁
179

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)340社会保障・税番号制度導入経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 26 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-340-01
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	
	事務事業名	社会保障・税番号制度導入経費		担当部署 企画振興部広聴情報課 評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	既存システムの番号法対応を行うため																																			
	目的	平成29年7月に開始される特定個人情報の他自治体との情報連携までに改修を終える。																																			
	内容	<p>マイナンバー法に基づく「社会保障・税番号制度」の導入準備として伊賀市の既存システムの改修を行いました。</p> <p>また、関係省庁開催の番号制度説明会へ出席し、番号制度に関する情報収集、該当各課への情報提供を行いました。</p>																																			
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>39,634,920円</td> <td>福祉総合システム改修委託料</td> <td>10,804,320円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>住基システム改修委託料</td> <td>11,205,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>生活保護システム改修委託料</td> <td>540,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>臨時職員システム改修委託料</td> <td>2,916,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>団体内統合宛名システム開発委託料</td> <td>8,100,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>健康管理システム改修委託料</td> <td>6,069,600円</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>2,755,408円</td> <td colspan="2">電算機借上料、中間サーバ利用負担金</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42,390,328円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		委託料	39,634,920円	福祉総合システム改修委託料	10,804,320円			住基システム改修委託料	11,205,000円			生活保護システム改修委託料	540,000円			臨時職員システム改修委託料	2,916,000円			団体内統合宛名システム開発委託料	8,100,000円			健康管理システム改修委託料	6,069,600円	その他経費	2,755,408円	電算機借上料、中間サーバ利用負担金		計	42,390,328円	
経費	金額	摘要																																			
委託料	39,634,920円	福祉総合システム改修委託料	10,804,320円																																		
		住基システム改修委託料	11,205,000円																																		
		生活保護システム改修委託料	540,000円																																		
		臨時職員システム改修委託料	2,916,000円																																		
		団体内統合宛名システム開発委託料	8,100,000円																																		
		健康管理システム改修委託料	6,069,600円																																		
その他経費	2,755,408円	電算機借上料、中間サーバ利用負担金																																			
計	42,390,328円																																				

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	30,565	10,440	10,495		0
	地方債	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	63,892	28,092	31,896	7,628			
	合計(A)	94,457	38,532	42,391	7,628			
	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人		
		人件費	3,744	3,896	3,896	3,921		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費						
		小計(B)	3,744	3,896	3,896	3,921		
		合計(A+B)	98,201	42,428	46,287	11,549		
		市民1人当たりのコスト(円)	1,033	451	491	123		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果			達成				

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号
79 - 0

決算書頁
181

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)340社会保障・税番号制度導入経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-01-09-340-01
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	担当部署	部・課名等
	事務事業名	社会保障・税番号制度導入経費(繰越明許費分)		企画振興部広聴情報課	評価責任者・連絡先 課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	既存システムの番号法対応を行うため											
	目的	平成29年7月に開始される特定個人情報の他自治体との情報連携までに改修を終える。											
	内容	マイナンバー法に基づく「社会保障・税番号制度」の導入準備として伊賀市の既存システム(財務会計システム)の改修を行いました。また、関係省庁開催の番号制度説明会へ出席し、番号制度に関する情報収集、該当各課への情報提供を行いました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>3,024,000円</td> <td>電算処理等委託料</td> <td>3,024,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,024,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		委託料	3,024,000円	電算処理等委託料	3,024,000円	計	3,024,000円	
経費	金額	摘要											
委託料	3,024,000円	電算処理等委託料	3,024,000円										
計	3,024,000円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金		0	0		
		地方債		0	0			
		その他		0	0			
		一般財源		3,024	3,024			
		合計(A)	0	3,024	3,024	0		
	人件費	正規職員	業務量 人	0.50 人	0.50 人	人		
			人件費	0	3,896	3,896	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	人	
			人件費					
		小計(B)	0	3,896	3,896	0		
		合計(A+B)	0	6,920	6,920	0		
		市民1人当たりのコスト(円)	0	74	74	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果			達成				

方向	完了	課題及び改善案	
----	----	---------	--

整理番号
80 - 0

決算書頁
181

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)9情報化推進費(細目)654情報システム最適化経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	723	行政の自立的な運営	平成 24 年度～平成 32 年度 01-02-01-09-654-51
	施策	7233	情報化による効率的な行政運営の実現	
	事務事業名	基幹系情報システム最適化経費		
		担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			企画振興部広聴情報課	課長 川部 千佳 0595-22-9625

事務事業の概要	対象	平成24年度の基幹系情報システム更新に伴う経費		
	目的	平成24年度の基幹系情報システム更新に伴う経費の支払い		
	内容	平成24年度の基幹系情報システムオープン化に伴う構築・保守及び賃貸借経費について、5年間の立替払いを行っており、平成28年度分を支払いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委託料	94,486,050円	電算機保守点検委託料 773,550円 電算処理等委託料 7,686,360円 基幹系情報システム最適化委託料 60,011,280円 システム保守委託料 26,014,860円	
	使用料及び賃借料	25,115,256円	電算機借上料	
	計	119,601,306円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	129,822	120,766	119,602	128,834	
		合計(A)	129,822	120,766	119,602	128,834	
	人件費	正規職員	業務量 0.15 人	0.15 人	0.15 人	0.15 人	
		人件費	1,124	1,169	1,169	1,177	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	1,124	1,169	1,169	1,177	
		合計(A+B)	130,946	121,935	120,771	130,011	
		市民1人当たりのコスト(円)	1,378	1,294	1,282	1,384	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	
----	---	---------	--

整理番号	(款)2総務費(項)1総務管理費(目)10地区市民センター費(細目)141地区市民センター等維持管理経費	決算書頁
81 - 0		181

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-10-141-01
	施策	6404 自治センター化の体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	地区市民センター維持管理経費	企画振興部地域づくり推進課	評価責任者・連絡先	課長 前澤 和也 0595-22-9639

事務事業の概要	対象	地区市民センター																	
	目的	地区市民センターの運営を行う。																	
	内容	地区市民センターの運営管理を行いました。 ・上野21センター・伊賀3センター・島ヶ原1センター・阿山4センター・大山田3センター・青山6センター (嘱託職員の雇用) ・上野(所長21人、主事21人、事務員21人) ・伊賀(所長3人、事務員3人) ・島ヶ原(所長1人、事務員1人) ・阿山(所長4人、事務員4人) ・大山田(所長3人、事務員3人) ・青山(所長6人、事務員6人)																	
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>169,708,397円</td> <td>地区市民センター嘱託職員報酬</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>20,744,447円</td> <td>地区市民センター嘱託職員保険料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>5,148,055円</td> <td>保守点検委託料 等</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>40,772,403円</td> <td>使用料及び賃借料 需用費 等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>236,373,302円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	169,708,397円	地区市民センター嘱託職員報酬	共済費	20,744,447円	地区市民センター嘱託職員保険料	委託料	5,148,055円	保守点検委託料 等	その他	40,772,403円	使用料及び賃借料 需用費 等	計	236,373,302円	
経費	金額	摘要																	
報酬	169,708,397円	地区市民センター嘱託職員報酬																	
共済費	20,744,447円	地区市民センター嘱託職員保険料																	
委託料	5,148,055円	保守点検委託料 等																	
その他	40,772,403円	使用料及び賃借料 需用費 等																	
計	236,373,302円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	562	
	地方債	4,000	0	0	0		
	その他	622	693	627	730		
	一般財源	234,003	235,176	235,218	234,849		
	合計(A)	238,625	236,431	236,374	235,579		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	2.07 人	2.07 人	
		人件費	0	0	16,128	16,231	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	16,128	16,231		
	合計(A+B)	238,625	236,431	252,502	251,810		
	市民1人当たりのコスト(円)	2,511	2,508	2,679	2,679		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	利用延べ人数	地区市民センター利用延べ人数	人	目標		191,000	192,000	200,000
				実績	218,639	202,863	222,162	
指標化できない成果			達成		106.2%	115.7%		

方向	改善	課題及び改善案	地区市民センターのあり方について住民自治協議会への業務委託や指定管理の導入を引きつづき検討していきます。
----	----	---------	--

整理番号	(款)2総務費(項)1総務管理費(目)10地区市民センター費(細目)141地区市民センター等維持管理経費	決算書頁
82 - 0		181

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	63 地域活動や地域産業などの担い手が育ち、活躍するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-10-141-02
	施策	6301 市民活動支援機能等の充実	担当部署	部・課名等
事務事業名	ゆめぼりすセンター維持管理経費	企画振興部地域づくり推進課	評価責任者・連絡先	課長 前澤 和也 0595-22-9639

事務事業の概要	対象	住民自治活動、NPO活動やボランティア活動などを行う団体、個人や貸館の利用者		
	目的	市民、行政及び事業者が連携協力したまちづくりを推進し、並びに住民自治活動などを支援する。		
	内容	<p>平成26年度から指定管理者制度を導入し、『特定非営利活動法人 市民福祉ネットワークみえ』が指定管理者となり施設の維持管理や事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の雇用に関する事 ・伊賀市市民活動支援センターに関する事 ・運営委員会の設置に関する事 ・会議室及び印刷機等の利用に供すること ・自主事業に関する事 <p>使用状況(来館者数) 貸室・・・36,607人 情報交流スペース・・・2,465人</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	11,329,700円	ゆめぼりすセンター指定管理料	
	修繕料	534,384円	空調機修繕 他	
	施設補修工事費	1,117,800円	舗装補修 他	
	その他	270,444円		
	計	13,252,328円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	30	30	17	30	
			一般財源	14,008	13,384	13,236	13,907	
	合計(A)	14,038	13,414	13,253	13,937			
	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.97 人	0.97 人	
			人件費	0	0	7,558	7,606	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	0	7,558	7,606			
合計(A+B)	14,038	13,414	20,811	21,543				
市民1人当たりのコスト(円)			148	143	221	230		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	市民活動団体登録	市民活動を行う団体の登録件数	件	目標	50	55	40
				実績	45	60	34
指標化できない成果			達成	120.0%	61.8%		

方向	改善	課題及び改善案	平成26年度より指定管理制度を導入して事業を実施してきたが、中間支援のあり方を含め、管理・運営手法の検証が必要である。
----	----	---------	---

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	平成 17 年度～平成 年度	01-02-01-10-141-51
	施策	6404 自治センター化の体制づくり		
	事務事業名	地区市民センター整備事業	担当部署	部・課名等 上野支所振興課
				評価責任者・連絡先 課長 三枝 澄生 0595-22-9633

事務事業の概要	対象	自治活動の拠点である地区市民センター		
	目的	施設が末永く快適に利用してもらえるよう、適正に整備を行う。		
	内容	<p>公共施設最適化計画に基づき、旧上野商業高校情報経済科棟を上野東部地区市民センターとして、移転改修します。</p> <p>平成27年度は、実施設計業務を株式会社上野建築研究所に委託しました。</p> <p>平成28年度は、8月に入札を行い、建築主体工事を山一建設(株)と、機械設備工事を(株)竹本工業と、電気設備工事を(有)柘植電気工業とそれぞれ契約を行い発注いたしました。</p> <p>工期は平成28年8月24日～平成29年2月19日 平成29年3月17日より供用を開始しました。</p> <p>駐車場整備工事については、1月に入札を行い、舗装工事をアイトム建設(株)上野営業所。外構整備を(有)三重建装とそれぞれ契約し発注いたしました。</p> <p>工期は平成29年1月19日～3月28日 平成29年3月17日より一部供用を開始し、29日より全面共用となりました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	工事請負費	168,006,073円	①建築主体工事 山一建設(株)	94,657,680円
			②電気設備工事 (有)柘植電気工業所	20,714,400円
			③機械設備工事 (株)竹本工業	33,338,520円
			④舗装工事 アイトム建設(株)上野営業所	14,377,473円
			⑤外構工事 (有)三重建装	4,918,000円
	設計業務委託料	1,329,307円	駐車場施設整備設計業務委託料	1,329,307円
	その他	2,565,293円	備品、通信回線、確認申請、引越し等	
	計	171,900,673円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	6,218	148,300	162,600	0	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	812	10,244	9,301	0	
	合計(A)	7,030	158,544	171,901	0			
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.94 人	0.00 人	
			人件費	2,247	2,338	7,324	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,247	2,338	7,324	0			
合計(A+B)	9,277	160,882	179,225	0				
市民1人当たりのコスト(円)			98	1,707	1,902	0		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	進捗率	整備の進捗率	%	目標	/	4	100	
				実績	100	4	100	
指標化できない成果			達成	/	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案 平成29年3月17日より建物の供用を開始。(地区市民センター施設改修事業:01-02-01-10-141-52)
-----------	-----------	--

整理番号	(款)2総務費(項)1総務管理費(目)10地区市民センター費(細目)141地区市民センター等維持管理経費	決算書頁
84 - 0		181

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	平成 17 年度～平成 年度	01-02-01-10-141-52
	施策	6404 自治センター化の体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	地区市民センター施設改修事業		上野支所振興課	評価責任者・連絡先 課長 三枝 澄生 0595-22-9633

事務事業の概要	対象	自治活動の拠点である地区市民センター		
	目的	施設が末永く快適に利用してもらえるよう、適正に整備を行う。		
	内容	<p>地区市民センター整備計画に基づき、花之木地区市民センターの耐震補強計画及び実施設計業務委託と南部地区市民センターの屋上防水及び共用トイレ改修工事、長田地区市民センター外壁改修工事を実施する。</p> <p>花之木地区市民センター 契約期間平成28年6月17日～10月31日 (株)森永建築設計事務所 南部地区市民センター 屋上防水工事 工期平成28年11月17日～平成29年1月30日 (株)アートテックエンジニア 南部地区市民センター 共用トイレ改修工事 工期平成28年12月27日～平成29年3月14日 大田建設 長田地区市民センター 外壁改修工事 工期平成29年2月13日～平成29年3月30日 (株)フタバ工芸</p> <p>公共施設最適化計画に基づき、耐震性の無い矢持地区市民センターを新築と比較の上で耐震改修します。平成28年度は、耐震診断を株式会社上野建築研究所に委託しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	設計業務委託料(上野花之木)	2,764,800円	(株)森永建築設計事務所	2,764,800円
	工事請負費	18,378,360円	①上野南部屋上防水 (株)アートテックエンジニア	6,015,600円
			②上野南部共用トイレ改修 大田建設	11,336,760円
			③上野長田外壁改修工事 (株)フタバ工芸	1,026,000円
	耐震診断業務委託料(青山矢持)	1,587,600円	(株)上野建築研究所	1,587,600円
	計	22,730,760円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	26,100	19,900	53,600	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	1,523	2,831	1,824	
		合計(A)	0	27,623	22,731	55,424	
事業費	人件費	正規職員	業務量	人	0.50 人	0.50 人	0.40 人
			人件費	0	3,896	3,896	3,137
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	0	3,896	3,896	3,137	
合計(A+B)	0	31,519	26,627	58,561			
市民1人当たりのコスト(円)		0	335	283	623		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
進捗率	整備の進捗率	%	目標		100	100
			実績		100	
指標化できない成果		達成			100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	公共施設最適化計画及び地区市民センター整備計画に基づき、施設改修事業を進めていく。平成31年度まで年次計画あり。改修工事については、耐震補強、防水、共用トイレ設置が中心となるが、学校の廃校に伴う校舎利用法などの検討により、地区市民センターとしての利用が案として上がっており、地区要望が提出されており検討の必要がある。
----	----	---------	--

整理番号	(款)2総務費(項)1総務管理費(目)13中長期在留者住居地届出等事務費(細目)664中長期在留者住居地届出等事務経費	決算書頁
85 - 0		183

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	722 市民の期待に応えられる人・組織づくり	平成 24 年度～平成 32 年度	01-02-01-13-664-51
	施策	7223 行政サービス機能の充実	担当部署	部・課名等
事務事業名	中長期在留者住居地届出等事務経費	人権生活環境部住民課	評価責任者・連絡先	課長 南 朋子 0595-22-9645

事務事業の概要	対象	中長期在留者、特別永住者		
	目的	住民基本台帳法等関係法令に基づき、外国人住民の居住関係や身分関係を明確に把握し、適正な管理を行う。		
	内容	国際交流の活発化に伴い、本市に在留する外国人の在留形態や在留活動はますます複雑化、多様化しており、各国の法律知識の習得・研修に励みながら、届出事務の効率化と適正な処理に努めました。住民基本台帳法及び在留管理制度等に基づき、中長期在留者・特別永住者の住居地変更等事務、特別永住者証明事務、法務省との情報連携により外国人住民の居住関係を公証する事務を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	1,616,064円	通訳業務嘱託職員報酬	
	共済費	449,875円	通訳業務嘱託職員・事務補助員保険料	
	賃金	1,417,165円	事務補助員賃金	
	需用費	62,155円	消耗品費	
	計	3,545,259円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	1,387	1,208	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	2,132	2,470	2,338	2,317		
	合計(A)	3,519	3,678	3,546	3,683		
人件費	正規職員	業務量	0.32 人	0.32 人	0.32 人	0.32 人	
		人件費	2,396	2,494	2,494	2,510	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,396	2,494	2,494	2,510		
	合計(A+B)	5,915	6,172	6,040	6,193		
	市民1人当たりのコスト(円)	63	66	65	66		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	課題及び改善案	本市に在留する外国人の在留形態や在留活動はますます複雑化、多様化しており、各国の法律知識の習得・研修に励みながら、更なる届出事務の効率化と適正な処理が必要になります。
----	---------	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)14自治振興費(細目)145自治振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	64 地域活動や市民活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-14-145-01
	施策	6401 協働意識の醸成	担当部署	部・課名等 企画振興部地域づくり推進課
事務事業名	自治振興経費		評価責任者・連絡先 課長 前澤 和也 0595-22-9639	

事務事業の概要	対象	住民自治協議会、自治会		
	目的	身近な住民自治活動の拠点施設である地区公民館について新築・増改築等を行う		
	内容	<p>・伊賀市公民館建設費補助金 7,575千円 地域コミュニティの拠点である地区公民館等の新築・増改築・バリアフリーに対して補助金を交付しました。</p> <p>・コミュニティ助成金 20,700千円 宝くじ普及啓発の一環として(財)自治総合センターが実施するコミュニティ助成事業を活用し助成を行いました。</p> <p>予算額(一般コミュニティ): 古山地区住民自治協議会(2,500千円) 中瀬地域住民自治協議会(2,500千円) 新居地区住民自治協議会(2,300千円) 馬場区(2,200千円) 上神戸地区自治会(2,500千円) 山田地域住民自治協議会(2500千円) (コミュニティセンター): 平田西町町内会(6,200千円)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	7,575,000円	地区公民館建設費補助金 増改築:6件 バリアフリー:1件	7,375,000円 200,000円
	委託料	978,000円	コミュニティ助成金 広報等配布事務委託料	
	計	29,253,000円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	(特定財源の名称) コミュニティ助成金	
		地方債	0	0	0		
		その他	20,500	0	20,700		0
		一般財源	14,989	7,700	8,553		4,150
		合計(A)	35,489	7,700	29,253		4,150
人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	1.45 人	1.45 人	
		人件費	2,247	2,338	11,297	11,370	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,247	2,338	11,297	11,370		
合計(A+B)	37,736	10,038	40,550	15,520			
市民1人当たりのコスト(円)		397	107	431	166		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
補助全交付件数	地域の活動拠点や備品等の整備を支援することで、地域活性化につながる。	件	目標		5	5	10
			実績	4	7	14	
指標化できない成果		達成		160.0%	280.0%		

方向	継続	課題及び改善案	毎年、多くの地域から要望が上がっており、地域ニーズの高い事業であるため、今後も継続して実施していきます。
----	----	---------	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)14自治振興費(細目)146住民自治協議会推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	64	地域活動や市民活動が活発なまちづくり	平成 17 年度～平成 32 年度	01-02-01-14-146-52
	施策	6403	住民自治協議会の支援体制づくり	担当 部署	部・課名等 企画振興部地域づくり 推進課
	事務事業名	住民自治協議会推進経費		評価責任者・連絡先 課長 前澤 和也 0595-22-9639	

事務事業の概要	対 象	住民自治協議会											
	目 的	地域まちづくり計画に基づく事業を実施していくための財政支援等を行う。											
	内 容	<p>住民自治協議会の設置・運営、地域まちづくり計画の策定・実行などに関し、助言や情報提供・財政支援(地域包括交付金)などを行いました。</p> <p>・地域包括交付金 地域まちづくり計画に基づき推進する事業や活動などを支援するための交付金であり、平成23年度から市民活動推進室が 所管していた予算の中で、地域へ支出していた補助金や委託料などを包括交付金として包括し、住民自治協議会へ交付することで地域の実情に即した優先課題に主体的に取り組むことができます。</p> <p>・女性活躍推進事業交付金 ①計画策定交付金・・・女性の活躍推進に向けた取り組み内容を地域まちづくり計画に位置付けた住民自治協議会に対し、交付金を交付しました。(8件) ②事業実施交付金・・・地域まちづくり計画に位置付けた女性の活躍推進に向けた事業を実施した住民自治協議会に対し、交付金を交付しました。(16件)</p>											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>173,337,000円</td> <td>地域包括交付金 等 (上野)101,780千円、(伊賀)16,877千円 (島ヶ原)4,497千円、(阿山)15,817千円 (大山田)12,334千円、(青山)22,032千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,901,697円</td> <td>報償費 等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>175,238,697円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	173,337,000円	地域包括交付金 等 (上野)101,780千円、(伊賀)16,877千円 (島ヶ原)4,497千円、(阿山)15,817千円 (大山田)12,334千円、(青山)22,032千円	その他	1,901,697円	報償費 等	計	175,238,697円
経費	金額	摘要											
負担金、補助及び交付金	173,337,000円	地域包括交付金 等 (上野)101,780千円、(伊賀)16,877千円 (島ヶ原)4,497千円、(阿山)15,817千円 (大山田)12,334千円、(青山)22,032千円											
その他	1,901,697円	報償費 等											
計	175,238,697円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	150	0		
	一般財源	156,003	176,289	175,089	179,699		
	合計(A)	156,003	176,289	175,239	179,699		
人件費	正規職員	業務量	2.20 人	2.20 人	3.67 人	3.67 人	
		人件費	16,472	17,141	28,593	28,777	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	16,472	17,141	28,593	28,777		
	合計(A+B)	172,475	193,430	203,832	208,476		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,815	2,052	2,163	2,218		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	地域まちづくり計画策定数		協議会が設置され、その活動のもととなる計画が地域まちづくり計画であるため、指標とした。	地域	目標	39	39	39
					実績	38	38	38
指標化できない成果			達成	97.4%	97.4%			

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案 平成28年度から新しい地域包括交付金を交付し、住民自治協議会の体制づくりや人材育成等を支援しています。また、地域まちづくり計画の進行管理を行い、地域包括交付金の見える化を行うとともに評価も実施していきます。</p>
----	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)14自治振興費(細目)147市民活動支援事業費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	64	地域活動や市民活動が活発なまちづくり	平成 19 年度～平成 32 年度	01-02-01-14-147-52
	施策	6402	協働によるまちづくりの推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	地域活動支援事業	企画振興部地域づくり推進課	評価責任者・連絡先	課長 前澤 和也 0595-22-9639

事務事業の概要	対象	市民活動団体(住民自治協議会、NPO、ボランティア団体等)及び活動しようとする市民														
	目的	市民活動(住民自治協議会活動、NPO活動、ボランティア活動等)がより活発になり、地域の課題解決や市民活動への理解を図る。														
	内容	<p>伊賀市総合計画の将来像と目標である「ひとが輝く 地域が輝く」自立と共生のまちの実現を確実なものとし、自治基本条例に基づき市民の自主的なまちづくり活動を支援し、個性的で魅力あふれる地域づくりの推進を目的に、市がその経費の一部を補助する事業を実施しました。 公募提案型事業で、公開審査会を行い採択された団体が、1年間事業に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応募事業数:住民自治協議会:4事業、市民公益活動団体:4事業 ・補助対象事業数:住民自治協議会:4事業、市民公益活動団体:2事業 ・基礎支援テーマ3団体(1,500千円)、協働促進支援2団体(1,400千円)、課題発見1団体(337千円) ・公開審査会(応募団体による事業の公開プレゼンテーション)H28.3.19 ・平成27年度分成果報告会(H28.6.25) 														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>3,237,000円</td> <td>地域活動支援補助金</td> </tr> <tr> <td>地域活動支援事業審査会委員報酬</td> <td>84,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>139,539円</td> <td>旅費等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,460,539円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	3,237,000円	地域活動支援補助金	地域活動支援事業審査会委員報酬	84,000円		その他	139,539円	旅費等	計	3,460,539円
経費	金額	摘要														
負担金、補助及び交付金	3,237,000円	地域活動支援補助金														
地域活動支援事業審査会委員報酬	84,000円															
その他	139,539円	旅費等														
計	3,460,539円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	4,415	3,854	3,461	3,864		
		合計(A)	4,415	3,854	3,461	3,864		
	人件費	正規職員	業務量	0.80 人	0.80 人	0.86 人	0.86 人	
人件費			5,990	6,233	6,701	6,744		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
小計(B)		5,990	6,233	6,701	6,744			
合計(A+B)	10,405	10,087	10,162	10,608				
市民1人当たりのコスト(円)			110	107	108	113		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	交付団体数	支援団体数により、市民活動が活発になり地域課題の解決に繋がるため指標とした。	団体	目標		8	8	5
				実績	8	9	6	
指標化できない成果			達成		112.5%	75.0%		

方向	改善	課題及び改善案	平成19年度の制度創設以来、年々申請団体数が減少している。積極的な事業周知を行うとともに、事業内容のあり方についても、検証を行います。
----	----	---------	---

整理番号
89 - 0

決算書頁
185

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)15交通安全対策費(細目)148交通安全対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-15-148-51
	施策	2107	交通事故ゼロをめざした取り組みの推進	担当部署	部・課名等
	事務事業名	交通安全対策経費	人権生活環境部市民生活課	評価責任者・連絡先	課長 月井 敦子 0595-22-9638

事務事業の概要	対象	市民																				
	目的	交通安全に対する意識、マナーの向上。駅前等の放置自転車撤去等により、歩行者・交通弱者の安全を図る。																				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・全国交通安全運動、交通安全県民運動期間に合わせ、街頭啓発・啓発用チラシの配付、回覧等啓発運動を実施 ・市内小学校新入学児童・中学校新入学生徒に対し、交通安全パンフレットを配布し、啓発を実施 ・交通安全出前教室を開催(2住民自治協議会 参加者87名) ・毎月1回交通事故相談を実施 ・放置自転車対策として上野丸之内、伊賀神戸駅、伊賀上野駅、桑町駅、青山町駅、伊賀上津駅前自転車等駐車場の管理業務をシルバー人材センターへ委託し、放置自転車等に対する啓発、撤去、保管、返還業務を実施。また、伊賀鉄道各駅、JR伊賀上野駅及び佐那具駅前等において、長期放置自転車等95台を撤去 																				
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>24,000円</td> <td>交通事故相談員謝礼</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>591,965円</td> <td>交通安全運動啓発物品購入費ほか</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,737,730円</td> <td>自転車等駐車場管理業務委託料 ((公社)シルバー人材センター)</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>2,223,197円</td> <td>土地建物借上料(駐輪場)</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>85,316円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,662,208円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	24,000円	交通事故相談員謝礼	需用費	591,965円	交通安全運動啓発物品購入費ほか	委託料	1,737,730円	自転車等駐車場管理業務委託料 ((公社)シルバー人材センター)	使用料及び賃借料	2,223,197円	土地建物借上料(駐輪場)	その他	85,316円		計	4,662,208円
経費	金額	摘要																				
報償費	24,000円	交通事故相談員謝礼																				
需用費	591,965円	交通安全運動啓発物品購入費ほか																				
委託料	1,737,730円	自転車等駐車場管理業務委託料 ((公社)シルバー人材センター)																				
使用料及び賃借料	2,223,197円	土地建物借上料(駐輪場)																				
その他	85,316円																					
計	4,662,208円																					

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	2,056	2,037	2,009	2,045		
	一般財源	2,833	3,153	2,654	3,178		
	合計(A)	4,889	5,190	4,663	5,223		
	人件費	正規職員	業務量 0.70 人	0.70 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	5,241	5,454	3,117	3,137	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	0.30 人	0.30 人
		人件費			538	541	
		小計(B)	5,241	5,454	3,117	3,678	
		合計(A+B)	10,130	10,644	7,780	8,901	
		市民1人当たりのコスト(円)	107	113	83	95	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	交通事故死者数		交通安全計画では年間2人以下となっている。	人	目標	2	2	2
					実績	10	3	3
	指標化できない成果		達成		66.6%	66.6%		

方向	継続	課題及び改善案	住民自治協議会単位で希望をとりまとめ、交通安全出前教室の開催を行う。広報車等による市民啓発を行う。
----	----	---------	---

整理番号
90 - 0

決算書頁
185

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)16市史編さん費(細目)150市史編さん事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	62	文化活動やスポーツ活動が活発なまちづくり	平成 16 年度～平成 29 年度	01-02-01-16-150-01
	施策	6204	歴史や文化を守り、未来へと引き継ぐ	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市史編さん事業	総務部総務課	評価責任者・連絡先	課長 前田 康人 0595-22-9601

事務事業の概要	対象	伊賀市の歴史・文化に関心をもち、現在及び将来に伊賀の地域史研究等に取り組む市内外の住民等		
	目的	『伊賀市史』を刊行することにより、伊賀の歴史的特性を発信し、その魅力を広く知っていただきます。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 『伊賀市史 第2巻 通史編 近世』を刊行しました。 編さん事業を推進するための各種会議(市史編さん委員会2回、編集委員会3回、専門部会1回)を開催し、編さんの基本方針や計画、編集内容及び方法等を検討しました。 事業の普及・啓発活動として、『広報いが市』に「市史編さんだより」(4回)を掲載しました。 『伊賀市史』の編さんにあたっては、専門的な知識や高い学術的水準が求められることから、専門研究者からなる伊賀市歴史研究会に委託し、編さん作業を進めています。 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	84,000円	市史編さん委員会委員報酬(のべ14人)	84,000円
	旅費	12,080円	監修者市史編さん委員会出席等	12,080円
	需用費	4,864,935円	消耗品費	394,896円
			食糧費	2,940円
			印刷製本費	4,467,099円
	委託料	14,038,000円	専門研究委託料・書籍販売業務委託料	14,038,000円
	その他経費	63,201円	その他一般事務経費	63,201円
	計	19,062,216円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	535	1,865	1,877	601		
	一般財源	17,010	22,051	17,186	17,169		
	合計(A)	17,545	23,916	19,063	17,770		
人件費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
		人件費	14,974	15,582	15,582	15,682	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,974	15,582	15,582	15,682		
	合計(A+B)	32,519	39,498	34,645	33,452		
	市民1人当たりのコスト(円)	343	419	368	356		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	『伊賀市史』各編などの有償・無償配布数	伊賀の歴史的魅力をどの程度発信できたかを『伊賀市史』などの頒布数で数値化した。	冊	目標		530	460	170
				実績	723 (有償324)	153 (有償123)	863 (有償447)	
指標化できない成果			達成		28.8%	187.6%		

方向	<p>継続</p> <p>課題としては、編さん作業に若干の遅れがあります。遅れている工程を取り戻すことができるよう、作業内容の見直し等を行います。また、校正作業は可能な限り、編集委員等に依頼して事務局の負担を軽減するよう努めます。</p> <p>なお、今年度の達成率は187%となりましたが、その理由は平成27年度刊行予定であった第2巻が28年度の刊行となったためであり、達成率が著しく低かった平成27度と28年度を平均すると、概ね100%となります。</p>
----	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)17人権啓発費(細目)151人権啓発推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-17-151-51
	施策	5102	人権擁護と救済		
事務事業名	人権啓発推進経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	
				評価責任者・連絡先 課長 田中 克典 0595-47-1286	

事務事業の概要	対象	伊賀市民および各種団体		
	目的	市民が人権・同和教育を受ける機会が増え、人権問題への関心が高まり人権意識を高揚する。		
	内容	<p>「伊賀市における部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に関する条例」に基づき、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権が尊重される明るく住みよい社会の実現をめざすとともに、市民等の人権意識の高揚を図るため、各支所と連携してきめ細やかな啓発活動を行います。</p> <p>第2次人権施策総合計画の評価・進行管理を行い11月に人権政策審議会を開催し、27年度事業実績及び28年度実施計画について審議しました。また、第3次人権施策総合計画策定に向けて、3月に人権政策審議会へ諮問を行いました。</p> <p>差別をなくす強調月間に市内各地区で人権講演会等を実施し、1,596名の参加がありました。市内285地区で地区別懇談会等を開催し、5,222人の参加があり人権意識の高揚に努めました。各地区での人権啓発活動の意識の向上を図るため講演会や懇談会を支援しました。人権相談の推進と人権擁護委員等関係団体と連携し、法務局やハイトピアで毎月特設人権相談を実施しました。</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	2,439,800円	人権講演会講師謝礼、地区懇談会講師謝礼等	
	旅費	1,755,509円	人権啓発・人権教育研修会等派遣事業(公募)、職員旅費	
	委託費	2,423,095円	地区別懇談会推進事業委託(委託先:伊賀支所管内各地区等)	
	その他事務経費	4,618,253円		
	計	11,236,657円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国庫支出金	1,484	500	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	14,233	12,709	9,867	13,241		
	合計(A)	15,717	13,209	11,237	14,291		
	人件費	正規職員	業務量 7.76 人	3.30 人	3.10 人	3.20 人	
			人件費 58,100	25,711	24,153	25,092	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	58,100	25,711	24,153	25,092	
		合計(A+B)	73,817	38,920	35,390	39,383	
		市民1人当たりのコスト(円)	777	413	376	419	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	人権問題地区別懇談会参加者数		人権問題について広く市民に啓発し一人でも多くの人に参加してもらう。	人	目標		5,000	5,000
					実績	4,971	4,687	5,222
指標化できない成果			達成		93.7%	104.4%		

方向	継続	課題及び改善案	地区住民の人権意識の向上や、開催手法の工夫等もあり、地区別懇談会参加者数の目標値を達成できた。今後も費用対効果を考え、より効果的に多くの市民に対して人権啓発が出来るよう、啓発手法の改善を行っていく必要がある。
----	----	---------	--

整理番号
92 - 0

決算書頁
185

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)17人権啓発費(細目)151人権啓発推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-17-151-52
	施策	5102	人権擁護と救済	担当部署	部・課名等
	事務事業名	人権フェスティバル開催経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 田中 克典 0595-47-1286

事務事業の概要	対象	伊賀市民																				
	目的	市民一人ひとりが、さまざまな人権課題の解決に向けて、学び、考え、行動する。																				
	内容	7月17日に「ひゅーまんフェスタ2016」を実施し、市民210人が参加しました。人権講演会、体験イベント、学習イベント、非核平和コーナー、人権啓発パネル・活動紹介パネル展示を通じて、一人ひとりが人権課題(「外国人」「障がい者」)について学び、考える機会となりました。																				
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>376,500円</td> <td>人権講演会、体験講座等講師謝礼</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>43,359円</td> <td>講師、手話要約筆記者旅費</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>387,119円</td> <td>消耗品費(看板作成等) 308,473円 食糧費 1,534円 印刷製本費 77,112円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>28,080円</td> <td>駐車場整理業務委託</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>28,080円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>863,138円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	376,500円	人権講演会、体験講座等講師謝礼	旅費	43,359円	講師、手話要約筆記者旅費	需用費	387,119円	消耗品費(看板作成等) 308,473円 食糧費 1,534円 印刷製本費 77,112円	委託料	28,080円	駐車場整理業務委託	使用料及び賃借料	28,080円		計	863,138円
経費	金額	摘要																				
報償費	376,500円	人権講演会、体験講座等講師謝礼																				
旅費	43,359円	講師、手話要約筆記者旅費																				
需用費	387,119円	消耗品費(看板作成等) 308,473円 食糧費 1,534円 印刷製本費 77,112円																				
委託料	28,080円	駐車場整理業務委託																				
使用料及び賃借料	28,080円																					
計	863,138円																					

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	500	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	515	596	363	558		
	合計(A)	515	1,096	864	608		
人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.54 人	0.66 人	
		人件費	4,493	4,675	4,208	5,176	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	4,493	4,675	4,208	5,176		
合計(A+B)	5,008	5,771	5,072	5,784			
市民1人当たりのコスト(円)			53	62	54	62	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	フェスタ参加者の満足度		さまざまな人権課題について広く市民に啓発し多くの人に理解してもらう。	%	目標	90	90	90
					実績	98	98	96
指標化できない成果			達成	108.9%	106.7%			

方向	改善	課題及び改善案 「ひゅーまんフェスタ」は、平成27年度までの5年間、非核平和に特化した内容で実施したが、平成28年度からさまざまな人権問題について学び、考えることができる機会として事業を改善して実施したところ、参加者の理解や関心を高めることができた。来年度以降も、参加者の理解や関心が高まるように継続して事業を実施する。
----	----	---

整理番号
93 - 0

決算書頁
187

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	52	女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	平成 24 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-01
	施策	5201	あらゆる分野における男女共同参画		
事務事業名	男女共同参画センター管理経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 田中 克典 0595-47-1286

事務事業の概要	対象	就学後の市民		
	目的	男女共同参画推進に関する講座や研究のための場を提供し、男女共同参画推進事業の中心的役割を果たす。		
	内容	男女共同参画に関する講座のチラシ・ポスターの掲示をしました。 最近の男女共同参画にまつわる情勢についての情報提供をしました。 男女共同参画に関する書籍や映像教材の整備をしました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	修繕料	37,800円	閲覧用PC 修理代	
	通信運搬費	49,248円	閲覧用PC インターネット利用料	
	テレビ受信料	48,098円	NHKとケーブルテレビ受信料	
	駐車場借上料	109,700円	事業参加者等の駐車場代	
	システム等使用料	7,406円	閲覧用PC ソフト更新料	
	計	252,252円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	85	132	141	0		
	一般財源	229	229	112	346		
	合計(A)	314	361	253	346		
	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.30 人	0.42 人	0.44 人	
			人件費 3,744	2,338	3,273	3,451	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	3,744	2,338	3,273	3,451	
		合計(A+B)	4,058	2,699	3,526	3,797	
		市民1人当たりのコスト(円)	43	29	38	41	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	男女共同参画推進に関する活動でセンターを利用した割合	ミーティングルーム全利用件数に対する、男女共同参画ネットワーク会議会員の利用件数	%	目標		15.0	20.0	22.0
				実績	5.7	17.4	21.3	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	改善	課題及び改善案	昨年度より男女共同参画ネットワーク会議会員によるミーティングルーム利用率が増加した。全会員に向け、会議等の際に施設利用を呼びかけるなど、引き続き機会を捉えたPRをしていく。
----	----	---------	--

整理番号
94 - 0

決算書頁
187

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	52	女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	平成 26 年度～平成 28 年度	01-02-01-18-152-54
	施策	5201	あらゆる分野における男女共同参画	担当部署	部・課名等
	事務事業名	男女共同参画プラン策定業務経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先
				課長 田中 克典 0595-47-1286	

事務事業の概要	対象	全市民								
	目的	男女共同参画社会の形成を目指し、施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画を定める。								
	内容	平成26年度実施した男女共同参画に関する意識調査結果や、第2次伊賀市男女共同参画基本計画時の課題や社会情勢の変化等を踏まえ、平成28年度から向こう5年間を計画期間とする第3次計画を策定しました。								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>433,728円</td> <td>第3次男女共同参画基本計画印刷製本費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>433,728円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	433,728円	第3次男女共同参画基本計画印刷製本費	計	433,728円
経費	金額	摘要								
需用費	433,728円	第3次男女共同参画基本計画印刷製本費								
計	433,728円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	168	648	434		
		合計(A)	168	648	434	0	
	人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.20 人	0.33 人	人
人件費			2,995	1,559	2,572	0	
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	2,995	1,559	2,572	0	
		合計(A+B)	3,163	2,207	3,006	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	34	24	32	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	策定作業の進捗率	策定完了を100%とした場合の作業の進捗度	%	目標		100	10	
				実績	30	90	10	
指標化できない成果	男女共同参画に関する市民意識の把握		達成		90.0%	100.0%		

方向	完了	課題及び改善案	平成27年度に策定した、第3次計画の本冊と概要版を作成した。あらゆる機会を通じて市民に配布し、啓発する必要がある。
----	----	---------	---

整理番号
95 - 0

決算書頁
187

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	52	女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-55
	施策	5201	あらゆる分野における男女共同参画		
事務事業名	男女共同参画推進経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 田中 克典 0595-47-1286

事務事業の概要	対象	全市民																							
	目的	性別に関わらず、誰もがあらゆる場へ参画できる社会の実現をめざす。																							
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次男女共同参画基本計画の進捗管理および、第3次基本計画策定にあたり内容を検討しました。 ・男女共同参画ネットワーク会議交流会を10月13日に開催しました。(女性消防団による講演会・意見交換 参加者数27名) ・男女共同参画ネットワーク会議視察研修を実施しました。(男女共同参画の視点で進めるまちづくり支援事業講演会に参加 参加者数149名のうちネットワーク会議会員55名参加) ・男女共同参画ネットワーク会議総会を開催しました。(出席者23団体22名) ・男女共同参画ネットワーク会議会員とともに、男女共同参画フォーラム「いきいき未来いが2016」を開催し、男女共同参画を実現する必要性の啓発を行いました。(参加者数274名) ・男女共同参画社会実現に向け、対象者を絞って、5回講座を開催しました。(延べ参加者数77名) ・審議会等の女性登用促進のため、登用率40%未満の審議会等の事務担当課に理由書の提出を義務付け、翌年度に委員改選を予定している審議会のうち、5審議会にヒアリングを行いました。 																							
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>いきいき未来いが開催経費</td> <td>416,648円</td> <td>講師・出演者謝礼、会場借上料、消耗品等</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画講座開催経費</td> <td>253,136円</td> <td>講座実施委託料、食糧費</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画ネットワーク開催経費</td> <td>18,360円</td> <td>講演会旅費</td> </tr> <tr> <td>男女共同参画審議会</td> <td>45,441円</td> <td>審議会委員報酬、旅費</td> </tr> <tr> <td>まちづくり支援事業</td> <td>17,581円</td> <td>消耗品等</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>284,328円</td> <td>その他 消耗品等</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,035,494円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業	金額	摘要	いきいき未来いが開催経費	416,648円	講師・出演者謝礼、会場借上料、消耗品等	男女共同参画講座開催経費	253,136円	講座実施委託料、食糧費	男女共同参画ネットワーク開催経費	18,360円	講演会旅費	男女共同参画審議会	45,441円	審議会委員報酬、旅費	まちづくり支援事業	17,581円	消耗品等	その他	284,328円	その他 消耗品等	計	1,035,494円	
事業	金額	摘要																							
いきいき未来いが開催経費	416,648円	講師・出演者謝礼、会場借上料、消耗品等																							
男女共同参画講座開催経費	253,136円	講座実施委託料、食糧費																							
男女共同参画ネットワーク開催経費	18,360円	講演会旅費																							
男女共同参画審議会	45,441円	審議会委員報酬、旅費																							
まちづくり支援事業	17,581円	消耗品等																							
その他	284,328円	その他 消耗品等																							
計	1,035,494円																								

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			直接事業費	国県支出金	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	1,330	1,250	1,036	1,352		
		合計(A)	1,330	1,250	1,036	1,352		
	人件費	正規職員	業務量	0.60 人	0.60 人	0.72 人	0.85 人	
人件費			4,493	4,675	5,610	6,665		
臨時・嘱託・再雇用職員		業務量	人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	4,493	4,675	5,610	6,665		
		合計(A+B)	5,823	5,925	6,646	8,017		
		市民1人当たりのコスト(円)	62	63	71	86		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	審議会等の女性登用率	意思決定の場への女性参画率アップを目指す。	%	目標		40	40	40
				実績	31	25.5	25	
	指標化できない成果		達成		65.0%	62.5%		

方向	改善	課題及び改善案 女性リーダー養成は平成23年度から5年間連続講座を実施し、98名の修了生を輩出した。今年度はこの修了生を対象にしたスキルアップ講座と単発の講座を開催した。男女共同参画社会実現のためには、男性の認識・意識・理解が重要なため、来年度は、男性の連続講座を検討していく。
----	----	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	52	女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-56
	施策	5202	男女の人権尊重		
	事務事業名	男女の人権尊重事業経費		担当部署	部・課名等 人権生活環境部人権政策・男女共同参画課
				評価責任者・連絡先 課長 田中 克典 0595-47-1286	

事務事業の概要	対象	全市民		
	目的	性別に関わらず誰もが一人の人間として尊重される社会を目指す。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・女性法律相談を、毎月1回実施しました。 ・男女共同参画センター情報紙「きらきら」を発行(年4回。組回覧により配布)しました。 ・三重県内男女共同参画連携映画祭を開催(「きみはいい子」を上映)しました。 ・女性のための再就職セミナーを開催しました。 ・各支所主催 男女共同参画セミナーを実施(伊賀支所・鳥ヶ原支所・阿山支所・大山田支所・青山支所)しました。 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報償費	707,375円	女性相談報酬・きらきら編集員謝礼 セミナー謝礼等	
	旅費	66,800円	女性相談・ 三重県内男女共同参画連携映画祭	
	需用費	108,601円	男女共同参画センター情報紙消耗品等	
	委託料	183,600円	映画上映業務委託(委託先:三重県映画センター)	
	使用料	37,090円	会場借上料	
	計	1,103,466円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	1,147	1,166	1,104	1,171	
		合計(A)	1,147	1,166	1,104	1,171	
	人件費	正規職員	業務量 0.40 人	0.50 人	0.63 人	0.64 人	
			人件費 2,995	3,896	4,909	5,019	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	2,995	3,896	4,909	5,019	
		合計(A+B)	4,142	5,062	6,013	6,190	
		市民1人当たりのコスト(円)	44	54	64	66	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	「男は仕事」「女は家事・育児・介護」と思わない市民の割合	固定的性別役割分担意識の解消の浸透度	%	目標		75	80	80
				実績		74	77	
指標化できない成果			達成		98.7%	96.2%		

方向	改善	課題及び改善案 再就職を望む世代の女性はパソコンの操作がある程度できることから、今年度は面接での印象のよいメイクのコツや、メイクを活かす表情を習得する講座を開催したところ、大変評判が良かった。今後もアンケートの希望講座を参考に「再就職支援」の講座内容を再考する。 女性法律相談では、他市の状況を勘案し弁護士報酬を見直したが、相談者が満足できる質の高い相談になるよう努めたい。
----	----	---

整理番号
97 - 0

決算書頁
187

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)18男女共同参画費(細目)152男女共同参画推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	52	女性がより一層活躍できる男女共同参画のまちづくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-01-18-152-57
	施策	5203	ワーク・ライフ・バランスの推進		
事務事業名	ワーク・ライフ・バランス推進経費	担当部署	部・課名等 人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	評価責任者・連絡先 課長 田中 克典 0595-47-1286	

事務事業の概要	対象	就学後の市民																																				
	目的	すべての人が仕事と家庭生活等を両立できる。																																				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・7月28日、伊賀市役所の管理職が共同で「ハタラクカタ応援宣言(イクボス宣言)」をしました。 ・育児男子講座(父親向け育児講座)、リフレッシュ講座(母親向け)を実施しました。(9家族25人参加) ・男女共同参画社会の実現にむけたワーク・ライフ・バランスの推進のため、経営者や管理職の意識改革を行うことを目的に、商工労働課と伊賀市人権学習企業等連絡会と共催で、イクボス講座を開催しました。(伊賀市人権学習企業等連絡会に加入の経営者・管理職・人事担当者と伊賀市役所の管理職48人が参加) ・年代別にわけ、おとこの料理教室を実施しました。(20人参加) ・人権啓発企業訪問でのワーク・ライフ・バランスの啓発をしました。 ・男女共同参画センター情報紙「きらきら」での、両立支援の啓発をしました。 ・三重県とこども未来課と共同で、みえの育児男子倶楽部を開催しました(14人参加) 																																				
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>育児男子講座・リフレッシュ講座</td> <td>25,000円</td> <td>謝礼</td> <td>25,000円</td> </tr> <tr> <td>おとこの料理教室</td> <td>42,851円</td> <td>謝礼</td> <td>20,000円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>22,851円</td> </tr> <tr> <td>イクボス講座</td> <td>45,705円</td> <td>旅費</td> <td>6,060円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>会場使用料</td> <td>10,800円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>消耗品費</td> <td>28,845円</td> </tr> <tr> <td>みえの育児男子倶楽部</td> <td>10,497円</td> <td>消耗品等</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>124,053円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業	金額	摘要		育児男子講座・リフレッシュ講座	25,000円	謝礼	25,000円	おとこの料理教室	42,851円	謝礼	20,000円			消耗品費	22,851円	イクボス講座	45,705円	旅費	6,060円			会場使用料	10,800円			消耗品費	28,845円	みえの育児男子倶楽部	10,497円	消耗品等		計	124,053円			
事業	金額	摘要																																				
育児男子講座・リフレッシュ講座	25,000円	謝礼	25,000円																																			
おとこの料理教室	42,851円	謝礼	20,000円																																			
		消耗品費	22,851円																																			
イクボス講座	45,705円	旅費	6,060円																																			
		会場使用料	10,800円																																			
		消耗品費	28,845円																																			
みえの育児男子倶楽部	10,497円	消耗品等																																				
計	124,053円																																					

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	11	12	19	39		
	一般財源	46	383	106	436		
	合計(A)	57	395	125	475		
	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.53 人	0.64 人	
		人件費	2,247	2,338	4,130	5,019	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	2,247	2,338	4,130	5,019	
		合計(A+B)	2,304	2,733	4,255	5,494	
		市民1人当たりのコスト(円)	25	29	46	59	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	講座受講者数	家事・育児を主体的に担おうとする人	人	目標		72	108	108
				実績		59	107	
指標化できない成果			達成		81.9%	99.0%		

方向	改善	課題及び改善案	ワーク・ライフ・バランスは、固定的性別役割分担意識の解消と働き方の見直し、また家庭の事情などで制約を受けながら仕事をする人への支援など、個々の意識改革と働く場での環境整備が必要であることから、その両方への啓発が必要である。
----	----	---------	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-01
	施策	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	防災関係経費	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	府中・三田・諏訪・新居・島ヶ原地区住民のほか市民、観光者及び避難所周辺滞在者。		
	目的	山崩れ・地すべり監視地域への警戒情報提供や避難所周辺の方への避難所誘導を確保する。		
	内容	<p>○上野地域及び島ヶ原地域における山崩れ予知監視・地すべり監視装置及び地下水位・変位計測装置について定期点検保守業務を年1回行った。</p> <p>・山崩れ予知監視装置(監視局:本庁、島ヶ原支所、中継局:西高倉(兼観測所)、観測所:諏訪、奥田、大道)</p> <p>・地すべり監視装置(監視局:本庁、観測局:西条)</p> <p>・地下水位計測装置・変位計測装置(観測局:土橋)</p> <p>○西条・西高倉・諏訪・大道・奥田の雨量計の5台の保守点検を行った。</p> <p>○3件(蔵縄手、古郡、比自岐)の改修について、モーターサイレン改修事業費補助金の助成を行った。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	4,064,040円	山崩れ・地すべり監視装置保守点検業務 1,814,400円 市内5ヶ所雨量計保守点検業務 896,400円 ほか	
	需用費	2,456,377円	修繕料:山崩れ・地すべり監視装置修繕 1,231,200円 ほか	
	負担金、補助及び交付金	1,037,000円	モーターサイレン設置・改修事業費補助金 1,037,000円	
	その他事務経費	790,747円		
	計	8,348,164円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	378	0	0	
			地方債	0	0	0	69,100	
			その他	0	0	0	0	
			一般財源	13,539	9,820	8,349	9,605	
	合計(A)	13,539	10,198	8,349	78,705			
	人件費	正規職員	業務量	1.57 人	1.57 人	1.57 人	1.57 人	
			人件費	11,755	12,232	12,232	12,311	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)	11,755	12,232	12,232	12,311				
合計(A+B)	25,294	22,430	20,581	91,016				
市民1人当たりのコスト(円)		267	238	219	969			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	通信機器稼働日数	通信機器が正常稼働できる状態にあった日数	日	目標		366	365
				実績	365	366	365
指標化できない成果	代替機器を用いて通信を行った場合	達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	山崩れ・地すべり監視装置の老朽化が進み、機器の不具合が現れることが年々増えていることから、平成29年度において、山崩れ予知監視・地すべり監視装置の更新を行う。
----	----	---------	---

整理番号
99 - 0

決算書頁
189

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-52
	施策	2101	さまざまな災害を想定した体制づくり		
事務事業名	自主防災組織活性化促進事業	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先	
		総合危機管理課	課長 加藤 敦	0595-22-9640	

事務事業の概要	対象	市内全地域を対象とした自主防災組織		
	目的	自主防災組織の活性化を促進し、災害時の共助体制を強化し被害を軽減する。		
	内容	<p>○自主防災組織の活性化促進事業として、訓練を実施した組織に対して補助金を交付しました。 対象:自主防災組織 29団体。</p> <p>○新規結成地区(ゆめが丘5丁目地区)への資機材配備を行いました。 配備資機材:格納庫 1棟、テント 2張、折りたたみ式リヤカー 1台等。</p>		
事業に要した主な経費など		経費	金額	摘要
		役員費	97,000円	傷害保険料
	備品購入費	831,600円	自主防災組織資機材配備	
	負担金、補助及び交付金	449,062円	自主防災組織活動推進補助金	
	計		1,377,662円	

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,280	1,218	1,378	1,094		
	合計(A)	1,280	1,218	1,378	1,094		
人件費	正規職員	業務量	0.38 人	0.38 人	0.38 人	0.38 人	
		人件費	2,846	2,961	2,961	2,980	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,846	2,961	2,961	2,980		
	合計(A+B)	4,126	4,179	4,339	4,074		
	市民1人当たりのコスト(円)	44	45	47	44		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	自主防災組織結成率	市内全世帯数のうち自主防災組織結成地域の自治会数	%	目標		314	314	314
				実績	306	306	307	
指標化できない成果	助成を受けずに独自で訓練等活動を実施している組織	達成		97.5%	97.8%			

方向	課題及び改善案	全組織が防災意識が高いとはいいい難しく、ここ数年訓練を行っていない組織があるように見受けられる。災害時に機能的な活動が出来るようリーダー研修会や組織の活動報告会などの開催や隣接する組織相互の連携等を住民自治協議会等に働きかけ地域住民の意識の向上を目指します。
継続		

整理番号
100 - 0

決算書頁
189

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-54
	施策	2101	さまざまな災害を想定した体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	伊賀市地域防災計画推進事業	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民、観光者など市内滞在者。		
	目的	上位計画(三重県地域防災計画)の修正に合わせて更新する。		
	内容	・災害対策基本法をはじめとする各種関係法令の改正、三重県防災計画の修正に基づき、伊賀市地域防災計画(風水害等対策編)の修正を行った。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	60,000円	防災会議委員報酬	60,000円
	需用費	591,516円	消耗品費	28,080円
	委託料	2,160,000円	印刷製本費	563,436円
			伊賀市地域防災計画(風水害等対策編)修正業務	2,160,000円
	計	2,811,516円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	81	2,530	2,812	327	
		合計(A)	81	2,530	2,812	327	
	人件費	正規職員	業務量 2.00 人	2.00 人	2.00 人	0.50 人	
			人件費 14,974	15,582	15,582	3,921	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	14,974	15,582	15,582	3,921	
		合計(A+B)	15,055	18,112	18,394	4,248	
		市民1人当たりのコスト(円)	159	193	196	46	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	進捗率		計画書の策定完了を100とした進捗の程度	%	目標	100 (地震)	100 (風水害)	-
					実績	50	100	100
	指標化できない成果			達成	100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	防災施策の根幹となる計画であるため、専属で業務に取り組める環境が必要。上位計画の修整状況に合わせ、その都度修整作業が増加するため、計画性のある業務になりにくい。
----	----	---------	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 28 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-55
	施策	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	防災ハザードマップ作成推進事業	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	土砂災害ハザードマップを作成し、地域住民に周知する。		
	内容	<p>○布引、矢持、博要の3地域について、土砂災害ハザードマップの作成を行い、地域全戸に配布し周知を行った。本庁等で自由に持ち帰れるようにしている。</p> <p>土砂災害ハザードマップ作成部数 布引、矢持、博要 各1,000部</p> <p>○洪水ハザードマップ(中瀬、島ヶ原)と土砂災害ハザードマップ(島ヶ原)の増刷を行った。</p> <p>中瀬:洪水ハザードマップ 1,000部。 島ヶ原:洪水ハザードマップ 500部。 島ヶ原:土砂災害ハザードマップ 1,000部。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	557,280円	土砂災害ハザードマップ作成(布引、矢持、博要)	557,280円
	需用費	99,684円	印刷製本費	99,684円
	計	656,964円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		678	278	907	地域減災力強化推進補助金(県単)
		地方債		0	0	0	
		その他		0	0	0	
		一般財源		683	379	908	
		合計(A)	0	1,361	657	1,815	
事業費	人件費	正規職員	業務量	人	1.00 人	1.00 人	1.00 人
			人件費	0	7,791	7,791	7,841
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	0	7,791	7,791	7,841	
合計(A+B)	0	9,152	8,448	9,656			
市民1人当たりのコスト(円)		0	98	90	103		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
土砂災害ハザードマップ(布引、矢持、博要)配布数	地域住民に危険箇所を周知するため。	部数	目標		1,082	—
			実績	—	—	1,082
指標化できない成果		達成			100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	三重県が実施する調査結果に基づいて、市がマップにして住民等に配布するため、三重県の調査状況に左右される。
----	----	---------	--

整理番号
102 - 0

決算書頁
189

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 28 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-56
	施策	2101	さまざまな災害を想定した体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	避難所誘導標識等設置推進事業		総合危機管理課	評価責任者・連絡先 課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民								
	目的	災害発生時に避難所まで誘導するため、避難所誘導標識を設置する。								
	内容	○避難所誘導標識の設置を行った。 伊賀市民体育館(3ヶ所)、伊賀上野武道館(1ヶ所)								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>工事請負費</td> <td>794,000円</td> <td>避難所誘導標識設置工事</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>794,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	工事請負費	794,000円	避難所誘導標識設置工事	計	794,000円
経費	金額	摘要								
工事請負費	794,000円	避難所誘導標識設置工事								
計	794,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		396	397	
	地方債		0	0	0		
	その他		0	0	0		
	一般財源		398	397	715		
	合計(A)		0	794	794	1,429	
人件費	正規職員	業務量	人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	0	7,791	7,791	7,841	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)		0	7,791	7,791	7,841	
	合計(A+B)		0	8,585	8,585	9,270	
市民1人当たりのコスト(円)			0	92	92	99	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	避難所誘導表示設置施設数	新たに避難所として設置する施設が対象となる。	箇所	目標		0	2	0
				実績	5	0	2	
指標化できない成果			達成			100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	学校の統合や施設の取り壊し等により避難所が変更されたり、新たに指定されたりする。民間施設の利用に向けた協定等の検討も必要である。
----	----	---------	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-58
	施策	2101	さまざまな災害を想定した体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	防災資機材整備推進事業	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	災害時の避難者		
	目的	避難者への救援物資を迅速に配布できるよう備える。		
	内容	<p>○保管期限を迎える備蓄食料を更新すると共に、数量を増やして災害用長期保存食等の備蓄を充実させた。 また本年度は、昨年度に引き続き避難所での着替えスペースや障害者用トイレに使用するための間仕切りテントを追加で備蓄品として購入しました。 平成28年度購入物資</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルファ化米(50食入/箱) 160箱(8,000食) [わかめご飯60箱、きのこご飯50箱、白がゆ50箱] ・乾パン(24缶入/箱) 110箱(2,640食) ・保存水(1.5L×8本入) 100箱(1,200リットル) ・粉ミルク(800g×8缶入) 10箱(うちアレルギー対応2箱) ・大人用紙おむつ(S・M・Lサイズ) 計30箱 ・避難所用間仕切りテント 50張 <p>○災害時活用等を見据え、小型無人航空機(ドローン)を購入した。</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	需用費	2,513,246円	非常食、保存水、粉ミルク、紙おむつ	
	役務費	18,730円	動産保険料	
	備品購入費	1,868,551円	避難所用間仕切りテントの購入	1,603,800円
			小型無人機(ドローン)の購入	264,751円
	計	4,400,527円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国庫支出金	453	1,242	801	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	3,247	4,928	3,600	4,874		
	合計(A)	3,700	6,170	4,401	6,116		
	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.50 人	0.40 人	
		人件費	2,247	2,338	3,896	3,137	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	2,247	2,338	3,896	3,137	
		合計(A+B)	5,947	8,508	8,297	9,253	
		市民1人当たりのコスト(円)	63	91	89	99	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	非常食備蓄率 n/53,100食	南海トラフ想定 of 過去最大 避難者数から(300人+ 5,600人)×3食×3日分	%	目標		82.0	91.7	94.3
				実績	67.5	78.4	90.3	
指標化できない成果			達成		95.6%	98.5%		

方向	継続	課題及び改善案	非常用備蓄食糧は本来、個人の責務であるが、災害時備蓄食糧を持ち出せなかったり、外出先で災害にあたり、避難が長期化した際に支給するため必要となる。より一層の自助・共助による備蓄の推進が必要であることを啓発するとともに避難所で必要な備品を充実させる必要がある。
----	----	---------	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-60
	施策	2103 災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進	担当 部署	部・課名等 総合危機管理課
事務事業名	防災行政無線維持管理経費			

事務事業の概要	対象	市民、市内就労者、観光客など。		
	目的	設備を正常な状態に維持することで、災害予知情報等を伝達し、身の安全を確保してもらう。		
	内容	<p>[災害時利用回数] 2回 [訓練使用回数]デジタル同報系 1回(Jアラート情報伝達訓練) デジタル移動系 12回(MCA無線定期訓練)</p> <p>[設備維持関係] ・保守点検業者による定期点検を実施した。 ・毎日の定時試験放送による導通確認(365日)をした。 ・設備の故障の修繕を実施した。(10ヶ所)</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	7,092,360円	防災機器保守点検業務委託料 (同報系無線、全国瞬時警報システム)	
	負担金、補助及び交付金	774,000円	三重県防災行政無線負担金	
	使用料及び賃借料	3,966,424円	電波利用料 382,423円 土地建物借上料 73,137円 MCA無線システム利用料 3,510,864円	
	需用費	5,564,587円		
	計	17,397,371円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	13	13	13	13
		一般財源	19,413	17,435	17,385	13,548
		合計(A)	19,426	17,448	17,398	13,561
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人
		人件費	2,247	2,338	2,338	2,353
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	2,247	2,338	2,338	2,353
合計(A+B)	21,673	19,786	19,736	15,914		
市民1人当たりのコスト(円)		228	210	210	170	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正常稼働日	24時間、設備が正常に稼働している	日	目標	366	365	365
			実績	362	366	365
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	平成34年の同報系アナログ波の使用停止に向けて、行政情報も含めた総合的な情報伝達手段について整備計画を策定する必要がある。新システム構築には、多額な費用が必要である。
----	----	---------	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-61
	施策	2101	さまざまな災害を想定した体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	災害対策本部等運営経費	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民、市内滞在者。		
	目的	災害対策本部の開催と災害予知情報システムの適正稼働のため維持管理をする。		
	内容	<p>[災害対策本部の運営]総合危機管理課の事務的経費 ・平成28年度の災害対策本部の設置回数は4回 (参考:台風(10・16号)による待機2回、大雪警報発令による待機2回)</p> <p>[市民伝達のためのツールの整備] ・防災ほっとメール配信システムの維持管理 ・行政チャンネル緊急告知システムの維持管理 ・土砂災害相互通報システムの維持管理 ・緊急生中継システムの運用 ・三重県防災ヘリコプター負担金 など</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	役員費	889,492円	通信運搬費	
	委託料	3,062,448円	防災気象情報提供業務	1,296,000円
	使用料及び賃借料	5,393,760円	防災機器保守点検業務	1,766,448円
	負担金、補助及び交付金	3,667,040円	機械器具借上料、防災機器ハウジング、システム使用料 など	
	その他	1,274,397円	防災ヘリコプター連絡協議会負担金 など	
	計	14,287,137円	旅費、需用費	

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	15,842	16,529	14,288	19,088	
		合計(A)	15,842	16,529	14,288	19,088	
	人件費	正規職員	業務量 1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人	
		人件費	7,487	7,791	7,791	7,841	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	7,487	7,791	7,791	7,841	
		合計(A+B)	23,329	24,320	22,079	26,929	
		市民1人当たりのコスト(円)	246	258	235	287	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	防災ホットメール登録者数		市民向け伝達方法のひとつで加入者も比較的多いため指標とした。	登録者数	目標		4,400	5,000
					実績	3,940	4,028	4,254
指標化できない成果			達成		92.0%	85.1%		

方向	継続	課題及び改善案	今後とも市民等に災害の発生前の情報収集、予測、対策、発災後の対策等を検討した内容を伝えるために、また支援救援のため必要なツールは整備し続ける必要がある。
----	----	---------	--

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-153-63
	施策	2102 災害時に援護や配慮が必要な人たちを支援する体制づくり	担当部署	評価責任者・連絡先
事務事業名	災害時要援護者支援対策経費	総合危機管理課	課長 加藤 敦 0595-22-9640	

事務事業の概要	対象	高齢者や障がい者など、災害時に支援を必要とする市民		
	目的	災害時要援護者を平常時から見守る地域ネットワークをつくる。		
	内容	<p>○今年度対象者に申請書を郵送し、名簿登録者の更新を行った。 申請書送付: 1, 627件。</p> <p>[登録に係る経費] ・要援護者台帳システム保守 ・同システム機器保守 ・登録申請事務経費</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	1,136,862円	要援護者台帳システム保守業務 要援護者台帳システム機器保守業務	1,064,664円 72,198円
	需用費	94,537円		
	使用料及び賃借料	49,248円		
	計	1,280,647円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	1,683	1,495	1,281	1,359
		合計(A)	1,683	1,495	1,281	1,359
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人
		人件費	2,247	2,338	2,338	2,353
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	2,247	2,338	2,338	2,353
合計(A+B)	3,930	3,833	3,619	3,712		
市民1人当たりのコスト(円)		42	41	39	40	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
個別避難支援計画登録率	個別避難支援計画登録者数が災害避難時の避難行動につながる	%	目標		66.6	68.0	70.0
			実績	47.6	47.0	49.1	
指標化できない成果			達成		70.1%	72.2%	

方向	継続	課題及び改善案 課題:登録を拒否した要援護者に対して、どのように登録してもらうか検討する必要がある。 改善提案:事務手続きを簡素化することにより、個別避難支援計画策定率の向上を図る。
----	----	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)153防災対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-01-19-153-60
	施策	2103 災害時における情報収集、伝達機能を確保する施設整備の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	防災行政無線維持管理経費(繰越明許費分)	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民、市内就労者、観光客など。		
	目的	設備を正常な状態に維持することで、災害予知情報等を伝達し、身の安全を確保してもらう。		
	内容	同報系防災行政無線の蓄電池交換修繕を行った。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	1,058,400円	修繕料	
	計	1,058,400円		

項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接事業費	国県支出金		0	0		
	地方債		0	0		
	その他		0	0		
	一般財源		1,059	1,059		
	合計(A)	0	1,059	1,059		0
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人		人
		人件費	0	780		0
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人		人
		人件費				
	小計(B)	0	780	780		0
合計(A+B)	0	1,839	1,839	0		
市民1人当たりのコスト(円)	0	20	20	0		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
正常稼働日	24時間、設備が正常に稼働している	日	目標		366	365
			実績	362	366	365
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	完了	課題及び改善案	修繕が完了し、正常な運用ができています。
----	----	---------	----------------------

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)19防災費(細目)154国民保護対策経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 28 年度～平成 32 年度	01-02-01-19-154-51
	施策	2101 さまざまな災害を想定した体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	国民保護対策経費	総合危機管理課	評価責任者・連絡先	課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	武力攻撃や緊急対処事態から市民を守る。		
	内容	○伊賀市国民保護協議会を開催し、伊賀市国民保護計画の修正を行った。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	48,000円	伊賀市国民保護協議会委員報酬	
	需用費	1,564円		
	計	49,564円		

項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
直接事業費	国県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	136	50	136			
	合計(A)	0	136	50		136	
人件費	正規職員	業務量 人	0.20 人	0.20 人		0.20 人	
		人件費	0	1,559		1,559	1,569
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人		人	
		人件費					
	小計(B)	0	1,559	1,559		1,569	
合計(A+B)	0	1,695	1,609	1,705			
市民1人当たりのコスト(円)	0	18	18	19			

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
進捗率	業務の完了を100とした進捗の程度	%	目標	—	100	100
			実績	—	—	100
指標化できない成果		達成			100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	国際情勢等の変化により、国民保護法の改正等により伊賀市の国民保護計画の修正が必要となる。その内容等は国及び県の国民保護計画に沿ったものとなり、修正時期等は不定期で計画性が困難である。
----	----	---------	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)20諸費(細目)157非核平和都市推進経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	51	あらゆる差別を許さず、互いの人権を尊重するまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-20-157-51
	施策	5103	非核平和の推進	担当部署	部・課名等
事務事業名	非核平和都市推進経費		人権生活環境部人権政策・男女共同参画課	課長 田中 克典 0595-47-1286	

事務事業の概要	対象	伊賀市民・中学生		
	目的	平和の尊さや戦争の愚かさを実際に肌で感じる機会を提供し、非核平和学習を推進する。		
	内容	8月5日・6日に市内各中学校から1名ずつ計10名の生徒を広島に派遣し、平和記念式典への参加や原爆資料館で平和学習を実施した。広報いが市や行政情報番組を通して市民へ学んだことや感じたことを伝えたほか、各中学校で平和還流学習を行った。 また、市内ギャラリーで原爆パネル展を開催し、12月の人権を考える市民の集いで広島派遣報告の展示を行うなど、平和の大切さについて広く市民に周知した。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	39,060円	非核平和中学生広島派遣事業 引率職員旅費	
	報償費	10,000円		
	需用費	10,000円	事務用品	
	委託料	700,000円	非核平和中学生広島派遣事業委託 (委託先:伊賀市中学校長会)	
	使用料及び賃借料	1,000円	「原爆と人間」パネル展会場使用料	
	負担金、補助及び交付金	2,000円		
	計	762,060円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	634	807	763	817	
		合計(A)	634	807	763	817	
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.60 人	0.60 人	0.73 人	0.57 人	
		人件費	4,493	4,675	5,688	4,470	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	4,493	4,675	5,688	4,470	
合計(A+B)	5,127	5,482	6,451	5,287			
市民1人当たりのコスト(円)		54	59	69	57		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	広島派遣の中学生参加者数	人	目標		10	10
			実績	10	10	10
指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%	

方向	継続	課題及び改善案	未来を担う中学生が、原爆の日に被爆地を訪れ、非核平和の祈りを肌で感じる事が出来る広島派遣事業を継続し、さらに多くの市民に非核・平和を効果的に啓発できる事業を検討していく。
----	----	---------	---

整理番号
110 - 0

決算書頁
191

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)20諸費(細目)158暴力追放伊賀市民会議経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	999 政策なし	平成 28 年度～平成 32 年度	01-02-01-20-158-01
	施策	9999 施策なし		
	事務事業名	暴力追放伊賀市民会議経費	担当部署 総合危機管理課	評価責任者・連絡先 課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民、市内の各種団体・事業者。		
	目的	伊賀市民及び暴力追放に取り組む各種団体等が連携し、伊賀市からあらゆる暴力を排除し、平和で明るく住みよい伊賀市を築く。		
	内容	○暴力追放伊賀市民会議を開催した。 登録団体数 206。参加団体等108団体。 総会終了後、(公益財団法人)暴力追放三重県民センター 大内専務理事から「暴力団等の排除に向けて」と題し、講演。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	負担金、補助及び交付金	300,000円	暴力追放伊賀市民会議負担金	
	計	300,000円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	30	300	300	273	
		合計(A)	30	300	300	273	
	人件費	正規職員	業務量 0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
			人件費 2,247	2,338	2,338	2,353	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
			人件費				
		小計(B)	2,247	2,338	2,338	2,353	
		合計(A+B)	2,277	2,638	2,638	2,626	
		市民1人当たりのコスト(円)	24	28	28	28	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	総会参加団体等数	暴力排除のための連携を 確認	団体数	目標		208	206	206
				実績	110	111	108	
指標化できない成果			達成		53.4%	52.4%		

方向	継続	課題及び改善案	参加団体の加入促進と総会出席団体の促進が課題である。
----	----	---------	----------------------------

整理番号
111 - 0

決算書頁
191

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)20諸費(細目)159消費者行政事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	21	自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 20 年度～平成 32 年度	01-02-01-20-159-01
	施策	2108	消費者被害防止のための啓発等の充実	担当部署	部・課名等
	事務事業名	消費者行政事務経費	人権生活環境部市民生活課	評価責任者・連絡先	課長 月井 敦子 0595-22-9638

事務事業の概要	対象	市民																	
	目的	市民が悪徳商法などの被害に遭わないよう、相談窓口を設け適切な情報提供に努めトラブルの未然防止を行う。																	
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 消費生活にかかわる苦情や相談について、専門の消費生活相談員(嘱託職員)を配置するとともに、県消費生活相談センター等と連携を図りながら対応を行いました。また、多重債務相談についても、弁護士・司法書士への初回相談が無料となる県のシステム(多重債務者相談連携システム)等を活用し対応しました。消費生活相談260件、多重債務相談12件 啓発活動として、地区・団体からの要望に応じ、悪徳商法や振り込め詐欺の被害を予防するための「消費者トラブル出前講座」を消費生活相談員が講師となり実施しました。5回実施、参加者229名 三重県消費者行政活性化基金事業費補助金及び三重県消費者行政推進事業費を活用し、出前講座及び相談窓口啓発用物品・参考図書の購入、専門研修への職員参加などを行いました。 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>1,238,400円</td> <td>消費生活相談嘱託員(1名)</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>128,120円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>296,244円</td> <td>啓発パンフレット等</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>95,516円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,758,280円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報酬	1,238,400円	消費生活相談嘱託員(1名)	旅費	128,120円		印刷製本費	296,244円	啓発パンフレット等	その他	95,516円		計	1,758,280円
経費	金額	摘要																	
報酬	1,238,400円	消費生活相談嘱託員(1名)																	
旅費	128,120円																		
印刷製本費	296,244円	啓発パンフレット等																	
その他	95,516円																		
計	1,758,280円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	1,077	1,001	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	674	775	712	778		
	合計(A)	1,751	1,776	1,759	1,781		
人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.41 人	0.41 人	
		人件費	2,247	2,338	3,195	3,215	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	0.03 人	0.03 人	
		人件費			54	55	
	小計(B)	2,247	2,338	3,195	3,270		
	合計(A+B)	3,998	4,114	4,954	5,051		
	市民1人当たりのコスト(円)	43	44	53	54		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	消費生活相談件数	窓口及び電話による相談	件	目標		200	200	200
				実績	263	247	272	
指標化できない成果			達成		123.5%	136.0%		

方向	継続 課題及び改善案 悪徳商法、特殊詐欺、ネットトラブルなどの相談は後を絶たない。被害を未然に防ぐため、街頭啓発や出前講座などにより市民に啓発を図り、相談窓口を充実し、多様な相談に対応できるようにする必要がある。
----	---

(款)2総務費(項)1総務管理費(目)20諸費(細目)160防犯事業経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	21 自然災害や重大な事故などさまざまな事象に備え、安心して暮らせるまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-01-20-160-01
	施策	2108 消費者被害防止のための啓発等の充実	担当部署	部・課名等
事務事業名	防犯事業経費		総合危機管理課	評価責任者・連絡先 課長 加藤 敦 0595-22-9640

事務事業の概要	対象	市民											
	目的	市民を犯罪から守り、安心安全に生活ができるようにしたい。											
	内容	<p>○市民、各種団体へ防犯啓発する「伊賀地区防犯協会」「名張地区防犯協会」の運営活動費の市負担金を支払った。</p> <p>[伊賀地区防犯協会の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域安全運動出動式への参加や広報啓発活動の実施した。 ・地域安全ニュースを発行し、犯罪情報の提供と地域防犯連絡員の意識の高揚を図った。 ・地域安全活動推進モデル事業所に車添付用マグネット、各種のぼり旗を交付した。 ・「特殊詐欺被害防止」や「犯罪抑止対策強化」のため啓発チラシ及び物品の配布を行った。 <p>[名張地区防犯協会の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域安全運動出動式への参加や広報啓発活動の実施した。 ・地域安全ニュースを発行し、犯罪情報の提供と地域防犯連絡員の意識の高揚を図った。 ・地域安全活動推進モデル事業所に車添付用マグネット、各種のぼり旗を交付した。 ・「特殊詐欺被害防止」や「犯罪抑止対策強化」のため啓発チラシ及び物品の配布を行った。 											
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>4,411,128円</td> <td>伊賀地区防犯協会負担金 3,811,185円 名張地区防犯協会分担金 374,000円</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>53,852円</td> <td>みえ犯罪被害者総合支援センター負担金 225,943円 消耗品費 47,852円 燃料費 6,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,464,980円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	4,411,128円	伊賀地区防犯協会負担金 3,811,185円 名張地区防犯協会分担金 374,000円	需用費	53,852円	みえ犯罪被害者総合支援センター負担金 225,943円 消耗品費 47,852円 燃料費 6,000円	計	4,464,980円	
経費	金額	摘要											
負担金、補助及び交付金	4,411,128円	伊賀地区防犯協会負担金 3,811,185円 名張地区防犯協会分担金 374,000円											
需用費	53,852円	みえ犯罪被害者総合支援センター負担金 225,943円 消耗品費 47,852円 燃料費 6,000円											
計	4,464,980円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,536	4,486	4,465	4,383		
	合計(A)	4,536	4,486	4,465	4,383		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.40 人	0.40 人	0.40 人	
		人件費	0	3,117	3,117	3,137	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	3,117	3,117	3,137		
合計(A+B)	4,536	7,603	7,582	7,520			
市民1人当たりのコスト(円)			48	81	81	80	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	啓発活動数	市民への啓発	月	目標		12	12	12
				実績	12	12	12	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	継続	課題及び改善案	犯罪の完全な撲滅を目指し、数々の活動に取り組んでいる。近年、犯罪件数は減少傾向にあるが、より一層の効果が期待できる取り組みに工夫が必要である。
----	----	---------	---

整理番号
113 - 0

決算書頁
191

(款)2総務費(項)2徴税费(目)1税務総務費(細目)162事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	721	財政の的確な運営	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-02-01-162-01
	施策	7212	自主財源の確保と負担の適正化	
	事務事業名	税務事務経費		担当部署 財務部課税課 評価責任者・連絡先 課長 松永 知大 0595-22-9614

事務事業の概要	対象	納税義務者																	
	目的	自主財源の確保及び税の公平性を保つ。																	
	内容	税務証明等の発行業務を速やかに確実にを行うように努め、市税概要の作成印刷等を行いました。また、督促状等の圧着に使用するドライシーラーの賃借・保守点検を実施しました。																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>2,930,090円</td> <td>課税課市民税係臨時職員賃金 1人 収税課収納管理係臨時職員賃金 1人</td> </tr> <tr> <td>機械器具借上料</td> <td>307,152円</td> <td>ドライシーラー賃借</td> </tr> <tr> <td>事務機器保守点検委託料</td> <td>371,952円</td> <td>ドライシーラー保守</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>958,702円</td> <td>臨時職員社会保険料 445,591円 他</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,567,896円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	賃金	2,930,090円	課税課市民税係臨時職員賃金 1人 収税課収納管理係臨時職員賃金 1人	機械器具借上料	307,152円	ドライシーラー賃借	事務機器保守点検委託料	371,952円	ドライシーラー保守	その他事務経費	958,702円	臨時職員社会保険料 445,591円 他	計	4,567,896円
経費	金額	摘要																	
賃金	2,930,090円	課税課市民税係臨時職員賃金 1人 収税課収納管理係臨時職員賃金 1人																	
機械器具借上料	307,152円	ドライシーラー賃借																	
事務機器保守点検委託料	371,952円	ドライシーラー保守																	
その他事務経費	958,702円	臨時職員社会保険料 445,591円 他																	
計	4,567,896円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	4,201	5,256	4,568	8,932	
		合計(A)	4,201	5,256	4,568	8,932	
	人件費	正規職員	業務量 5.00 人	5.00 人	5.01 人	5.01 人	
			人件費 37,435	38,955	39,033	39,284	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	37,435	38,955	39,033	39,284	
		合計(A+B)	41,636	44,211	43,601	48,216	
		市民1人当たりのコスト(円)	438	469	463	513	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	特になし
----	---	---------	------

(款)2総務費(項)2徴税费(目)2賦課費(細目)163賦課事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	721 財政の的確な運営	平成 16 年度~平成 32 年度	01-02-02-02-163-01
	施策	7212 自主財源の確保と負担の適正化	担当部署	部・課名等
事務事業名	賦課事務経費	財務部課税課	評価責任者・連絡先	課長 松永 知大 0595-22-9614

事務事業の概要	対象	納税義務者		
	目的	自主財源の確保及び税の公平性を保つ。		
	内容	市税賦課業務のうち、納税通知書の封入封緘業務委託、各団体への負担金の支払い等を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	納税通知書等封入封緘等業務委託料	13,116,168円	平成29年度固定資産税納税通知書等印刷製本及び封入封緘等業務委託(京都電子計算株式会社)	5,872,500円
	その他事務経費	4,088,682円	平成28,29年度市・県民税及び軽自動車税納税通知書等印刷製本及び封入封緘等業務委託(協業組合三重印刷センター)	7,243,668円
	計	17,204,850円	軽自動車税等事務共同処理協議会分担金	1,034,318円 他

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	6,271	6,844	6,604	6,853		
	一般財源	10,600	12,005	10,601	11,960		
	合計(A)	16,871	18,849	17,205	18,813		
人件費	正規職員	業務量	4.90 人	4.90 人	4.91 人	4.91 人	
		人件費	36,687	38,176	38,254	38,500	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	36,687	38,176	38,254	38,500		
	合計(A+B)	53,558	57,025	55,459	57,313		
	市民1人当たりのコスト(円)	564	605	589	610		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	特になし
----	---	---------	------

(款)2総務費(項)2徴税费(目)2賦課費(細目)163賦課事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	721 財政の的確な運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-02-02-163-02
	施策	7212 自主財源の確保と負担の適正化	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	住民税賦課事務経費	財務部課税課	課長 松永 知大 0595-22-9613

事務事業の概要	対象	納税義務者																	
	目的	自主財源の確保及び税の公平性を保つ。																	
	内容	適正な市民税の賦課に努め、特に未申告者に対する文書勧告や臨戸調査を実施したほか、確定申告期の申告相談において親切、丁寧な対応に努めました。																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>2,467,605円</td> <td>市民税係臨時職員賃金9人 (内、申告期短期雇用者7人)</td> </tr> <tr> <td>住民税課税データ入力業務委託料</td> <td>6,281,203円</td> <td>平成28年度市県民税課税に関するデータ 入力業務委託(日本電気(株))</td> </tr> <tr> <td>システム等使用料</td> <td>5,409,001円</td> <td>GPRIME住民税等ASPサービス利用料 3,240,000円 他 (日本電気(株))</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>4,901,474円</td> <td>市民税・県民税帳票等印刷((有)中井秀美堂) 681,048円 他</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19,059,283円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	賃金	2,467,605円	市民税係臨時職員賃金9人 (内、申告期短期雇用者7人)	住民税課税データ入力業務委託料	6,281,203円	平成28年度市県民税課税に関するデータ 入力業務委託(日本電気(株))	システム等使用料	5,409,001円	GPRIME住民税等ASPサービス利用料 3,240,000円 他 (日本電気(株))	その他事務経費	4,901,474円	市民税・県民税帳票等印刷((有)中井秀美堂) 681,048円 他	計	19,059,283円
経費	金額	摘要																	
賃金	2,467,605円	市民税係臨時職員賃金9人 (内、申告期短期雇用者7人)																	
住民税課税データ入力業務委託料	6,281,203円	平成28年度市県民税課税に関するデータ 入力業務委託(日本電気(株))																	
システム等使用料	5,409,001円	GPRIME住民税等ASPサービス利用料 3,240,000円 他 (日本電気(株))																	
その他事務経費	4,901,474円	市民税・県民税帳票等印刷((有)中井秀美堂) 681,048円 他																	
計	19,059,283円																		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	16,265	20,198	19,060	19,820	
		合計(A)	16,265	20,198	19,060	19,820	
事業費	人件費	正規職員	業務量 8.78 人	8.78 人	8.40 人	8.40 人	
		人件費	65,736	68,405	65,445	65,865	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	65,736	68,405	65,445	65,865	
合計(A+B)	82,001	88,603	84,505	85,685			
市民1人当たりのコスト(円)		863	940	897	912		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果		達成				

方向	—	課題及び改善案	特になし
----	---	---------	------

(款)2総務費(項)2徴税费(目)2賦課費(細目)163賦課事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	721 財政の的確な運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-02-02-163-03
	施策	7212 自主財源の確保と負担の適正化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	固定資産税賦課事務経費	財務部課税課	評価責任者・連絡先 課長 松永 知大 0595-22-9614

事務事業の概要	対象	納税義務者																	
	目的	自主財源の確保及び税の公平性を保つ。																	
	内容	公平公正な固定資産税の賦課のため、土地及び家屋の現況調査を行い評価を実施するなど、適正な課税客体の把握に努めました。																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賃金</td> <td>2,905,940円</td> <td>資産税係臨時職員賃金 2人</td> </tr> <tr> <td>土地鑑定業務委託料</td> <td>43,999,200円</td> <td>平成28年度固定資産土地評価時点修正に関する 鑑定業務委託((一社)三重県不動産鑑定士協会) 8,089,200円 平成30年度評価替えにかかる標準宅地及びゴルフ場評価における 山林素地標準地の鑑定評価業務委託((一社)三重県不動産鑑定士協会) 35,910,000円</td> </tr> <tr> <td>土地家屋異動修正業務委託料</td> <td>34,957,953円</td> <td>平成30年度評価替えに伴う土地評価等整備業務委託(朝日航洋(株)) 23,826,960円 他</td> </tr> <tr> <td>その他事務経費</td> <td>7,596,792円</td> <td>家屋評価システム12ヶ月使用権(NTT-ATエムタック(株)) 1,062,720円 他</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>89,459,885円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	賃金	2,905,940円	資産税係臨時職員賃金 2人	土地鑑定業務委託料	43,999,200円	平成28年度固定資産土地評価時点修正に関する 鑑定業務委託((一社)三重県不動産鑑定士協会) 8,089,200円 平成30年度評価替えにかかる標準宅地及びゴルフ場評価における 山林素地標準地の鑑定評価業務委託((一社)三重県不動産鑑定士協会) 35,910,000円	土地家屋異動修正業務委託料	34,957,953円	平成30年度評価替えに伴う土地評価等整備業務委託(朝日航洋(株)) 23,826,960円 他	その他事務経費	7,596,792円	家屋評価システム12ヶ月使用権(NTT-ATエムタック(株)) 1,062,720円 他	計	89,459,885円
経費	金額	摘要																	
賃金	2,905,940円	資産税係臨時職員賃金 2人																	
土地鑑定業務委託料	43,999,200円	平成28年度固定資産土地評価時点修正に関する 鑑定業務委託((一社)三重県不動産鑑定士協会) 8,089,200円 平成30年度評価替えにかかる標準宅地及びゴルフ場評価における 山林素地標準地の鑑定評価業務委託((一社)三重県不動産鑑定士協会) 35,910,000円																	
土地家屋異動修正業務委託料	34,957,953円	平成30年度評価替えに伴う土地評価等整備業務委託(朝日航洋(株)) 23,826,960円 他																	
その他事務経費	7,596,792円	家屋評価システム12ヶ月使用権(NTT-ATエムタック(株)) 1,062,720円 他																	
計	89,459,885円																		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0		【特定財源の名称】 複写料
		地方債	0	0	0		
		その他	2	1	1	1	
		一般財源	54,351	93,778	89,459	41,791	
		合計(A)	54,353	93,779	89,460	41,792	
人件費	正規職員	業務量	10.09 人	10.09 人	10.49 人	10.49 人	
		人件費	75,544	78,612	81,728	82,253	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	75,544	78,612	81,728	82,253		
合計(A+B)	129,897	172,391	171,188	124,045			
市民1人当たりのコスト(円)		1,367	1,829	1,816	1,320		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
				目標				
				実績				
	指標化できない成果		達成					

方向	課題及び改善案	現地調査用モバイル機器を効果的に活用することにより、調査を効率的に適正に実施する。
----	---------	---

(款)2総務費(項)2徴税费(目)3徴収費(細目)164徴収事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	721 財政の的確な運営	平成 16 年度~平成 32 年度	01-02-02-03-164-01
	施策	7212 自主財源の確保と負担の適正化	担当 部署	部・課名等 財務部収税課
事務事業名	徴収事務経費		評価責任者・連絡先 課長 一路 勝巳 0595-22-9615	

事務事業の概要	対象	納税義務者		
	目的	適切な徴収業務と滞納整理を行い、市税の収納率の向上を図ります。		
	内容	口座振替の推進、コンビニ収納や夜間延長窓口の開設、通訳を兼ねた納税相談員の雇用を行うなど、納税環境の充実に努めました。 また、自主納付されない場合は文書での催告、電話や窓口での納税相談を実施するとともに、滞納処分等により市税収入の確保に取り組みました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	業務嘱託員報酬	4,894,350円	徴税専門員2人・通訳兼納税相談員1人	
	事務補助員賃金	2,941,730円	収納管理係臨時職員賃金2人	
	印刷製本費	1,401,408円	市税収納関係帳票	
	手数料	6,952,757円	郵便振替・口座振替・コンビニ収納等手数料	
	使用料及び賃借料	4,749,192円	滞納整理システム賃借料	
	負担金	3,844,000円	三重地方税管理回収機構負担金	
	その他事務経費	4,278,436円		
	計	29,061,873円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	10,428	3,141	5,419	5,359	
			一般財源	18,392	31,722	23,643	27,323	
	合計(A)	28,820	34,863	29,062	32,682			
	人件費	正規職員	業務量	9.80 人	9.80 人	9.80 人	9.60 人	
			人件費	73,373	76,352	76,352	75,274	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		73,373	76,352	76,352	75,274			
合計(A+B)	102,193	111,215	105,414	107,956				
市民1人当たりのコスト(円)			1,075	1,180	1,119	1,149		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	市税収納率	各税目を合計した収納率	%	目標		93.34	94.20
				実績	92.92	93.56	94.32
指標化できない成果			達成		100.2%	100.1%	

方向	課題及び改善案	滞納を繰り返さないことが重要であるとの認識のもと、現年課税分については少額のうちに適切な処分を行い、市税収入の確保に取り組みます。
----	---------	---

(款)2総務費(項)2徴税费(目)3徴収費(細目)166過年度市町村税還付金及び還付加算金

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	721 財政の的確な運営	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-02-03-166-51
	施策	7212 自主財源の確保と負担の適正化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	過年度市町村税還付金及び還付加算金	財務部収税課	課長 一路 勝巳 0595-22-9615

事務事業の概要	対象	納税義務者																											
	目的	過年度の市税に発生した過誤納金について、未納がある場合はそれに充当し、それ以外は還付処理を行います。																											
	内容	<p>過年度収納分の市税に対する還付金及び還付加算金等として、過年度市町村税還付金及び還付加算金と配当割等控除還付金及び還付加算金の還付処理を行いました。</p> <p>(還付金内訳)</p> <p>個人住民税(535件) 15,014,279円 法人市民税(179件) 116,300,600円 固定資産税・都市計画税(234件) 13,260,310円 軽自動車税(10件) 35,760円</p>																											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th colspan="2">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市町村税還付金及び還付加算金</td> <td>146,708,258円</td> <td>還付金</td> <td>144,610,949円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>還付加算金(187件)</td> <td>2,042,700円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>督促手数料(62件)</td> <td>5,100円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>延滞金(12件)</td> <td>49,509円</td> </tr> <tr> <td>配当割等控除還付金及び還付加算金</td> <td>6,248,677円</td> <td>配当割等控除還付金(227件)</td> <td>6,248,677円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>152,956,935円</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要		市町村税還付金及び還付加算金	146,708,258円	還付金	144,610,949円			還付加算金(187件)	2,042,700円			督促手数料(62件)	5,100円			延滞金(12件)	49,509円	配当割等控除還付金及び還付加算金	6,248,677円	配当割等控除還付金(227件)	6,248,677円	計	152,956,935円	
経費	金額	摘要																											
市町村税還付金及び還付加算金	146,708,258円	還付金	144,610,949円																										
		還付加算金(187件)	2,042,700円																										
		督促手数料(62件)	5,100円																										
		延滞金(12件)	49,509円																										
配当割等控除還付金及び還付加算金	6,248,677円	配当割等控除還付金(227件)	6,248,677円																										
計	152,956,935円																												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	77,409	92,000	152,957	79,404	
		合計(A)	77,409	92,000	152,957	79,404	
	人件費	正規職員	業務量 2.30 人	2.30 人	2.30 人	2.30 人	
			人件費 17,221	17,920	17,920	18,035	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
			人件費				
		小計(B)	17,221	17,920	17,920	18,035	
		合計(A+B)	94,630	109,920	170,877	97,439	
		市民1人当たりのコスト(円)	996	1,166	1,813	1,037	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果			達成			

方向	—	課題及び改善案	特になし
----	---	---------	------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	722	市民の期待に応えられる人・組織づくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-02-03-01-167-01
	施策	7223	行政サービス機能の充実	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	戸籍住民基本台帳経費	担当部署	人権生活環境部住民課	課長 南 朋子 0595-22-9645

事務事業の概要	対象	伊賀市民、伊賀市に本籍がある人等		
	目的	関係法令に基づき、戸籍・住民記録事務を正確かつ適正に審査・記録・公証するとともに、適切な管理を図る。		
	内容	<p>民法、戸籍法、住民基本台帳法等の規定に基づき、個人情報保護に細心の注意を払いながら事務執行に当たりました。</p> <p>本人通知制度では、委任状偽造による戸籍の不正請求や身元調査防止を目的に、本人や家族以外から戸籍や住民票等を請求された場合に通知を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戸籍関係諸届受理 ・戸籍関係記録管理業務 ・住民基本台帳記録事務 ・郵便請求発行業務 ・本人通知制度に係る事務 ・身上調書及び犯歴事務 <p>検察庁等からの各種通知・本籍の変更・死亡等身分事項の異動により、犯罪人名簿の調整を行いました。</p> <p>行政官庁からの各種資格の許可のため前科照会等は、各法律に照らし合わせて回答しました。</p> <p>犯罪捜査や刑事・民事訴訟に基づく警察・検察庁等からの照会は平等、適正な対応に努めました。</p>		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	共済費	438,824円	事務補助員保険料	
	賃金	2,805,305円	事務補助員賃金	
	旅費	99,140円		
	需用費	2,023,388円	消耗品費 1,949,651円 他	
	委託料	6,260,760円	保守点検委託料	
	使用料及び賃借料	9,586,258円	電算機借上料 9,519,120円 他	
	負担金、補助及び交付金	5,800円	伊賀地区戸籍住民基本台帳事務研究会負担金	
	計	21,219,475円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 特定財源 ・戸籍住民基本台帳人口動態調査事務委託金 ・戸籍関係手数料 ・通知カード再交付手数料 ・個人番号カード再交付手数料 等
			国県支出金	110	94	100	92	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	6,745	6,041	6,029	5,978	
			一般財源	13,973	16,687	15,091	17,119	
	合計(A)	20,828	22,822	21,220	23,189			
	人件費	正規職員	業務量	8.40 人	8.00 人	8.00 人	8.00 人	
			人件費	62,891	62,328	62,328	62,728	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	0.90 人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)	62,891	62,328	62,328	62,728				
合計(A+B)	83,719	85,150	83,548	85,917				
市民1人当たりのコスト(円)			881	904	887	915		

指標	指標名	指標の説明	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標				
					実績			
	指標化できない成果			達成				

方向	—	課題及び改善案 関係法令等に精通した職員の配置や業務マニュアルを活用することにより、迅速かつ正確に事務処理を行い、質の高い窓口サービスを提供します。
-----------	---	---

整理番号	(款)2総務費(項)3戸籍住民基本台帳費(目)1戸籍住民基本台帳費(細目)677社会保障・税番号 制度普及経費	決算書頁
120 - 0		197

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	722 市民の期待に応えられる人・組織づくり	平成 27 年度～平成 32 年度	01-02-03-01-677-01
	施策	7223 行政サービス機能の充実	担当部署	部・課名等
事務事業名	社会保障・税番号制度普及経費	人権生活環境部住民課	評価責任者・連絡先	課長 南 朋子 0595-22-9645

事務事業の概要	対象	伊賀市民、マイナンバーカードの交付申請をした人		
	目的	マイナンバーカードを適正に交付する。		
	内容	<p>マイナンバー制度が施行され、通知カードが送付され、平成28年2月からマイナンバーカードの交付を開始しました。 市へ返戻された通知カードの受け取りについて、未交付をなくす取り組みを行いました。 (平成28年3月31日現在:未交付率1.9%) マイナンバーカード交付申請をされた方へのマイナンバーカードの交付を平成28年2月から開始しました。 (交付枚数:6544枚 平成29年3月31日現在)</p> <p>地方公共団体情報システム機構への通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る市町村の交付金を支払いました。(交付金に対しては、国庫補助金10/10) 通知カード・個人番号カード関連事務経費交付金 23,321,200円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	備考	
	共済費	576,561円	事務補助員保険料	
	賃金	5,068,940円	事務補助員賃金	
	委託料	691,200円	情報機器設定業務委託料(NEC)	
	備品購入費	714,960円	機械器具購入費 660,960円 他	
	計	7,051,661円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	29,658	8,749	4,809	9,327	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	2,311	459	2,243	3,381	
	合計(A)	31,969	9,208	7,052	12,708		
	人件費	正規職員	業務量 2.19 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
		人件費	16,397	15,582	15,582	15,682	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
小計(B)	16,397	15,582	15,582	15,682			
合計(A+B)	48,366	24,790	22,634	28,390			
市民1人当たりのコスト(円)	509	263	241	303			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果			達成			

方向	課題及び改善案	マイナンバーカードの普及を積極的に推進し、コンビニ交付サービスでの交付率を高め、市民の利便性の向上を図る必要があります。
----	---------	--

整理番号	(款)2総務費(項)3戸籍住民基本台帳費(目)1戸籍住民基本台帳費(細目)677社会保障・税番号 制度普及経費	決算書頁
121 - 0		197

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	722 市民の期待に応えられる人・組織づくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-03-01-677-01
	施策	7223 行政サービス機能の充実	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
事務事業名	社会保障・税番号制度普及経費(繰越明許費分)		人権生活環境部住民課	課長 南 朋子 0595-22-9645

事務事業の概要	対象	伊賀市民、マイナンバーカードの交付申請をした人		
	目的	マイナンバーカードを適正に交付する。		
	内容	<p>マイナンバー制度が施行され、通知カードが送付され、平成28年2月からマイナンバーカードの交付を開始しました。 市へ返戻された通知カードの受け取りについて、未交付をなくす取り組みを行いました。 (平成29年3月31日現在:未交付率1.9%) 平成28年2月から、マイナンバーカード交付申請をされた方へカードを交付しています。 (交付枚数:6544枚 平成29年3月31日現在)</p> <p>地方公共団体情報システム機構への通知カード・個人番号カード関連事務の委任に係る市町村の交付金を支払いました。(交付金に対しては、国庫補助金10/10) 通知カード・個人番号カード関連事務経費交付金 23,321,200円</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	共済費	119,000円		
	賃金	854,000円		
	需用費	116,532円		
	役務費	114,230円		
	負担金、補助及び交付金	14,572,200円		
	計	15,775,962円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金		24,594	14,019		
			地方債		0	0		
			その他		0	0		
			一般財源		0	1,757		
	合計(A)	0	24,594	15,776	0			
	人件費	正規職員	業務量	人	2.00 人	2.00 人	人	
			人件費	0	15,582	15,582	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	15,582	15,582	0			
合計(A+B)	0	40,176	31,358	0				
市民1人当たりのコスト(円)			0	427	333	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果			達成			

方向	完了	課題及び改善案
----	----	---------

整理番号
122 - 0

決算書頁
197

(款)2総務費(項)4選挙費(目)2選挙啓発費(細目)171選挙啓発経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	999	政策なし	平成 16 年度～平成 32 年度 01-02-04-02-171-51
	施策	9999	施策なし	
	事務事業名	選挙啓発経費		担当部署 選挙管理委員会事務局 評価責任者・連絡先 書記次長 前田 康人 0595-22-9601

事務事業の概要	対象	市内在住の有権者及び未来の有権者											
	目的	有権者の政治や選挙への意識の向上を図り、選挙が選挙人の自由な意思によって公正かつ適正に行われるよう政治意識の向上に努める。											
	内容	選挙権の年齢引下げの法改正を踏まえ高校への出前講座を実施しました。また、選挙時における街頭啓発を実施し、投票率の向上や公正な選挙の実現を図りました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報償費</td> <td>2,500円</td> <td>賞品及び記念品</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>90,000円</td> <td>消耗品費</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>92,500円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	報償費	2,500円	賞品及び記念品	需用費	90,000円	消耗品費	計	92,500円
経費	金額	摘要											
報償費	2,500円	賞品及び記念品											
需用費	90,000円	消耗品費											
計	92,500円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)																														
		直接事業費	<table border="1"> <tr><td>国県支出金</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>地方債</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>一般財源</td><td>113</td><td>187</td><td>93</td><td>161</td></tr> <tr><td>合計(A)</td><td>113</td><td>187</td><td>93</td><td>161</td></tr> </table>	国県支出金	0	0		0	0	地方債	0	0	0	0	その他	0	0	0	0	一般財源	113	187	93	161	合計(A)	113	187	93	161								
国県支出金	0	0	0	0																																	
地方債	0	0	0	0																																	
その他	0	0	0	0																																	
一般財源	113	187	93	161																																	
合計(A)	113	187	93	161																																	
人件費	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">正規職員</td> <td>業務量</td> <td>0.00 人</td> <td>0.00 人</td> <td>0.00 人</td> <td>0.00 人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨時・嘱託・再雇用職員</td> <td>業務量</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小計(B)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計(A+B)</td> <td>113</td> <td>187</td> <td>93</td> <td>161</td> </tr> </table>	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	人件費	0	0	0	0	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	人件費					小計(B)	0	0	0	0	合計(A+B)	113	187	93	161				
正規職員	業務量		0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人																															
	人件費	0	0	0	0																																
臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人																																
	人件費																																				
小計(B)	0	0	0	0																																	
合計(A+B)	113	187	93	161																																	
市民1人当たりのコスト(円)		2	2	1	2																																

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	各選挙において候補者の数や争点、選挙人の年齢等、条件が違うため	目標						
		実績						
指標化できない成果	達成							

方向	改善	課題及び改善案	期日前投票所の設置場所及び期間の周知を行い、投票率向上に繋げる。
----	----	---------	----------------------------------

整理番号
123 - 0

決算書頁
199

(款)2総務費(項)4選挙費(目)3参議院議員選挙費(細目)178参議院議員選挙執行経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	999	政策なし	平成 28 年度～平成 28 年度 01-02-04-03-178-51
	施策	9999	施策なし	
	事務事業名	参議院議員選挙執行経費		担当部署 選挙管理委員会事務局 評価責任者・連絡先 書記次長 前田 康人 0595-22-9601

事務事業の概要	対象	伊賀市の選挙人名簿に登録されている有権者		
	目的	参議院議員選挙の執行を適正に行う。		
	内容	参議院議員通常選挙の執行にあたり、選挙人が投票しやすい環境を整えました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	4,407,900円		
	職員手当等	17,814,567円	時間外勤務手当など	
	委託料	12,192,306円	ポスター掲示場設置及び撤去業務委託料 など	5,380,560円
	役務費	3,533,780円	通信運搬費 など	2,582,462円
	その他経費	6,930,744円		
	計	44,879,297円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		直接事業費	国県支出金		53,839	41,995		
	地方債		0	0				
	その他		0	0				
	一般財源		0	2,885				
	合計(A)		0	53,839	44,880	0		
人件費	正規職員	業務量	人	0.00	人	0.00	人	
		人件費	0	0	0	0		
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
		人件費						
	小計(B)		0	0	0	0		
	合計(A+B)		0	53,839	44,880	0		
市民1人当たりのコスト(円)			0	572	477	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	各選挙において候補者の数や争点、選挙人の年齢等、条件が違うため	目標						
		実績						
指標化できない成果	達成							

方向	改善	課題及び改善案	各投票区の費用対効果においてバランスが取れていない投票区があるため、投票区の再編が必要。
----	----	---------	--

(款)2総務費(項)4選挙費(目)4市長選挙費(細目)173市長選挙執行経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	999 政策なし	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-04-04-173-51
	施策	9999 施策なし	担当部署	部・課名等
事務事業名	市長選挙執行経費	選挙管理委員会事務局	評価責任者・連絡先	書記次長 前田 康人 0595-22-9601

事務事業の概要	対象	伊賀市の選挙人名簿に登録されている有権者		
	目的	伊賀市長選挙を適正に執行する。		
	内容	市長選挙の執行にあたり、投開票事務に誤りがないよう、適正な管理を行いました。また、選挙人が投票しやすい環境を整えました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報酬	4,051,050円	投票立会人等報酬	
	職員手当等	13,571,070円	時間外勤務手当など	
	委託料	10,868,800円	ポスター掲示場設置及び撤去業務委託料 など 7,236,000円	
	負担金、補助及び交付金	3,296,775円	はがき郵送負担金 など 1,248,000円	
	その他経費	9,119,781円		
	計	40,907,476円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
直接事業費	国県支出金		0	0		
	地方債		0	0		
	その他		0	0		
	一般財源		55,814	40,908		
	合計(A)	0	55,814	40,908	0	
人件費	正規職員	業務量 人	0.00 人	0.00 人	人	
	人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
	人件費					
	小計(B)	0	0	0	0	
合計(A+B)	0	55,814	40,908	0		
市民1人当たりのコスト(円)		0	593	434	0	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
各選挙において候補者の数や争点、選挙人の年齢等、条件が違いため			目標			
			実績			
指標化できない成果			達成			

方向	改善	課題及び改善案	投票率は過去最高を記録した。引き続き、候補者情報を提供するとともに、期日前投票所の設置場所及び期間の周知を行い、投票率向上に繋げる。 また、各投票区の費用対効果においてバランスが取れていない投票区があるため、投票区の再編が必要。
----	----	---------	---

整理番号
125 - 0

決算書頁
201

(款)2総務費(項)4選挙費(目)5市議会議員選挙費(細目)174市議会議員選挙執行経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	999 政策なし	平成 28 年度～平成 28 年度	01-02-04-05-174-51
	施策	9999 施策なし	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	市議会議員選挙執行経費		選挙管理委員会事務局

事務事業の概要	対象	伊賀市の選挙人名簿に登録されている有権者		
	目的	伊賀市議会議員一般選挙を適正に執行する。		
	内容	市議会議員一般選挙の執行にあたり、投開票事務に誤りがないよう、適正な管理を行いました。また、選挙人が投票しやすい環境を整えました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	報酬	4,112,650円	投票立会人等報酬	
	職員手当等	14,786,412円	時間外勤務手当など	
	委託料	33,943,258円	ポスター掲示場設置及び撤去業務委託料	30,348,000円
	負担金、補助及び交付金	21,172,811円	ポスター作成負担金	11,842,805円
	その他経費	9,889,695円	など	
	計	83,904,826円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金		0	0	
		地方債		0	0	
		その他		0	0	
		一般財源		113,732	83,905	
		合計(A)	0	113,732	83,905	
事業費	人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	人
			人件費	0	0	0
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人
			人件費			
		小計(B)	0	0	0	0
合計(A+B)		0	113,732	83,905	0	
市民1人当たりのコスト(円)		0	1,207	891	0	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	各選挙において候補者の数や争点、選挙人の年齢等、条件が違うため	目標				
		実績				
		達成				
指標化できない成果						

方向	改善	課題及び改善案	投票率は過去最低を記録した。引き続き、候補者情報を提供するとともに、期日前投票所の設置場所及び期間の周知を行い、投票率向上に繋げる。 また、各投票区の費用対効果においてバランスが取れていない投票区があるため、投票区の再編が必要。
----	----	---------	---

整理番号
126 - 0

決算書頁
205

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)183社会福祉一般事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-183-01
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	社会福祉一般事務経費	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	市民																							
	目的	地域における犯罪予防活動の推進に対する業務などを円滑に行う。																							
	内容	<p>【生活支援課】 旅行者に対する緊急移送費の支給及び引き取り手のない遺体の処理を行いました。</p> <p>【障がい福祉課】 障がい福祉システムをリースし、円滑な給付等事務処理を行うため、リース料及び保守委託料を支払いました。</p> <p>【医療福祉政策課】 保健、医療、福祉、年金、所得等の基礎的事項を3年に一度、全国的に調査する平成28年度国民生活基礎調査について、厚生労働省から指定された市内調査対象地区において調査員を任命し、調査を行いました。その他、部内及び課の庶務に関する経費としています。</p> <p>【各支所住民福祉課】 課の庶務に関する経費としています。</p>																							
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅行者移送費</td> <td>18,883円</td> <td>交通費等</td> </tr> <tr> <td>墓地埋葬法にかかる死亡人取扱費</td> <td>520,930円</td> <td>火葬費用、霊安室使用料等</td> </tr> <tr> <td>事務機器保守点検委託料</td> <td>1,347,840円</td> <td>障がい福祉システム運用保守委託料 委託先:(株)松阪電子計算センター</td> </tr> <tr> <td>システム等使用料</td> <td>3,937,248円</td> <td>障がい福祉システム使用料及び賃借料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>648,000円</td> <td>障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>910,432円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,383,333円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅行者移送費	18,883円	交通費等	墓地埋葬法にかかる死亡人取扱費	520,930円	火葬費用、霊安室使用料等	事務機器保守点検委託料	1,347,840円	障がい福祉システム運用保守委託料 委託先:(株)松阪電子計算センター	システム等使用料	3,937,248円	障がい福祉システム使用料及び賃借料		648,000円	障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料	その他経費	910,432円		計	7,383,333円
経費	金額	摘要																							
旅行者移送費	18,883円	交通費等																							
墓地埋葬法にかかる死亡人取扱費	520,930円	火葬費用、霊安室使用料等																							
事務機器保守点検委託料	1,347,840円	障がい福祉システム運用保守委託料 委託先:(株)松阪電子計算センター																							
システム等使用料	3,937,248円	障がい福祉システム使用料及び賃借料																							
	648,000円	障害福祉サービス請求内容チェックシステム賃借料																							
その他経費	910,432円																								
計	7,383,333円																								

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	530	1,047	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	113	100	330	100		
	一般財源	6,991	7,117	6,787	8,540		
	合計(A)	7,634	8,264	7,384	9,687		
人件費	正規職員	業務量	1.95 人	1.95 人	1.75 人	1.75 人	
		人件費	14,600	15,193	13,635	13,722	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	14,600	15,193	13,635	13,722		
	合計(A+B)	22,234	23,457	21,019	23,409		
	市民1人当たりのコスト(円)	234	249	223	250	国県支出金 墓地埋葬法第9条負担金(県)194,098円 社会福祉統計調査費交付金(県)72,981円 その他 社会福祉事業寄付金24,000円 墓地埋葬法にかかる葬祭費用300,232円 協議会等参加負担金6,500円	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				目標			
				実績			
	指標化できない成果	様々な事業が入り組んでいるため、指標化できない		達成			

方向	改善	課題及び改善案 社会福祉一般事務経費として、事業を行っている課、庶務的な経費のみの課など、事務事業の内容が課によって異なっているため、平成27年度から内容を整理しているが、今後も第2次再生計画における基本事業や組織見直し等に合わせて、さらに内容を整理する必要がある。
----	----	--

整理番号	(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)183社会福祉一般事務経費、(款)3地域支援事業費(項)2包括的支援事業・任意事業費(目)4包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費(細目)579包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費	決算書頁
127 - 0		205・421

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 26 年度～平成 32 年度 01-03-01-01-183-02、09-03-02-04-579-02
	施策	1201	官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり	
事務事業名	福祉総合相談支援事業	担当部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
			健康福祉部福祉相談調整課	課長 川出 敦子 0595-22-9668

事務事業の概要	対象	支援困難事例を支援する支援者		
	目的	支援困難事例について支援者間の支援体制を確立するとともに、個別課題から地域課題の抽出を行う。		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 調整担当による支援困難事例の調整(社会福祉士 正規職員1名、法人からの出向1名 計2名) ①相談事案調整会議 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 26回 ②高齢者及び障がい者虐待検討委員会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催回数 96回 ・担当者会議の開催回数 6回 ③地域ケア会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討回数 6回 ・運営会議の開催回数 19回 ・担当者会議の開催回数 6回 ④資質向上の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉部事例検討会の開催回数 12回 		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	14,060円	研修会参加旅費など	
	消耗品費	285,886円	事務用品	
	燃料費	109,860円	公用車ガソリン代	
	障がい者虐待防止相談委託料	15,000円	三重県高齢者・障がい者虐待防止チーム	
	福祉総合相談事業負担金	3,757,745円	出向職員(社会福祉士)負担金(H28. 4～9) (福)伊賀市社会福祉協議会 1名	
	その他経費	58,300円	備品購入費など	
	計	4,240,851円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
			国県支出金	39	48	47	48		地域支援事業費 地域支援事業交付金 平成29年度当初予算は、 09-03-02-04-595-01 地域ケア会議事業費を含む。
			地方債	0	0	0	0		
			その他	15	18	17	18		
			一般財源	6,338	5,081	4,177	5,081		
	合計(A)	6,392	5,147	4,241	5,147				
	人件費	正規職員	業務量	1.30 人	2.00 人	1.41 人	1.88 人		
			人件費	9,734	15,582	10,986	14,742		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		9,734	15,582	10,986	14,742				
合計(A+B)	16,126	20,729	15,227	19,889					
市民1人当たりのコスト(円)			170	220	162	212			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	会議開催回数	①相談事案調整会議、②高齢者及び障がい者虐待検討委員会、③地域ケア会議開催の回数の合計	回	目標		200	200	160
				実績	190	232	159	
指標化できない成果			達成		116.0%	79.5%		

方向	継続	課題及び改善案
		<ul style="list-style-type: none"> 関係職員の研修回数を増やし、会議の精度向上と人材育成を図ります。 引き続き、支所開催の地域ケア会議の運営支援を行います。 高齢者及び障がい者虐待の支援者に対する正しい知識の普及啓発を図ります。 <p>* 会議開催回数は前年度実績より伸びることが必ずしも良いわけではないので、想定適正件数を指標とします。</p>

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)183社会福祉一般事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-183-03
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	犯罪非行防止啓発経費	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	市民								
	目的	地域における犯罪予防活動の推進に対する業務などを円滑に行う。								
	内容	<p>第66回「社会を明るくする運動」伊賀市推進委員会の運営及び街頭啓発活動等の支援を行いました。</p> <p>保護司法に基づき組織された伊賀保護司会に助成金を交付し、保護司の活動をサポート及び伊賀保護司会の活動・運営支援を行いました。</p> <p>*伊賀保護司会：保護司は法務大臣の委嘱を受けた非常勤無報酬の国家公務員であり、犯罪や非行を行った人々の社会的立ち直りを地域で支えている。保護司会は、その職務の円滑かつ効果的な遂行することを目的として設立した団体で、伊賀市内に配属されている保護司47名(平成29年3月31日現在)で構成されている(2年任期)。</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護司会活動助成金</td> <td>700,000円</td> <td>伊賀保護司会</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>700,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	保護司会活動助成金	700,000円	伊賀保護司会	計	700,000円
経費	金額	摘要								
保護司会活動助成金	700,000円	伊賀保護司会								
計	700,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金		0	0	0	
			地方債		0	0	0	
			その他		0	0	0	
			一般財源		314	700	700	
	合計(A)		0	314	700	700		
	人件費	正規職員	業務量	人	0.20 人	0.20 人	0.10 人	
			人件費	0	1,559	1,559	785	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		0	1,559	1,559	785			
合計(A+B)		0	1,873	2,259	1,485			
市民1人当たりのコスト(円)		0	20	24	16			

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	社明運動協賛事業及び実施事業支援団体数	社明運動を推進する事業を実施した団体数(財源は委員会実施の募金収入)	団体数	目標		-	-	25
				実績	-	-	24	
指標化できない成果	平成28年度実績から指標を設定	達成		-	-			

方向	改善	<p>課題及び改善案</p> <p>社会経済状況の変化、格差社会の拡大に伴い、犯罪や非行の低年齢化など、再犯防止を含む保護司活動の重要性は増している。しかし、今後の犯罪予防に関し、他の団体等と協働して行っているが、業務内容や費用負担のあり方について、他団体と調整しつつ、自主的な運営に繋がるよう調整を進めていく必要がある。</p>
----	----	---

整理番号
129 - 0

決算書頁
205

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)183社会福祉一般事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-183-51
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	社会福祉協議会関係経費	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	地域住民、支援を必要とする市民、ボランティアなどの活動をしようとする市民など		
	目的	社会福祉協議会が地域住民が行う地域福祉活動への支援を行い、身近な地域で福祉サービスが受けられるようにする。		
	内容	地域が抱えているさまざまな福祉課題を解決するため、社会福祉法第109条に基づき社会福祉協議会が担う役割として行う地域福祉活動支援に対する補助を行いました。		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	伊賀市社会福祉協議会職員設置等事業補助金			
	うち人件費に係る分	92,113,000円	正規職員15.36人分 臨時職員6.27人分	
	うち事業費に係る分	20,264,718円		
	計	112,377,718円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	30,000	0	32,050	
		一般財源	107,855	79,463	112,378	55,845	
		合計(A)	107,855	109,463	112,378	87,895	
	人件費	正規職員	業務量 0.65 人	0.65 人	0.60 人	0.60 人	
		人件費	4,867	5,065	4,675	4,705	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人	
		人件費					
		小計(B)	4,867	5,065	4,675	4,705	
		合計(A+B)	112,722	114,528	117,053	92,600	
		市民1人当たりのコスト(円)	1,186	1,215	1,242	986	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	地域予防対応力		医療や介護が必要な状態を予防するために、地域全体で諸施策に取り組む力	ポイント	目標	-	-	自助2,995.1 互助35.4
					実績	自助3016.8 互助29.7	自助2,844 互助31.0	自助2,960.2 互助34.1
指標化できない成果	平成29年度から目標値を設定		達成	-	-			

方向	改善	課題及び改善案	社会福祉法第109条に基づく地域福祉活動支援に対する補助であるので、社会や市民のニーズ・社会情勢の変化による事業効果への影響を常に把握し、柔軟に対応する必要がある。
----	----	---------	--

整理番号
130 - 0

決算書頁
205

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)183社会福祉一般事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-183-52
	施策	1205	だれもが自分らしく暮らせるまちづくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	ユニバーサルデザイン事業	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	市民											
	目的	障がいの有無、年齢、性別等に関わらず、全ての市民が社会のあらゆる分野の活動に参加でき、安全且つ快適な生活を営むことができるまちづくりをめざす。											
	内容	<p>ユニバーサルデザイン(以下「UD」という。)の理念や取り組みを、市職員をはじめ、市民に対し普及啓発するため、まず、市の全職員及び社会福祉法人職員に対し、UDに関するチェックシートにより、その認知度を測るとともに、研修会を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザイン職員研修会(平成29年3月17日) 演題:ユニバーサルデザインを体感する 講師:徳島大学大学院 白山教授 参加者数:84人 ユニバーサルデザイン庁内推進委員会を開催しました(平成28年12月21日)。 											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>謝礼</td> <td>100,000円</td> <td>職員研修講師分</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>21,292円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>121,292円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	謝礼	100,000円	職員研修講師分	その他経費	21,292円		計	121,292円
経費	金額	摘要											
謝礼	100,000円	職員研修講師分											
その他経費	21,292円												
計	121,292円												

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	157	162	122	162	
		合計(A)	157	162	122	162	
	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.20 人	0.20 人	
		人件費	3,744	3,896	1,559	1,569	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人
		人件費					
		小計(B)	3,744	3,896	1,559	1,569	
		合計(A+B)	3,901	4,058	1,681	1,731	
		市民1人当たりのコスト(円)	42	44	18	19	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	研修会開催回数		全職員を対象とした理念や取り組みの周知(継続して職員周知の機会を作ること为目标とする。)	回	目標		1	1
					実績	1	1	1
	指標化できない成果		達成		100.0%	100.0%		

方向	<p>充実</p> <p>課題及び改善案</p> <p>全職員がユニバーサルデザインを意識して業務をする必要があるが、現在、ユニバーサルデザインについて説明できる人は、半数弱であるため、今後も継続して啓発等に取り組み、全庁的にユニバーサルデザインを意識するとともに、市民への啓発につなげる。</p>
----	--

整理番号
131 - 0

決算書頁
205

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)183社会福祉一般事務経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えあふまちづくり	平成 25 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-183-53
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	社会福祉法人認可・指導監査事業		健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先 課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	社会福祉法人														
	目的	社会福祉法人の指導監査に対する業務などを行い、効果的かつ適正に、継続的な福祉サービスを供給する。														
	内容	<p>平成25年4月より、社会福祉法人の許認可及び指導監査が県から市へ権限委譲されました。社会福祉法人は、確実、効果的かつ適正に、継続的な福祉サービスを供給していく責務が求められています。</p> <p>市内14社会福祉法人のうち、8社会福祉法人が市の監査対象となっているため、関連法令や通知に基づいて、法人運営や事業経営が行われているのかを監査し、必要な指導や助言により、適正な法人運営と社会福祉事業の経営安定性の確保を図りました。また、監査結果の評価や各法人の状況を把握するため、年度末に「伊賀市指導監査調整会議」を開催しました。</p> <p>・平成28年度監査実施法人数 4法人</p>														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務補助員賃金</td> <td>219,580円</td> <td>1人分</td> </tr> <tr> <td>監査支援業務委託料</td> <td>1,188,000円</td> <td>委託先:新日本有限責任監査法人名古屋事務所</td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>40,829円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,448,409円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	事務補助員賃金	219,580円	1人分	監査支援業務委託料	1,188,000円	委託先:新日本有限責任監査法人名古屋事務所	その他経費	40,829円		計	1,448,409円
経費	金額	摘要														
事務補助員賃金	219,580円	1人分														
監査支援業務委託料	1,188,000円	委託先:新日本有限責任監査法人名古屋事務所														
その他経費	40,829円															
計	1,448,409円															

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	6	0	0	0		
	一般財源	893	1,440	1,449	2,231		
	合計(A)	899	1,440	1,449	2,231		
人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.20 人	1.20 人	1.50 人	
		人件費	7,487	9,350	9,350	11,762	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	7,487	9,350	9,350	11,762		
	合計(A+B)	8,386	10,790	10,799	13,993		
市民1人当たりのコスト(円)			89	115	115	149	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	社会福祉法人指導監査指摘数		社会福祉法人の指導監査における指摘総数	件	目標		46	40
					実績	32	27	31
指標化できない成果			達成		58.7%	77.5%		

方向	<p>充実</p> <p>課題及び改善案</p> <p>平成28年4月の社会福祉法等の改正により、福祉サービスの供給体制の整備及び充実を図るため、社会福祉法人制度改革や福祉人材の確保促進を図ることとされたことから、さらに指導監査の重要性が高くなり、行政の指導内容がますます複雑化してきた。そのため、これまで以上に継続して監査法人からの、助言や指導が必要となってきている。</p>
----	--

整理番号	132 - 0	決算書頁	207
(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)184社会福祉施設維持管理経費			

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-184-01
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	いがまち保健福祉センター維持管理経費		伊賀支所住民福祉課	課長 三根 久美子 0595-45-9104	

事務事業の概要	対象	保健・地域福祉事業に参加する市民や保健・地域福祉活動団体会員等		
	目的	保健・地域福祉事業を総合的に推進し、市民の福祉増進と健康保持、健康意識の向上を図る		
	内容	<p>いがまち保健福祉センター施設及び設備の適切な維持管理を行いました。施設内には、地域包括支援センター東部サテライト、いがまち子育て支援センターを設置し、福祉相談業務や介護予防支援事業、子育て支援事業等を実施しています。また、施設の一部を利用して伊賀市社会福祉協議会が各種福祉事業やデイサービス等の介護保険事業を実施しています。</p> <p>行政や民間、ボランティア団体等が一体となって保健・地域福祉推進活動を推進し、平成28年度の研修室や栄養実習室等の利用回数は795回、利用者数は15,203人でした。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	14,388,796円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	
	役務費	235,126円	通信運搬費、手数料	
	委託料	5,687,496円	施設設備保守点検業務、施設維持管理業務、警備業務	
	使用料及び賃借料	123,850円	AED、NHK・CATV受信料	
	計	20,435,268円		

全体コスト(千円)	事業費	直接事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			国県支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	0	0	0	
			その他	11,193	12,170	11,025	11,079	
			一般財源	8,665	9,630	9,411	8,766	
	合計(A)	19,858	21,800	20,436	19,845			
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
			人件費	2,247	2,338	2,338	2,353	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
			人件費					
小計(B)		2,247	2,338	2,338	2,353			
合計(A+B)	22,105	24,138	22,774	22,198				
市民1人当たりのコスト(円)			233	257	242	237		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	施設の利用回数	集団指導室、乳幼児教育質、健康相談室、栄養実習室、集会室、研修室、会議室、プレイルームの利用回	回	目標		800	800
				実績	766	818	795
指標化できない成果			達成		102.3%	99.4%	

方向	継続	課題及び改善案	いがまち保健福祉センターは平成9年度に建設された施設であるため、設備も含めて老朽化による修繕箇所が年々増加しています。市の財政状況により予算確保も厳しい現状ですが、耐用年数の経過による設備等、大規模改修が必要な時期を迎えています。
----	----	---------	---

整理番号
133 - 0

決算書頁
207

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)184社会福祉施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-184-02
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	阿山保健福祉センター維持管理経費		阿山支所住民福祉課	評価責任者・連絡先 課長 中川 雅尋 0595-43-0333

事務事業の概要	対象	保健・地域福祉事業に参加する市民や保健福祉活動団体会員等																				
	目的	保健・地域福祉事業を総合的に推進し、市民の福祉増進と健康保持、健康意識の向上を図る																				
	内容	<p>阿山保健福祉センター施設及び設備の適切な維持管理を行いました。保健・地域福祉推進活動の場として、行政や民間、ボランティア団体等が開催する会議や講演会、研修会等の会場として貸し出しました。平成28年度において、ホールや栄養指導室、会議室等の利用回数は325回、利用者数は12,270人でした。</p> <p>また、施設内にあやま子育て支援センターが設置されているほか、伊賀市社会福祉協議会が施設の一部を利用して各種福祉事業や、デイサービス等の介護保険事業を実施しました。</p>																				
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>8,869,860円</td> <td>消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>102,813円</td> <td>通信運搬費</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>5,648,940円</td> <td>施設設備保守点検、施設維持管理、警備業務委託料</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>116,175円</td> <td>玄関マット等借り上げ、テレビ受信料</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>46,980円</td> <td>ガス警報機購入</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,784,768円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	需用費	8,869,860円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料	役務費	102,813円	通信運搬費	委託料	5,648,940円	施設設備保守点検、施設維持管理、警備業務委託料	使用料及び賃借料	116,175円	玄関マット等借り上げ、テレビ受信料	備品購入費	46,980円	ガス警報機購入	計	14,784,768円
経費	金額	摘要																				
需用費	8,869,860円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料																				
役務費	102,813円	通信運搬費																				
委託料	5,648,940円	施設設備保守点検、施設維持管理、警備業務委託料																				
使用料及び賃借料	116,175円	玄関マット等借り上げ、テレビ受信料																				
備品購入費	46,980円	ガス警報機購入																				
計	14,784,768円																					

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
			直接事業費	国県支出金	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	4,840	5,317	4,704	5,381		
	一般財源	8,944	12,103	10,081	9,459		
	合計(A)	13,784	17,420	14,785	14,840		
人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.30 人	0.30 人	0.30 人	
		人件費	2,247	2,338	2,338	2,353	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	2,247	2,338	2,338	2,353		
	合計(A+B)	16,031	19,758	17,123	17,193		
市民1人当たりのコスト(円)			169	210	182	183	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設の利用回数		ホール、健康相談室、栄養指導室、会議室、健康指導室、機能回復訓練室、栄養実習室の利用回数	回	目標		350	350
					実績	397	376	325
指標化できない成果			達成		107.4%	92.9%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案 建設後17年が経過し、経年劣化による施設及び設備の修繕が増えてきています。公共施設最適化計画において、支所機能、市民センター機能の移転先と位置づけられており、施設及び設備の大規模改修についても検討が必要となってきます。</p>
----	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)184社会福祉施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-184-03
	施策	1204 医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
事務事業名	青山福祉センター維持管理経費	担当部署	青山支所住民福祉課	評価責任者・連絡先 課長 奥 早百合 0595-52-3228

事務事業の概要	対象	地域住民及び社会福祉法人、社会福祉団体		
	目的	社会福祉事業を総合的に推進し、市民福祉の増進を図る。		
	内容	<p>青山福祉センターは社会福祉事業を総合的に推進し、市民福祉の増進を図るための拠点施設です。施設の維持管理を行うことにより、目的外使用許可をしている2団体(伊賀市社会福祉協議会・社会福祉法人青山福祉会)の利用に伴う事業活動に支障がないよう努めました。</p> <p>維持管理の内訳として、光熱水費・修繕料等の支出及び施設設備保守点検8件・施設維持管理4件の委託を実施しました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	9,135,781円	光熱水費、修繕料、消耗品費、燃料費	
	役務費	214,219円	電話料金、汚泥引抜き手数料、草処分費他	
	委託料	4,264,568円	施設設備保守点検委託料 施設維持管理委託料 樹木剪定伐採等委託料 警備業務委託料	
	計	13,614,568円		

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	【特定財源】 ・電気等使用料(自動販売機の設置) ・福祉施設使用料(伊賀市社会福祉協議会、青山福祉会の電気ガス等使用料、施設使用料)	
		地方債	0	0	0		
		その他	10,021	11,225	11,269		9,872
		一般財源	5,297	6,375	2,346		5,798
		合計(A)	15,318	17,600	13,615		15,670
人件費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人		0.10 人
		人件費	749	780	780		785
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人		人
		人件費					
	小計(B)	749	780	780	785		
合計(A+B)	16,067	18,380	14,395	16,455			
市民1人当たりのコスト(円)		170	195	153	176		

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
指標	施設利用回数により維持管理経費との関係	件	目標		450	450	400
			実績	497	427	376	
指標化できない成果		達成		94.9%	83.6%		

方向	継続	課題及び改善案	青山福祉センターは、地域福祉活動を進めていく拠点施設であり、専門的な知識を持つ伊賀市社会福祉協議会、青山福祉会に場所を提供してデイサービス事業を中心とした福祉事業を実施しています。年数経過により、設備機器の故障や雨漏り等が見られ必要最小限の修繕にとどめ経費縮減に努力しています。
----	----	---------	---

整理番号
135 - 0

決算書頁
207

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)184社会福祉施設維持管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 30 年度	01-03-01-01-184-04
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	大山田福祉センター維持管理経費		大山田支所住民福祉課	評価責任者・連絡先 課長 中 ひとみ 0595-47-1151

事務事業の概要	対象	地域住民や福祉団体会員								
	目的	地域の高齢者をはじめ健康増進と世代間交流の活動を支援し福祉向上を図る								
	内容	<p>大山田福祉センターでは、社会福祉協議会の大山田地域センターとして地域福祉コーディネーター2人体制で地域支援に取り組んでいます。 平成28年度、当施設の延べ利用回数は274回、延べ利用人数は5,829人でした。</p>								
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>1,755,000円</td> <td>指定管理委託料 (社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,755,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	委託料	1,755,000円	指定管理委託料 (社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会)	計	1,755,000円
経費	金額	摘要								
委託料	1,755,000円	指定管理委託料 (社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会)								
計	1,755,000円									

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	1,899	1,755	1,755	1,755		
	合計(A)	1,899	1,755	1,755	1,755		
人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	0	0	0	0		
	合計(A+B)	1,899	1,755	1,755	1,755		
		市民1人当たりのコスト(円)	20	19	19	19	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	施設の利用回数	施設の利用回数により維持管理経費との関係性	件	目標		200	200	280
				実績	199	219	274	
	指標化できない成果		達成		109.5%	137.0%		

方向	縮小	課題及び改善案	公共施設最適化計画第Ⅱ期実行計画では支所機能として使用するよう計画されていることから、施設改修等を適宜実施し健全な維持管理を実施する。
----	----	---------	---

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)185地域福祉推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 18 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-185-02
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	地域福祉計画推進事業	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	福祉サービス事業者・社会福祉協議会・行政が、それぞれの役割を明確にし、市民が安心して住み続けられるまちづくりを推進する。		
	内容	<p>すべての市民が住みなれた地域で安心して人生の最期まで暮らせるまちにするため、その取り組みの方向性を示した第3次伊賀市地域福祉計画に基づき、伊賀市地域福祉計画推進委員会において計画の進行管理を行い、地域福祉の推進を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画推進委員会(委員数17人) 3回開催 ・地域福祉計画推進本部会議(庁内会議) 3回開催 		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	委員報酬	246,000円	6,000円×41人	
	旅費	211,785円	委員旅費、職員派遣旅費	
	その他経費	155,325円		
	計	613,110円		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	人件費					
		国県支出金	0	0	0	0	0	市職員講師派遣旅費分138,760円
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	11	0	138	0	0	
		一般財源	1,383	570	476	575	575	
		合計(A)	1,394	570	614	575	575	
		正規職員	業務量 0.60 人	1.40 人	0.60 人	0.50 人		
		人件費	4,493	10,908	4,675	3,921		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人		
		人件費						
		小計(B)	4,493	10,908	4,675	3,921		
		合計(A+B)	5,887	11,478	5,289	4,496		
		市民1人当たりのコスト(円)	62	122	57	48		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	地域福祉推進のために取り組んだプロジェクト数	分野を越えた共通課題の検討	プロジェクト	目標		1	1	1
				実績	3	1	1	
指標化できない成果			達成		100.0%	100.0%		

方向	<p>充実</p> <p>課題及び改善案</p> <p>2025年に備えるため、伊賀市の状況や特性に応じた、全世代型地域包括ケアシステムの確立に向けて、第3次伊賀市地域福祉計画を推進する必要がある。</p>
----	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)185地域福祉推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 16 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-185-51
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	地域福祉推進事業	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先	課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	判断力が不十分な認知症高齢者及び知的や精神に障がいのある人																	
	目的	権利擁護及び成年後見制度を利用しやすくすることで、判断能力が不十分な対象者が不利益を受けることを防ぎ、対象者の生活と財産を守る。																	
	内容	<p>(1)日常生活自立支援事業補助金 日常生活自立支援事業を利用する者のうち、低所得者に対する利用料の1/2を助成しました。</p> <p>(2)伊賀地域福祉後見サポートセンター運営事業 伊賀市と名張市が共同設置する伊賀市地域福祉後見サポートセンターの運営を社会福祉法人伊賀市社会福祉協議会に委託しました。業務内容は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度の利用支援 ・福祉後見を行う人材の育成、紹介 ・後見人に対する支援 ・権利擁護の推進に係る啓発、研修等 																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日常生活自立支援事業補助金</td> <td>1,711,000円</td> <td>支出先：(福)伊賀市社会福祉協議会 3,422回×@500円</td> </tr> <tr> <td>伊賀地域福祉後見サポートセンター運営委託料</td> <td>4,500,000円</td> <td>運営委託料(伊賀市と名張市で折半) (委託先：(福)伊賀市社会福祉協議会)</td> </tr> <tr> <td>成年後見制度利用助成金</td> <td>380,000円</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3,500円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,594,500円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	日常生活自立支援事業補助金	1,711,000円	支出先：(福)伊賀市社会福祉協議会 3,422回×@500円	伊賀地域福祉後見サポートセンター運営委託料	4,500,000円	運営委託料(伊賀市と名張市で折半) (委託先：(福)伊賀市社会福祉協議会)	成年後見制度利用助成金	380,000円	2件	その他	3,500円		計	6,594,500円
経費	金額	摘要																	
日常生活自立支援事業補助金	1,711,000円	支出先：(福)伊賀市社会福祉協議会 3,422回×@500円																	
伊賀地域福祉後見サポートセンター運営委託料	4,500,000円	運営委託料(伊賀市と名張市で折半) (委託先：(福)伊賀市社会福祉協議会)																	
成年後見制度利用助成金	380,000円	2件																	
その他	3,500円																		
計	6,594,500円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	779	421	903	
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	5,763	5,728	5,692	5,365		
	合計(A)	6,542	6,149	6,595	6,849		
人件費	正規職員	業務量	0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
		人件費	3,744	3,896	3,896	3,921	
	臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人	
		人件費					
	小計(B)	3,744	3,896	3,896	3,921		
	合計(A+B)	10,286	10,045	10,491	10,770		
	市民1人当たりのコスト(円)	109	107	112	115		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	日常生活自立支援事業利用助成額	日常生活自立支援事業利用支援としての助成額	円	目標		1,649,000	1,600,000	1,600,000
				実績	1,652,000	1,915,000	1,711,000	
指標化できない成果			達成		116.1%	106.9%		

方向	<p>継続</p> <p>課題及び改善案 日常生活自立支援事業については平成27年度から三重県では預貯金額200万円以上の利用者は助成の対象外としており、伊賀市についても平成28年度以降は対象外としている。判断能力が不十分な高齢者等が不利益を受けないよう、高齢者の生活と財産を守る為に権利擁護及び成年後見制度の利用が必要である。伊賀市は相談体制が整っており今後も一層利用者が増加する見込みであり、継続的な財源の確保が必要となる。</p>
----	---

整理番号
138 - 0

決算書頁
207

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)185地域福祉推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 26 年度～平成 28 年度	01-03-01-01-185-52
	施策	1206	地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	地域福祉計画策定事業	健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先	課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	福祉サービス事業者・社会福祉協議会・行政が、それぞれの役割を明確にし、市民が安心して住み続けられるまちづくりを推進する。		
	内容	平成27年度に第3次伊賀市地域福祉計画(平成28年度～平成32年度)を策定しましたが、平成28年度では、その計画冊子を作成し、本事業を完了しました。 ・印刷製本部数 2,000部 ・主な配布先 保健・医療・福祉関係者及び関係機関		
	事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要
	消耗品費	17,168円		
	印刷製本費	432,000円	有限会社中井秀美堂	
	筆耕翻訳料	52,300円		
	計	501,468円		

全体コスト(千円)	事業費	項目	27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	0	0	
		地方債	0	0	0		
		その他	0	0	0		
		一般財源	1,558	997	502		
		合計(A)	1,558	997	502	0	
	人件費	正規職員	業務量 1.10 人	0.20 人	0.11 人		
			人件費 8,236	1,559	858	0	
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量				
			人件費				
		小計(B)	8,236	1,559	858	0	
		合計(A+B)	9,794	2,556	1,360	0	
		市民1人当たりのコスト(円)	104	28	15	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	地域福祉計画策定業務の進捗率	第3次地域福祉計画の策定割合	%	目標		100	-	-
				実績	10	100	-	
指標化できない成果			達成		100.0%	-		

方向	完了	課題及び改善案	今後、2025年問題に対処していくため、関係機関に加え、市民の関心をさらに高めていく必要があり、引き続き啓発活動を充実していく。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)185地域福祉推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目
	政策	12 子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 22 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-185-55
	施策	1206 地域における、見守り、支えあう体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	福祉有償運送支援事業	健康福祉部介護高齢福祉課	評価責任者・連絡先 課長 奥 幸子 0595-22-9634

事務事業の概要	対象	福祉有償運送の許可を有する市内の事業者											
	目的	実施法人の経営安定を図るための運営補助を行うことで福祉有償運送を必要とする市民が移動支援サービスを受けられる。											
	内容	福祉有償運送を実施する法人について、 ①事務所管理経費 ②車両維持費 ③普及促進のための福祉車両購入費と認定講習会受講費 ④福祉有償運送支援費(運行回数による補助)に対する補助金を交付しました。											
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>9,905,000円</td> <td>福祉有償運送事業補助金 8事業者</td> </tr> <tr> <td></td> <td>100,000円</td> <td>福祉有償運送運営協議会負担金 支出先:伊賀地区福祉有償運送等運営協議会</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10,005,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	9,905,000円	福祉有償運送事業補助金 8事業者		100,000円	福祉有償運送運営協議会負担金 支出先:伊賀地区福祉有償運送等運営協議会	計	10,005,000円
経費	金額	摘要											
負担金、補助及び交付金	9,905,000円	福祉有償運送事業補助金 8事業者											
	100,000円	福祉有償運送運営協議会負担金 支出先:伊賀地区福祉有償運送等運営協議会											
計	10,005,000円												

項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	10,988	11,118	10,005	11,118
		合計(A)	10,988	11,118	10,005	11,118
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.50 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人
		人件費	3,744	3,896	3,896	3,921
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量 人	人	人	人
		人件費				
		小計(B)	3,744	3,896	3,896	3,921
合計(A+B)	14,732	15,014	13,901	15,039		
市民1人当たりのコスト(円)		155	160	148	160	

指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
指標	福祉有償運送事業補助額	千円	目標		11,630	9,500
			実績	9,127	10,888	9,905
指標化できない成果		達成		93.6%	104.2%	

方向	継続	課題及び改善案	実施法人の経営安定を図るため運営費の補助を行い、移動制約者に対しての移動手段を確保する。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)185地域福祉推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 28 年度～平成 32 年度	01-03-01-01-185-61
	施策	1201	官民協働による、新たな福祉の総合相談支援を行う体制づくり		
	事務事業名	包括的支援体制構築事業		担当部署	部・課名等 健康福祉部医療福祉政策課
				評価責任者・連絡先 課長 田中 満 0595-26-3940	

事務事業の概要	対象	支援困難事例を支援する支援者																	
	目的	相談支援包括化支援員設置による福祉総合相談体制の強化																	
	内容	相談の最初の窓口として地域包括支援センターを中部・東部・南部の市内3箇所に設置していますが、さらなる3つの窓口相互の連携強化のため、相談支援包括化推進員を中部、東部および南部サテライトに各1名ずつ配置することで、機関相互の連携をより強固なものとししました。 また、複合的な問題の迅速な解決に向け、福祉相談調整課内に相談事案調整担当として相談支援包括化支援員(社会福祉士)を2人配置しました。																	
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給料</td> <td>11,388,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>期末手当</td> <td>2,628,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>勤勉手当</td> <td>1,711,000円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他経費</td> <td>680,218円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,407,218円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	給料	11,388,000円		期末手当	2,628,000円		勤勉手当	1,711,000円		その他経費	680,218円		計	16,407,218円
経費	金額	摘要																	
給料	11,388,000円																		
期末手当	2,628,000円																		
勤勉手当	1,711,000円																		
その他経費	680,218円																		
計	16,407,218円																		

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		直接事業費	国県支出金			0	11,250		11,250	生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(国)11,250,000円
			地方債			0	0		0	
			その他			0	0		0	
			一般財源			0	5,158		11,928	
	合計(A)			0	0	16,408	23,178			
	人件費	正規職員	業務量	人	人	0.10 人	0.10 人			
			人件費	0	0	780	785			
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人			
			人件費							
小計(B)			0	0	780	785				
合計(A+B)			0	0	17,188	23,963				
市民1人当たりのコスト(円)			0	0	183	255				

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	相談事案調整会議開催件数		困難事例を関係機関連携による調整会議の開催により、支援策の検討を行った回数	回	目標	-	26	30
					実績	-	26	
指標化できない成果			達成	-	100.0%			

方向	充実	課題及び改善案	個別の相談支援から見てきた地域全体の課題を市全体の施策や地域支援に反映していく。
----	----	---------	--

(款)3民生費(項)1社会福祉費(目)1社会福祉総務費(細目)185地域福祉推進事業

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-細目-細々目	
	政策	12	子ども・高齢者・障がい者などへの見守りと支えが十分なまちづくり	平成 28 年度～平成 28 年度	01-03-01-01-185-62
	施策	1204	医療・介護サービスが一体的に提供できる体制づくり	担当部署	部・課名等
	事務事業名	保健・医療・福祉事業等推進調査事業		健康福祉部医療福祉政策課	評価責任者・連絡先 課長 田中 満 0595-26-3940

事務事業の概要	対象	市民														
	目的	医療ニーズのある人が地域で暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムを構築する。														
	内容	団塊の世代が75歳を超え後期高齢者となり、国民の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という「超・超高齢社会」を迎える「2025年問題」を見据え、医療・介護需要を見極め、在宅医療の体制整備や地域包括ケアシステムの構築など、伊賀市の地域医療体制の再構築を目指し、平成28年度に伊賀市の地域福祉・地域医療の現状等を調査・分析しました。														
	事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事務補助員賃金</td> <td>921,440円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>調査業務委託料</td> <td>2,106,000円</td> <td>地域医療・地域福祉ビジョン検討調査事業業務 委託先:(株)エディケーション</td> </tr> <tr> <td>調査業務委託料</td> <td>896,400円</td> <td>健康寿命延伸等に関する調査業務 委託先:(株)日本能率協会総合研究所中部事務所</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,923,840円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	事務補助員賃金	921,440円		調査業務委託料	2,106,000円	地域医療・地域福祉ビジョン検討調査事業業務 委託先:(株)エディケーション	調査業務委託料	896,400円	健康寿命延伸等に関する調査業務 委託先:(株)日本能率協会総合研究所中部事務所	計	3,923,840円
経費	金額	摘要														
事務補助員賃金	921,440円															
調査業務委託料	2,106,000円	地域医療・地域福祉ビジョン検討調査事業業務 委託先:(株)エディケーション														
調査業務委託料	896,400円	健康寿命延伸等に関する調査業務 委託先:(株)日本能率協会総合研究所中部事務所														
計	3,923,840円															

全体コスト(千円)	事業費	項目		27年度決算	28年度当初予算	28年度決算	29年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 長寿社会づくりソフト事業費交付金(公益財団法人地域社会振興財団) 3,922,000円	
		直接事業費	国県支出金			0	0		
			地方債			0	0		
			その他			0	3,922		
			一般財源			0	2		
	合計(A)		0	0	3,924	0			
	人件費	正規職員	業務量	人	0.00	人	0.30		人
			人件費	0	0	2,338	0		
		臨時・嘱託・再雇用職員	業務量	人	人	人	人		
			人件費						
小計(B)		0	0	2,338	0				
合計(A+B)		0	0	6,262	0				
市民1人当たりのコスト(円)				0	0	67	0		

指標	指標名	指標の説明	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
					目標			
					実績			
	指標化できない成果	単年度の調査研究事業のため		達成				

方向	完了	課題及び改善案	調査結果については、事務事業「保健・医療・福祉分野の連携体制構築事業」での活用をはじめ、平成29年度に健康福祉部各課が策定する各種計画の参考指標として活用する必要がある。
----	----	---------	---